

**第五次長野市総合計画に設定するアンケート指標の
現状値を把握するためのアンケート調査結果**

平成28年11月

I 調査概要

1 調査期間

平成28年9月2日（金）から9月16日（金）まで

2 対象者

長野市内在住の18歳以上の男女5,000人

3 標本の抽出

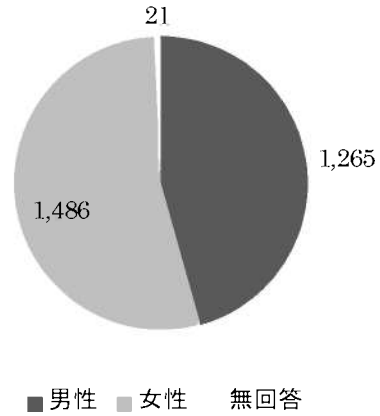
住民基本台帳（平成28年8月16日現在）から無作為抽出

4 調査方法

返信用封筒を同封した調査票郵送方式

5 回収結果

回収標本数 2,748 票
回収率 55.4 %



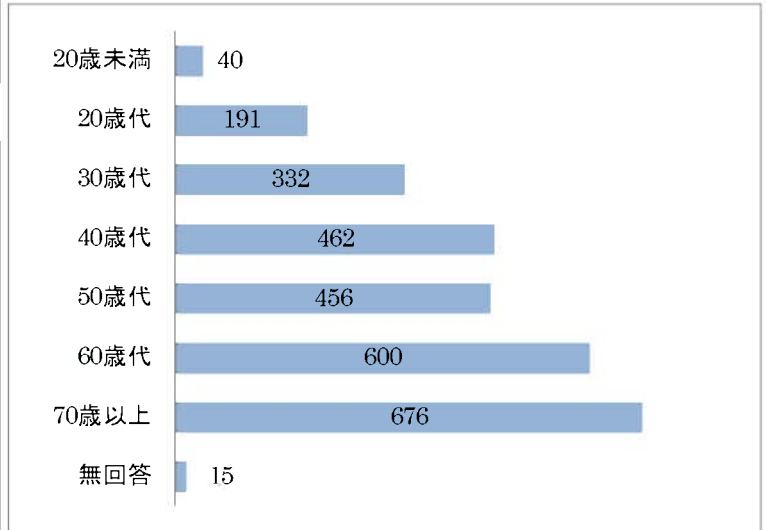
II 属性に関する結果概要

1 性別

性別	回答数(人)	割合(%)
男性	1,265	45.6%
女性	1,486	53.6%
無回答	21	0.8%
合計	2,772	

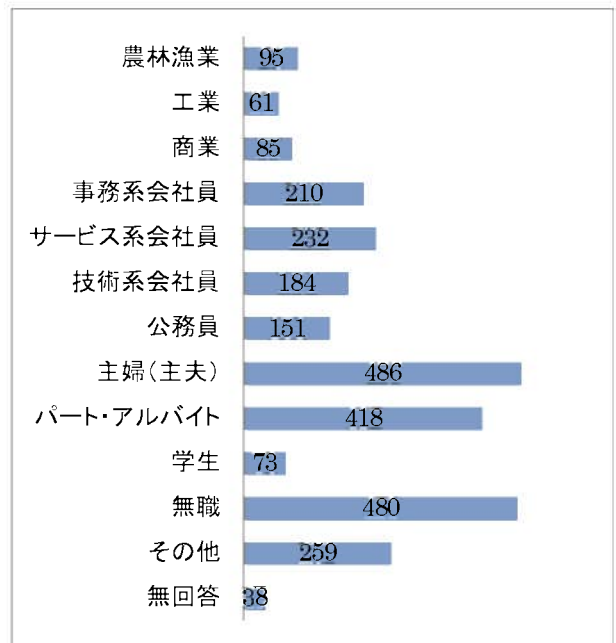
2 年齢構成

年代	回答数(人)	割合(%)
20歳未満	40	1.4%
20歳代	191	6.9%
30歳代	332	12.0%
40歳代	462	16.7%
50歳代	456	16.5%
60歳代	600	21.6%
70歳以上	676	24.4%
無回答	15	0.5%
合計	2,772	



3 職業

職業	回答数(人)	割合(%)
農林漁業	95	3.4%
工業	61	2.2%
商業	85	3.1%
事務系会社員	210	7.6%
サービス系会社員	232	8.4%
技術系会社員	184	6.6%
公務員	151	5.4%
主婦(主夫)	486	17.5%
パート・アルバイト	418	15.1%
学生	73	2.6%
無職	480	17.3%
その他	259	9.3%
無回答	38	1.4%
合計	2,772	



Ⅲ 環境や体制づくりに関する評価結果一覧

	上段: 回答数				わからない	無回答
	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない		
市民の声が市政に反映されている	63	468	864	462	883	32
	2.3	16.9	31.2	16.7	31.9	1.2
住民自治協議会、区、自治会、NPO法人などの活動がまちづくりに役立っている	173	833	674	296	764	32
	6.2	30.1	24.3	10.7	27.6	1.2
効果的で効率的な行政運営が行われている	71	494	786	329	1,052	40
	2.6	17.8	28.4	11.9	38.0	1.4
市民のニーズを踏まえた行政運営が行われている	65	497	801	348	1,013	48
	2.3	17.9	28.9	12.6	36.5	1.7
市の職員に好感が持てる	252	1,001	580	376	531	32
	9.1	36.1	20.9	13.6	19.2	1.2
長野市は近隣市町村と連携し、広域的に、発展に向けて取り組んでいる	147	709	659	257	967	33
	5.3	25.6	23.8	9.3	34.9	1.2
子どもを産み育てやすい地域である	709	1,063	354	132	466	48
	25.6	38.3	12.8	4.8	16.8	1.7
幼稚園・保育所・認定こども園における教育・保育が充実している	580	1,011	360	110	673	38
	20.9	36.5	13.0	4.0	24.3	1.4
子育て中の保護者が悩みを抱えた時に相談できる体制が整っている	205	695	645	188	998	41
	7.4	25.1	23.3	6.8	36.0	1.5
高齢者が、ボランティアや学習活動など、社会と関わる活動をしやすい環境が整っている	298	948	674	206	615	31
	10.8	34.2	24.3	7.4	22.2	1.1
高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられる環境が整っている	329	1,028	691	290	408	26
	11.9	37.1	24.9	10.5	14.7	0.9
障害のある人が安心して暮らせるサービスや環境が整っている	143	595	847	340	806	41
	5.2	21.5	30.6	12.3	29.1	1.5
ご近所において、支え合い、助け合える人間関係が築かれている	363	1,015	822	370	178	24
	13.1	36.6	29.7	13.3	6.4	0.9
生活に困った時に相談できる体制が整っている	166	590	831	371	783	31
	6.0	21.3	30.0	13.4	28.2	1.1
健康づくりに取り組みやすい環境が整っている	318	1,052	719	247	402	34
	11.5	38.0	25.9	8.9	14.5	1.2
不安やストレスを感じた時に相談できる体制が整っている	121	479	945	419	773	35
	4.4	17.3	34.1	15.1	27.9	1.3
必要な医療サービスを受けられる体制が整っている	555	1,190	530	202	261	34
	20.0	42.9	19.1	7.3	9.4	1.2

Ⅲ 環境や体制づくりに関する評価結果一覧

					わからない	無回答						
	上段:回答数	下段:割合	そう思う	ややそう思う			あまりそう思わない	そう思わない				
互いの個性や立場を尊重し合える地域である	218	7.9	908	32.8	731	26.4	333	12.0	547	19.7	35	1.3
性別にかかわらず、個性や能力を十分に活かすことができる地域である	150	5.4	655	23.6	892	32.2	369	13.3	672	24.2	34	1.2
身のまわりにおいて、太陽光発電や節電、自動車利用を控えるなど、温室効果ガスの発生を抑える取組が日常的に行われている	159	5.7	602	21.7	1,074	38.7	551	19.9	359	13.0	27	1.0
身のまわりにおいて、ごみの発生を減らす取組が日常的に行われている	353	12.7	1,034	37.3	871	31.4	313	11.3	179	6.5	22	0.8
豊かな自然環境が保たれている	746	26.9	1,295	46.7	473	17.1	140	5.1	95	3.4	23	0.8
空気や水がきれいで、まちも美しく保たれている	678	24.5	1,375	49.6	485	17.5	140	5.1	74	2.7	20	0.7
災害時に被害を最小限に抑制できる体制や準備が整っている	160	5.8	821	29.6	837	30.2	244	8.8	675	24.4	35	1.3
消防や救急体制が十分に整っている	527	19.0	1,210	43.7	492	17.7	110	4.0	406	14.6	27	1.0
交通マナーが良い地域である	210	7.6	1,010	36.4	942	34.0	462	16.7	118	4.3	30	1.1
地域で防犯に向けた取組が行われている	260	9.4	899	32.4	876	31.6	277	10.0	429	15.5	31	1.1
特殊詐欺などの消費生活に関する相談体制が整っている	146	5.3	709	25.6	750	27.1	249	9.0	886	32.0	32	1.2
子どもたちがたくましく生きていくために必要な学力・体力を身につける教育が行われている	239	8.6	905	32.6	550	19.8	181	6.5	852	30.7	45	1.6
子どもたち一人ひとりが大切にされ、安心して学習に取り組める相談・支援体制が整っている	258	9.3	879	31.7	543	19.6	158	5.7	892	32.2	42	1.5
家庭・地域・学校が連携して、子どもたちの学びや育ちを支えている	316	11.4	1,063	38.3	503	18.1	144	5.2	701	25.3	45	1.6
公民館などで、学びの機会が提供されている	414	14.9	1,028	37.1	538	19.4	197	7.1	562	20.3	33	1.2
公民館などで、地域づくりに活かされる学びの機会が提供されている	376	13.6	1,032	37.2	590	21.3	181	6.5	553	19.9	40	1.4
音楽や美術、演劇など文化芸術に気軽に親しめる環境が整っている	265	9.6	863	31.1	843	30.4	387	14.0	377	13.6	37	1.3

Ⅲ 環境や体制づくりに関する評価結果一覧

	上段: 回答数				わからない	無回答
	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない		
地域の文化財が適切に保存・継承・活用されている	339	1,076	539	164	618	36
	12.2	38.8	19.4	5.9	22.3	1.3
スポーツや運動を気軽にできる環境が整っている	414	1,105	692	266	260	35
	14.9	39.9	25.0	9.6	9.4	1.3
プロスポーツや各種競技大会が盛んに行われている	238	735	781	504	475	39
	8.6	26.5	28.2	18.2	17.1	1.4
国際交流が盛んに行われている	56	294	843	698	843	38
	2.0	10.6	30.4	25.2	30.4	1.4
長野市は、魅力的な観光都市である	624	1,217	635	191	72	33
	22.5	43.9	22.9	6.9	2.6	1.2
コンサートやスポーツ大会などのイベントの開催により、にぎわいが生まれている	330	1,127	805	285	195	30
	11.9	40.7	29.0	10.3	7.0	1.1
野菜や果物づくりをしている人が増えている	403	915	738	225	453	38
	14.5	33.0	26.6	8.1	16.3	1.4
りんご、もも、ぶどうなどの、おいしい農産物が生産されている地域である	1,485	947	161	85	68	26
	53.6	34.2	5.8	3.1	2.5	0.9
森林が整備されている地域である	297	839	740	332	530	34
	10.7	30.3	26.7	12.0	19.1	1.2
活力のある企業が多い地域である	109	524	1,043	523	535	38
	3.9	18.9	37.6	18.9	19.3	1.4
市内に个性的で魅力的なお店が増えている	168	683	982	593	314	32
	6.1	24.6	35.4	21.4	11.3	1.2
新たな雇用が生まれている	42	220	984	688	803	35
	1.5	7.9	35.5	24.8	29.0	1.3
仕事を見つけやすい環境が整っている	56	311	996	760	617	32
	2.0	11.2	35.9	27.4	22.3	1.2
市内に勤める知人や友人がいきいきと働いている	120	834	908	339	535	36
	4.3	30.1	32.8	12.2	19.3	1.3

Ⅲ 環境や体制づくりに関する評価結果一覧

					わからない	無回答
	上段: 回答数	下段: 割合				
	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない		
中心市街地や鉄道駅(旧松代駅を含む)周辺は、総合的に見ると買物、医療機関、金融機関、福祉施設などが集まり、利便性の高い地域である	361	1,009	760	404	202	36
	13.0	36.4	27.4	14.6	7.3	1.3
日常生活に必要なインフラが整備されている	329	1,103	715	255	322	48
	11.9	39.8	25.8	9.2	11.6	1.7
市内の道路、建物のバリアフリー化が進んでいる	124	716	1,108	460	332	32
	4.5	25.8	40.0	16.6	12.0	1.2
景観やまちなみが美しい地域である	332	1,253	773	256	123	35
	12.0	45.2	27.9	9.2	4.4	1.3
公共交通の利用により、市内を移動できる環境が整っている	219	770	909	706	132	36
	7.9	27.8	32.8	25.5	4.8	1.3

市の環境や体制の評価に関するアンケート結果一覧



IV 回答者自身の実践状況結果一覧

	当てはまる	やや当てはまる	あまり当てはまらない	当てはまらない	わからない	無回答
	上段:回答数		下段:割合			
地域づくりに関するアイデアを市役所や自治会などに寄せている	62	210	630	1,717	120	33
	2.2	7.6	22.7	61.9	4.3	1.2
住民自治協議会、区、自治会などの活動やまちづくりに関わるボランティア活動などに参加している	230	412	569	1,461	74	26
	8.3	14.9	20.5	52.7	2.7	0.9
子育てしている家庭を温かく見守り、必要な時には手助けしている	279	976	710	306	456	45
	10.1	35.2	25.6	11.0	16.5	1.6
ご近所の高齢者を温かく見守り、必要な時には手助けしている	305	1,149	705	281	297	35
	11.0	41.5	25.4	10.1	10.7	1.3
障害のある人を見かけた時に、手助けが必要か気にかけるようにしている	450	1,359	590	154	193	26
	16.2	49.0	21.3	5.6	7.0	0.9
ご近所同士で交流をし、困った時にお互いに助け合える関係を築こうとしている	447	1,094	790	277	141	23
	16.1	39.5	28.5	10.0	5.1	0.8
健康づくりに継続的に取り組んでいる	498	1,076	729	324	123	22
	18.0	38.8	26.3	11.7	4.4	0.8
不安やストレスを一人で抱え込まないようにしている	604	1,192	581	234	140	21
	21.8	43.0	21.0	8.4	5.1	0.8
かかりつけ医がいる	1,321	768	273	340	49	21
	47.7	27.7	9.8	12.3	1.8	0.8
人権問題について理解を深めようとしている	452	1,002	708	247	332	31
	16.3	36.1	25.5	8.9	12.0	1.1
男女共同参画について理解を深めようとしている	389	923	707	251	471	31
	14.0	33.3	25.5	9.1	17.0	1.1

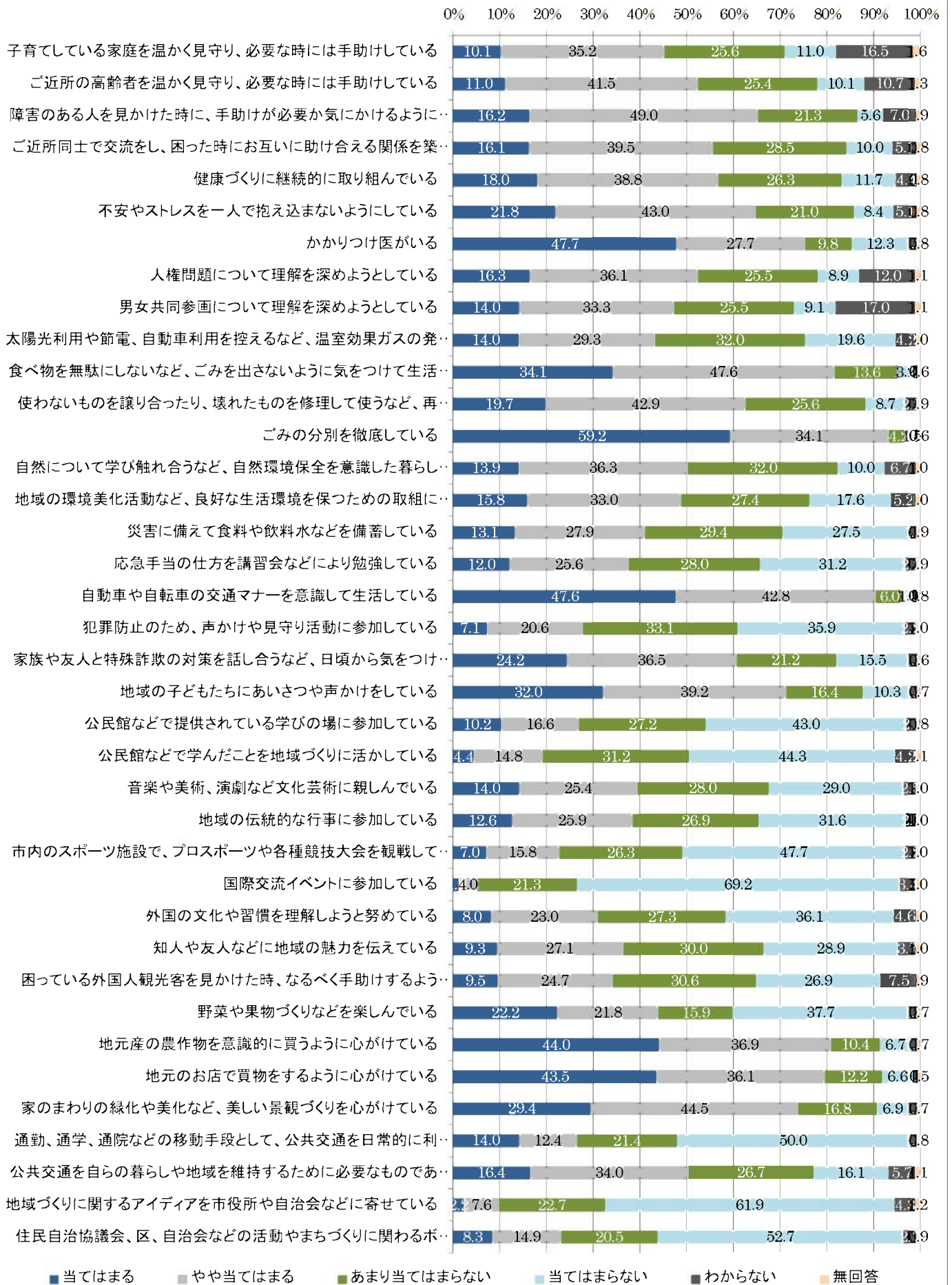
IV 回答者自身の実践状況結果一覧

	当てはまる	やや当てはまる	あまり当てはまらない	当てはまらない	わからない	無回答
	上段:回答数	下段:割合	上段:回答数	下段:割合	上段:回答数	下段:割合
太陽光利用や節電、自動車利用を控えるなど、温室効果ガスの発生を抑える暮らしをしている	387 14.0	813 29.3	886 32.0	542 19.6	117 4.2	27 1.0
食べ物を無駄にしないなど、ごみを出さないように気をつけて生活している	944 34.1	1,320 47.6	376 13.6	89 3.2	27 1.0	16 0.6
使わないものを譲り合ったり、壊れたものを修理して使うなど、再利用に取り組んでいる	546 19.7	1,189 42.9	709 25.6	242 8.7	61 2.2	25 0.9
ごみの分別を徹底している	1,641 59.2	944 34.1	116 4.2	41 1.5	14 0.5	16 0.6
自然について学び触れ合うなど、自然環境保全を意識した暮らしをしている	386 13.9	1,007 36.3	887 32.0	278 10.0	185 6.7	29 1.0
地域の環境美化活動など、良好な生活環境を保つための取組に参加している	438 15.8	914 33.0	760 27.4	488 17.6	144 5.2	28 1.0
災害に備えて食料や飲料水などを備蓄している	364 13.1	774 27.9	814 29.4	761 27.5	34 1.2	25 0.9
応急手当の仕方を講習会などにより勉強している	333 12.0	709 25.6	777 28.0	866 31.2	61 2.2	26 0.9
自動車や自転車の交通マナーを意識して生活している	1,320 47.6	1,187 42.8	165 6.0	54 1.9	24 0.9	22 0.8
犯罪防止のため、声かけや見守り活動に参加している	198 7.1	571 20.6	917 33.1	996 35.9	62 2.2	28 1.0
家族や友人と特殊詐欺の対策を話し合うなど、日頃から気をつけている	672 24.2	1,011 36.5	588 21.2	431 15.5	52 1.9	18 0.6

IV 回答者自身の実践状況結果一覧

	当てはまる	やや当てはまる	あまり当てはまらない	当てはまらない	わからない	無回答						
	上段: 回答数	下段: 割合	上段: 回答数	下段: 割合	上段: 回答数	下段: 割合						
地域の子どもたちにあいさつや声かけをしている	887	32.0	1,088	39.2	455	16.4	285	10.3	37	1.3	20	0.7
公民館などで提供されている学びの場に参加している	283	10.2	461	16.6	753	27.2	1,193	43.0	59	2.1	23	0.8
公民館などで学んだことを地域づくりに活かしている	121	4.4	411	14.8	866	31.2	1,227	44.3	116	4.2	31	1.1
音楽や美術、演劇など文化芸術に親しんでいる	389	14.0	705	25.4	776	28.0	805	29.0	69	2.5	28	1.0
地域の伝統的な行事に参加している	348	12.6	718	25.9	746	26.9	876	31.6	57	2.1	27	1.0
市内のスポーツ施設で、プロスポーツや各種競技大会を観戦している	193	7.0	437	15.8	730	26.3	1,321	47.7	62	2.2	29	1.0
国際交流イベントに参加している	32	1.2	110	4.0	590	21.3	1,918	69.2	93	3.4	29	1.0
外国の文化や習慣を理解しようと努めている	222	8.0	637	23.0	757	27.3	1,000	36.1	127	4.6	29	1.0
知人や友人などに地域の魅力を伝えている	258	9.3	751	27.1	831	30.0	801	28.9	103	3.7	28	1.0
困っている外国人観光客を見かけた時、なるべく手助けするよう心がけている	262	9.5	686	24.7	847	30.6	745	26.9	208	7.5	24	0.9
野菜や果物づくりなどを楽しんでいる	615	22.2	603	21.8	440	15.9	1,044	37.7	50	1.8	20	0.7
地元産の農作物を意識的に買うように心がけている	1,220	44.0	1,023	36.9	287	10.4	186	6.7	36	1.3	20	0.7
地元のお店で買物をするように心がけている	1,205	43.5	1,002	36.1	338	12.2	183	6.6	30	1.1	14	0.5
家のまわりの緑化や美化など、美しい景観づくりを心がけている	814	29.4	1,233	44.5	465	16.8	192	6.9	49	1.8	19	0.7
通勤、通学、通院などの移動手段として、公共交通を日常的に利用している	389	14.0	345	12.4	592	21.4	1,385	50.0	40	1.4	21	0.8
公共交通を自らの暮らしや地域を維持するために必要なものであると理解し、支えていこうと心がけている	454	16.4	943	34.0	739	26.7	446	16.1	159	5.7	31	1.1

回答者自身の実践状況に関するアンケート結果一覧



V 施策ごとのアンケート指標現状値の主な傾向

施策1-1-1 市民とともにつくる市政の推進

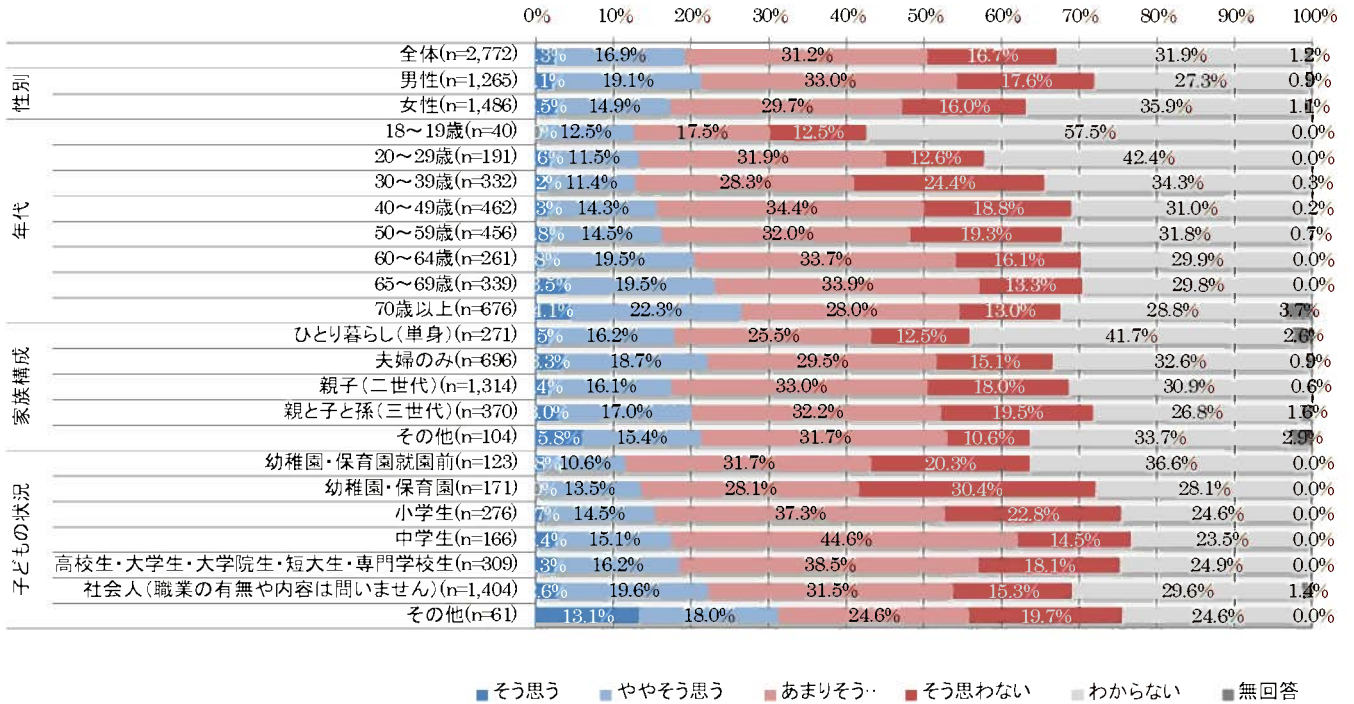
環境や体制に関する質問:19.2% 市民の声が市政に反映されている

回答者自身の実践状況に関する質問:9.8% 地域づくりに関するアイデアを市役所や自治会などに寄せている

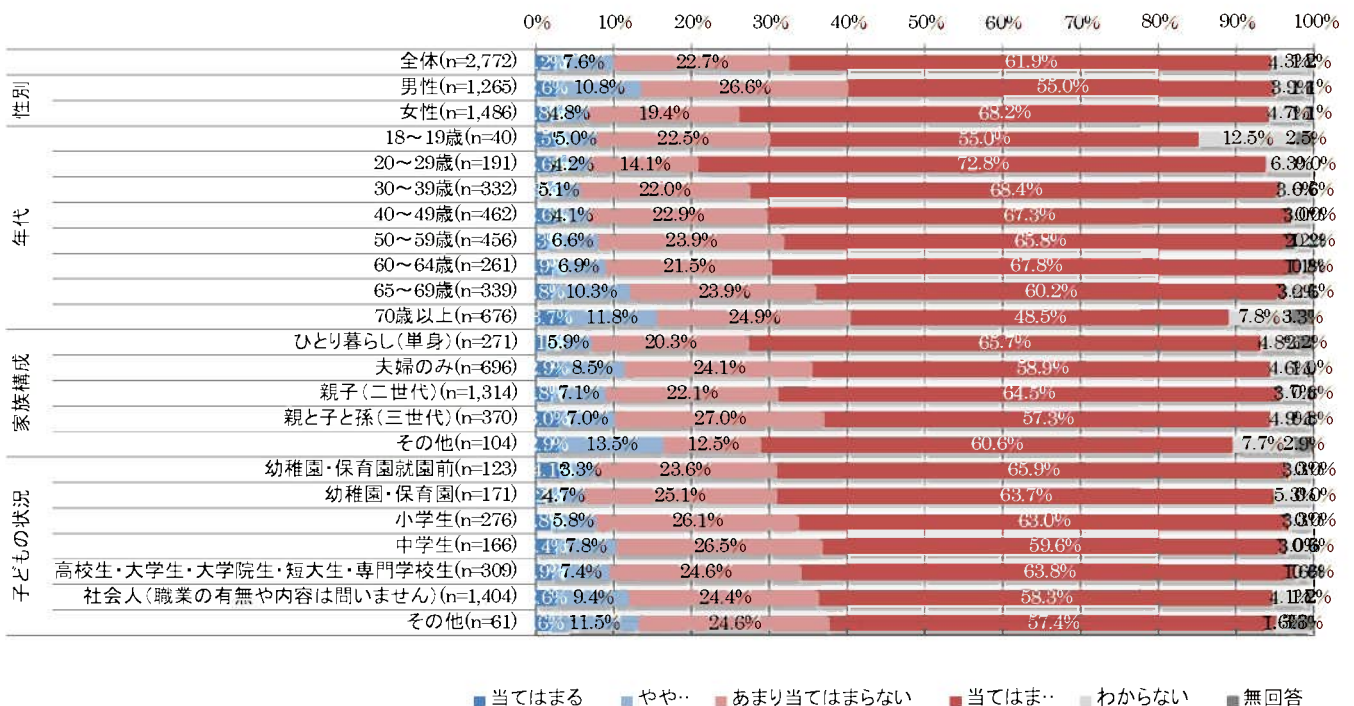
環境や体制に関する質問では、全体として評価保留割合が30%を超えているが、10歳代では半数を超えているとともに、年代が高くなるほど肯定的回答割合が高くなっている。

回答者の実践状況に関する質問では、年代が高くなるほど肯定的回答割合が高くなっている。

環境や体制に関する質問の属性別結果



回答者自身の実践状況に関する質問の属性別結果



施策1-1-2 市民によるまちづくり活動への支援

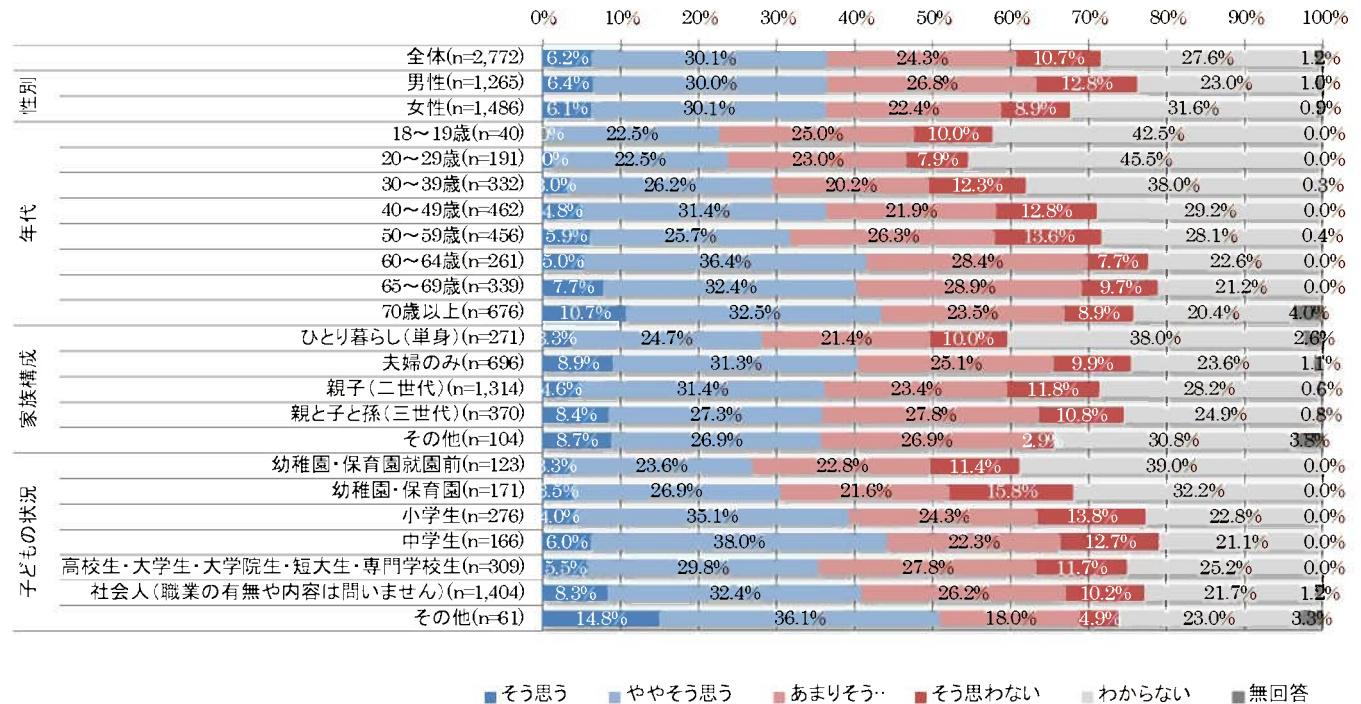
環境や体制に関する質問:36.3% 住民自治協議会、区、自治会、NPO法人などの活動がまちづくりに役立っている

回答者自身の実践状況に関する質問:23.2% 住民自治協議会、区、自治会などの活動やまちづくりに関わるボランティア活動などに参加している

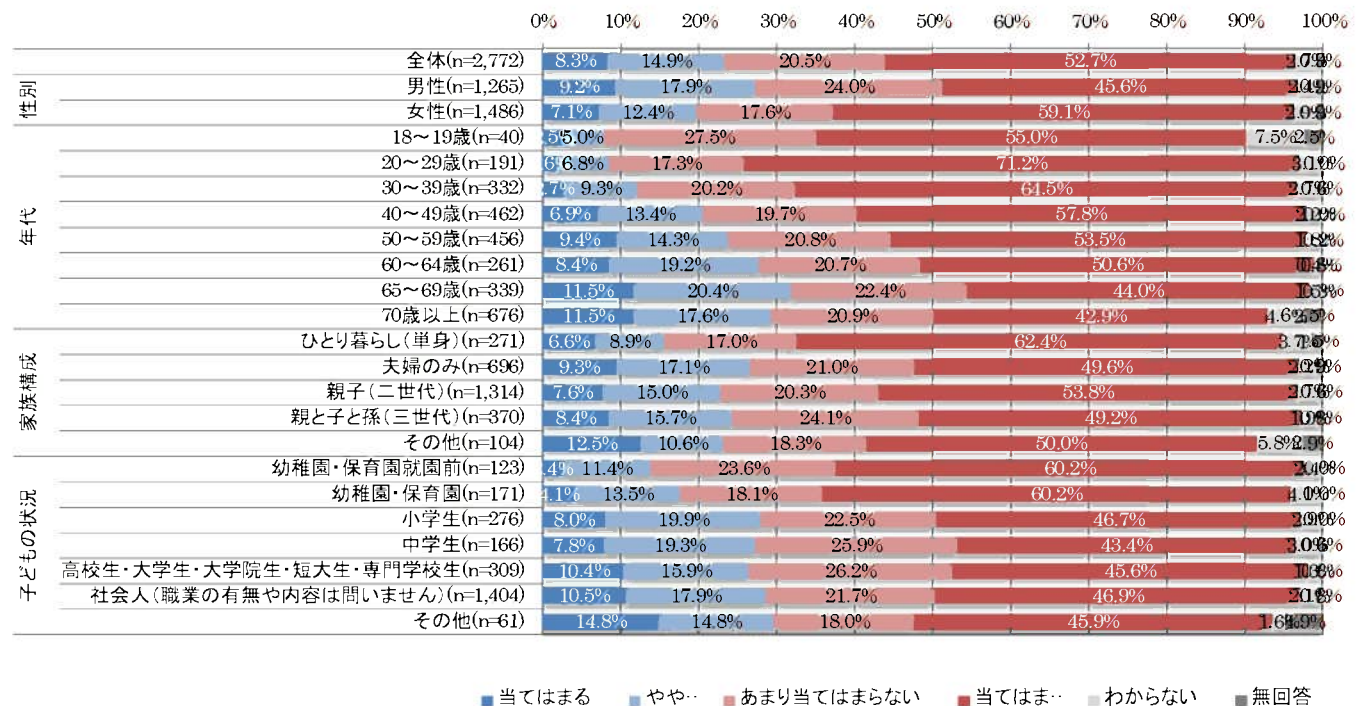
環境や体制に関する質問では、年代が高くなるほど肯定的回答割合が高くなっているとともに、評価保留割合は年代が低いほど高くなっている。

回答者の実践状況に関する質問では、男性の肯定的回答割合が女性より高くなっている。

環境や体制に関する質問の属性別結果



回答者自身の実践状況に関する質問の属性別結果



施策1-2-1 効果的で効率的な行財政運営の推進

環境や体制に関する質問:20.4% 効果的で効率的な行政運営が行われている

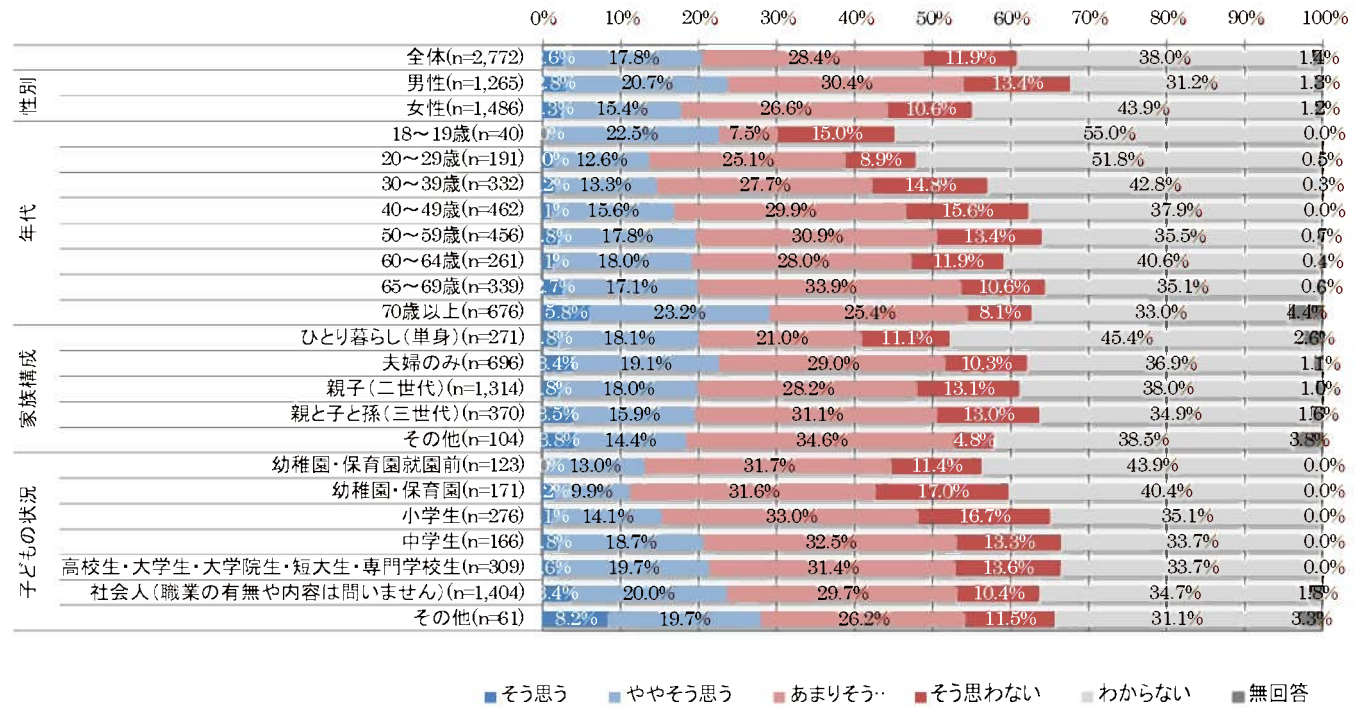
回答者自身の実践状況に関する質問:設定なし

環境や体制に関する質問では、全体として評価保留割合が約40%であり、若い世代での割合が高くなっている。

また、70歳以上の世代での肯定的回答割合が最も高くなっている。

評価保留の割合が全体で38.0%であるが、理由としては「市報による情報のみでよくわからない」や「効果的で効率的な行政が良いかどうかわからないから」といった意見があった。

環境や体制に関する質問の属性別結果



施策1-2-2 市民の満足が得られる市政の推進

環境や体制に関する質問:20.2% 市民のニーズを踏まえた行政運営が行われている

45.2% 市の職員に好感が持てる

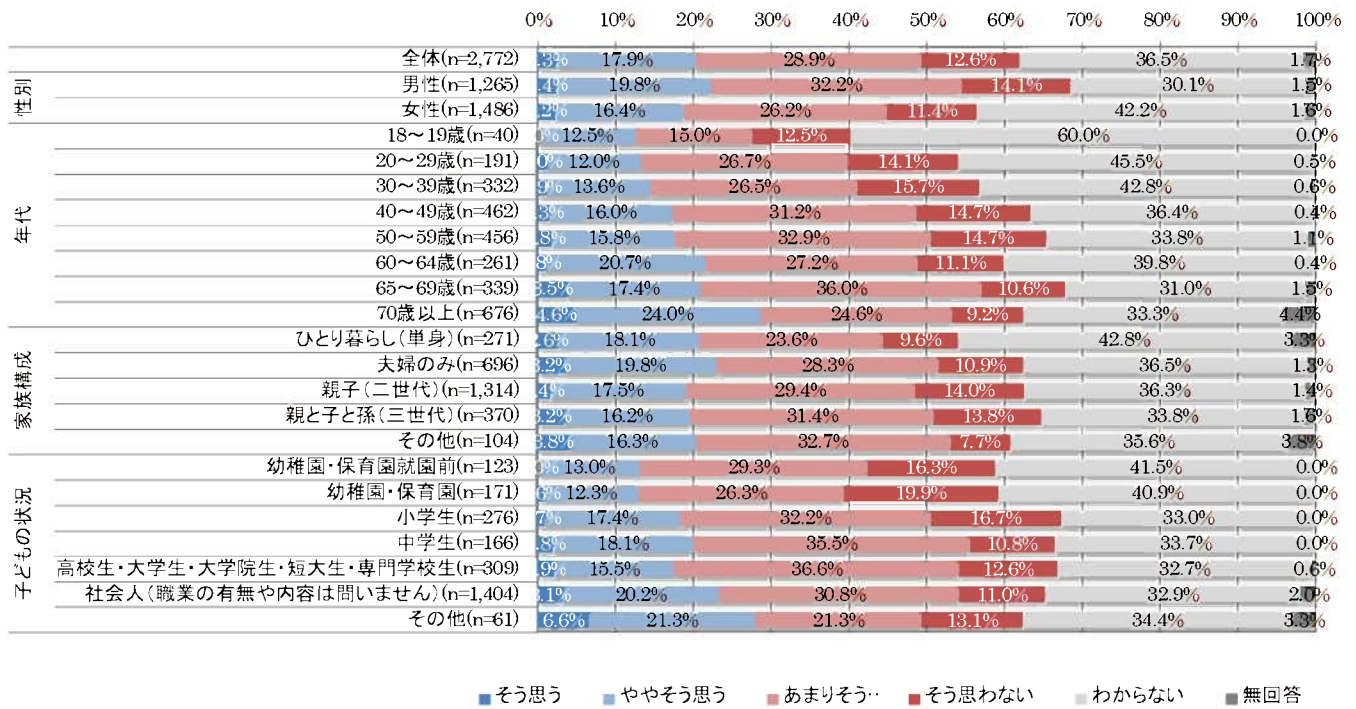
環境や体制に関する質問では、全体として評価保留割合が約40%であり、若い世代での割合が高くなっている。

また、70歳以上の世代での肯定的回答割合が最も高くなっている。

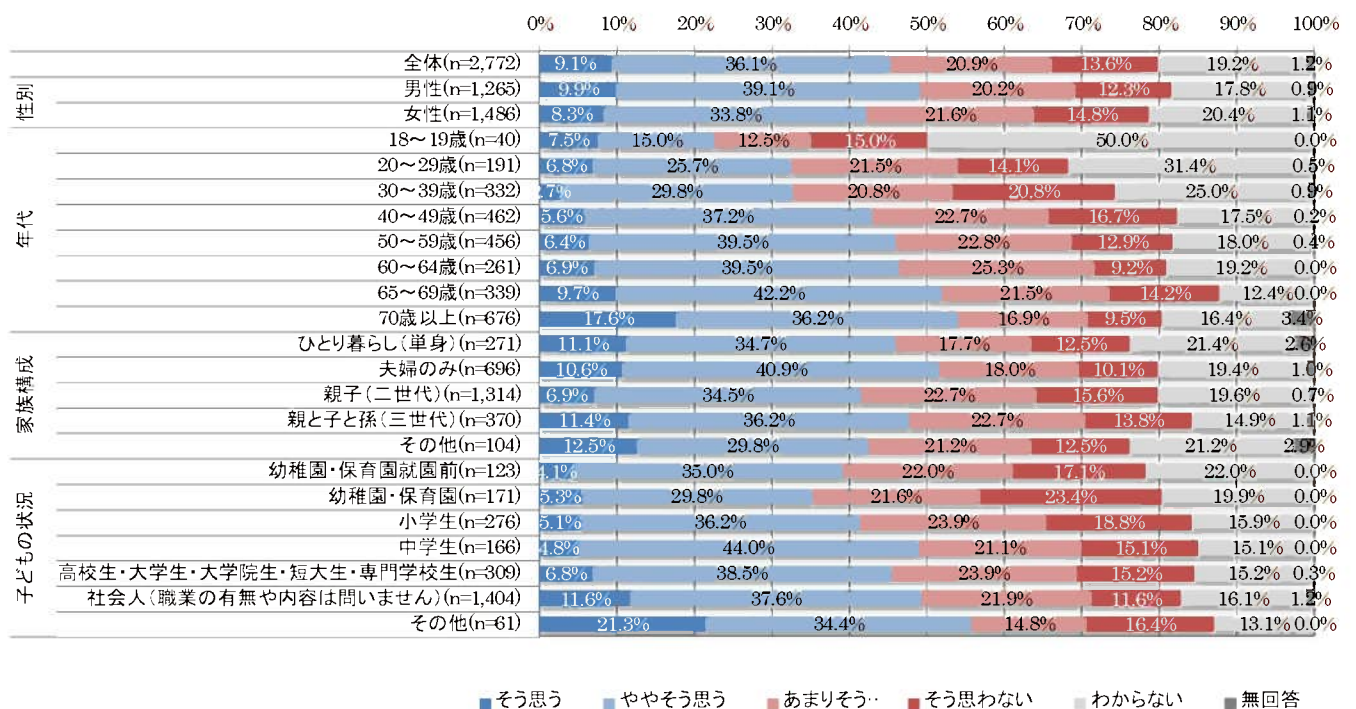
評価保留の割合が全体で36.5%であるが、理由としては「どういったニーズがあり、どのような検討がなされたかを知る手段がないから」といった意見があった。

環境や体制に関する質問の属性別結果

市民のニーズを踏まえた行政運営が行われている



市の職員に好感が持てる



施策1-2-3 地方中核都市としての役割の遂行

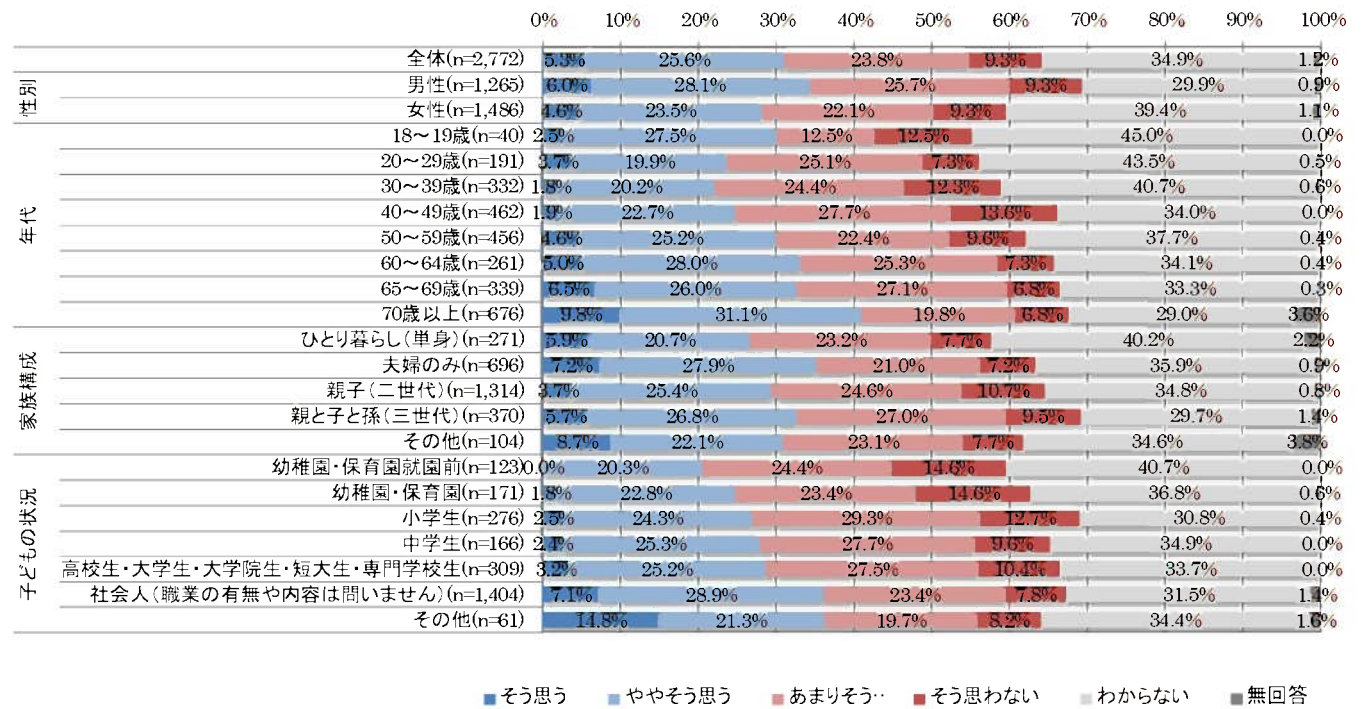
環境や体制に関する質問:30.9% 長野市は近隣市町村と連携し、広域的に、発展に向けて取り組んでいる
 回答者自身の実践状況に関する質問:設定なし

環境や体制に関する質問では、全体として評価保留割合が30%を超えており、若い世代での割合が高くなっている。

また、年代が高いほど肯定的回答割合が高くなっている。

評価保留の割合が全体で34.9%であるが、理由としては「その話題はあまり見聞きしない」や「周囲の市町村とどのような連携が行われているかわからない」といった意見があった。

環境や体制に関する質問の属性別結果



施策2-1-1 結婚、妊娠・出産、子育ての切れ目ない支援

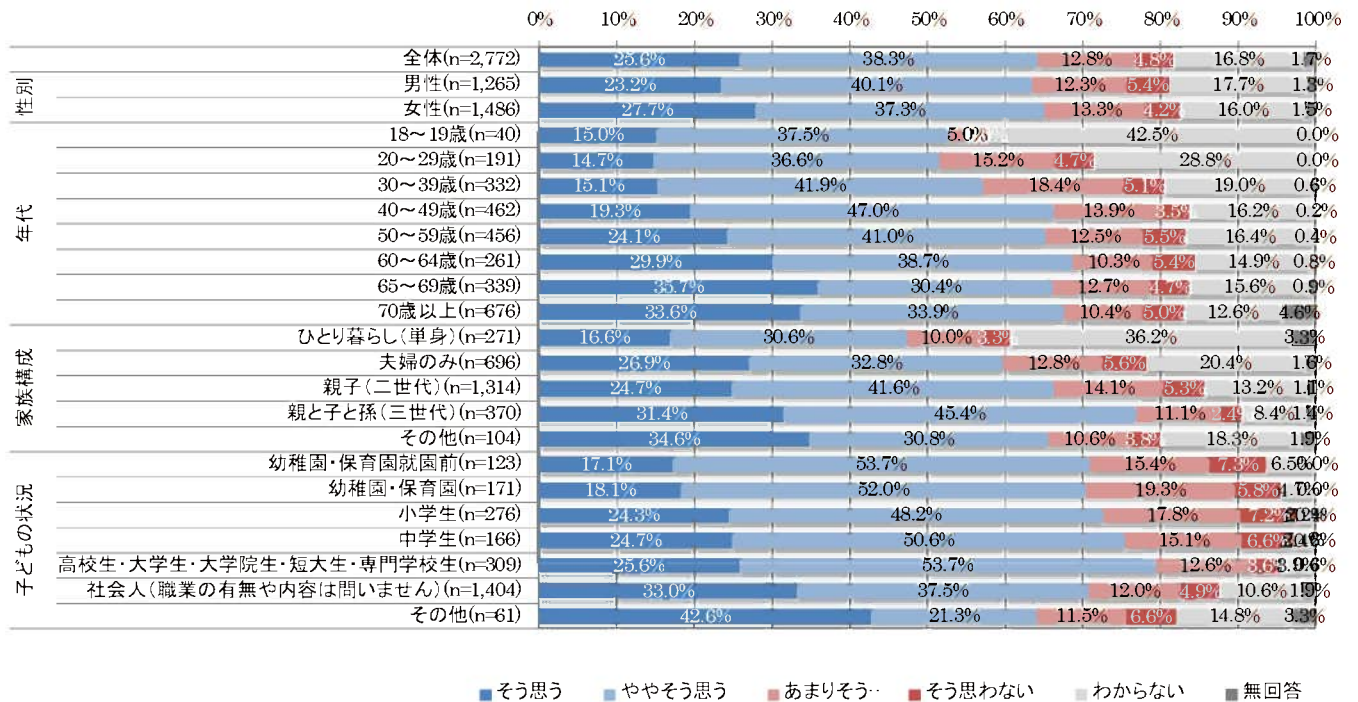
環境や体制に関する質問:63.9% 子どもを産み育てやすい地域である

回答者自身の実践状況に関する質問:45.3% 子育てしている家庭を温かく見守り、必要な時には手助けしている

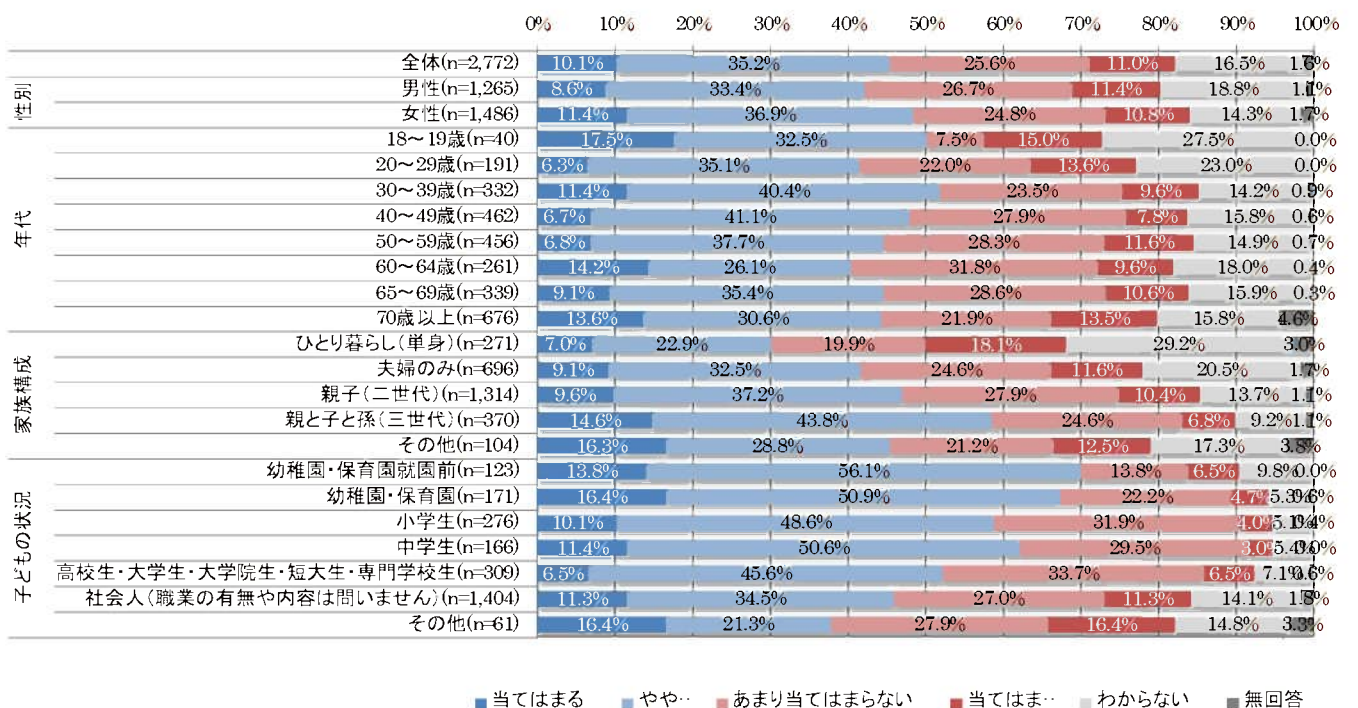
環境や体制に関する質問では、18~29歳までの若い世代において、他の世代よりも肯定的回答割合が低くなっているとともに、評価保留の割合が高くなっている。

回答者自身の実践状況に関する質問では、幼稚園・保育園就園前と幼稚園・保育園児を持つ回答者において、肯定的回答の割合が高くなっている。

環境や体制に関する質問の属性別結果



回答者自身の実践状況に関する質問の属性別結果



施策2-1-2 子どもの成長を育む環境の充実

環境や体制に関する質問:57.4% 幼稚園・保育所・認定こども園における教育・保育が充実している

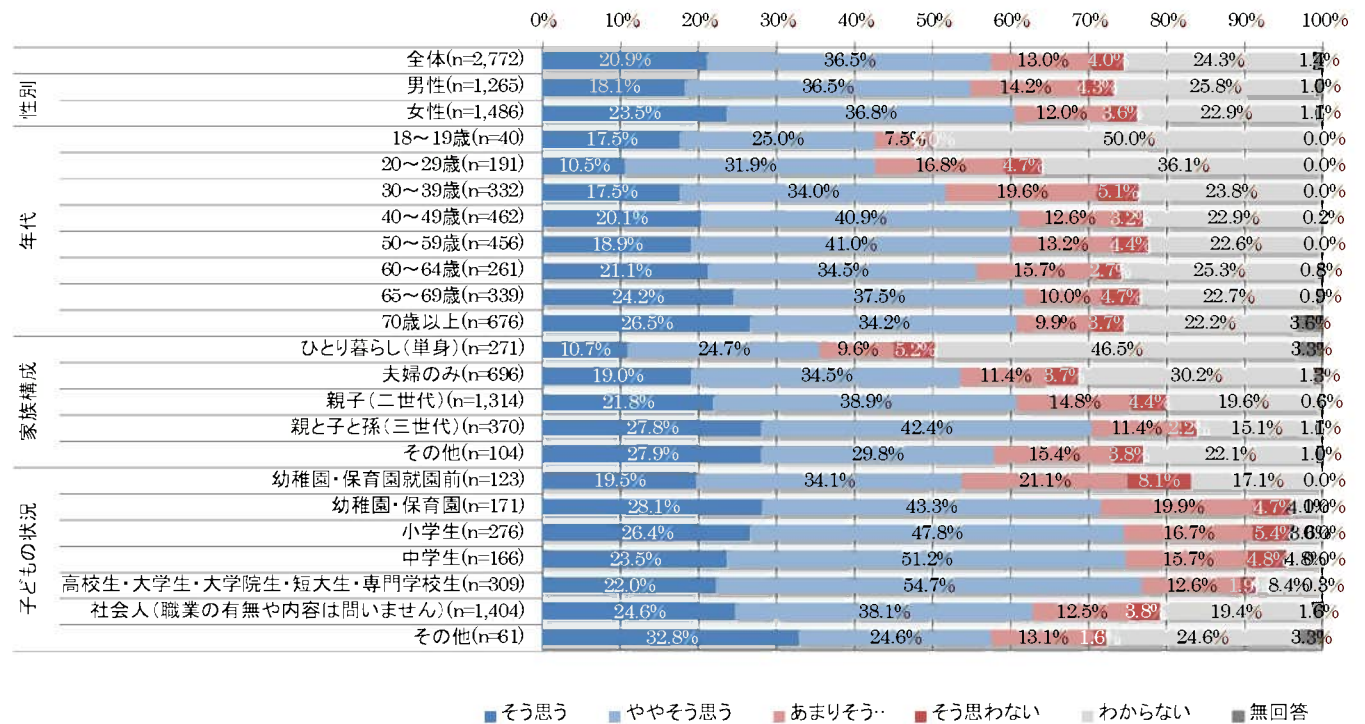
回答者自身の実践状況に関する質問:45.3% 子育てしている家庭を温かく見守り、必要な時には手助けしている

環境や体制に関する質問では、およそ4分の1の回答者が「わからない」と回答し評価を保留している。

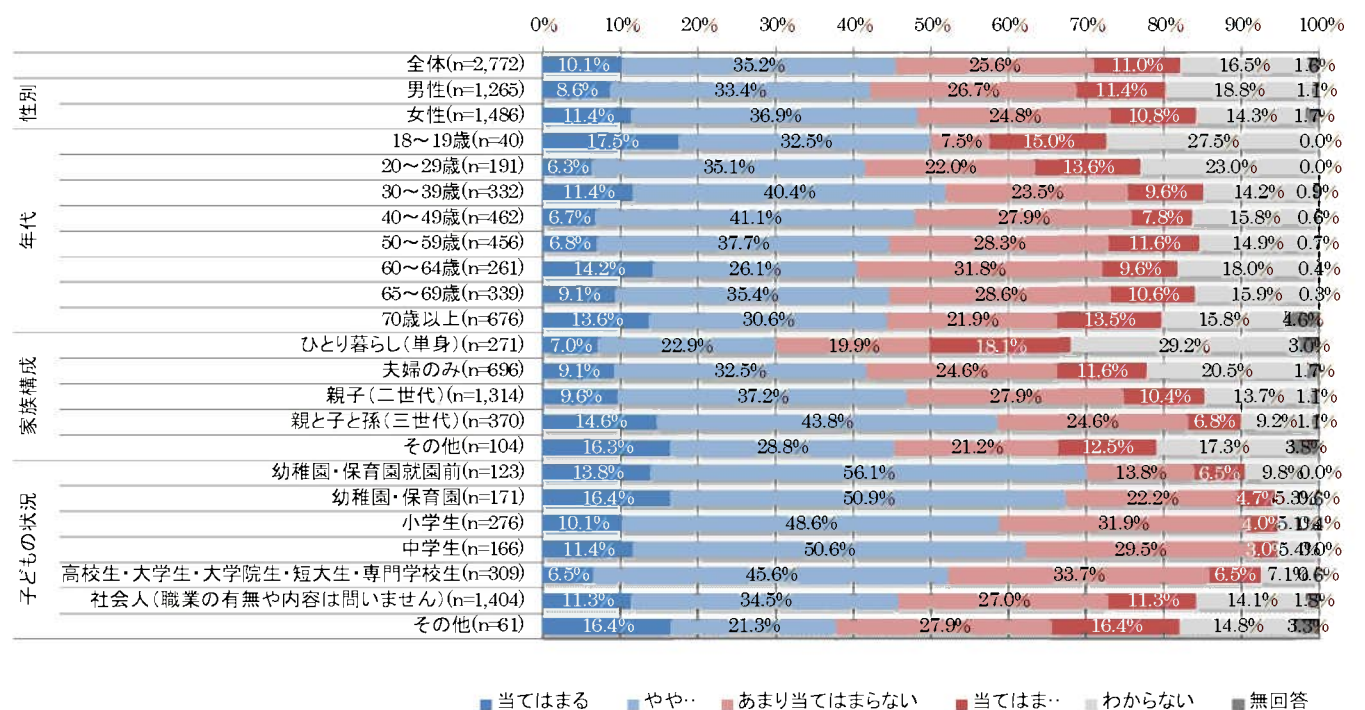
環境や体制に関する質問では、18～29歳の若い世代において、他の世代よりも肯定的回答割合が低くなっているとともに、評価保留の割合が高くなっている。

また、環境や体制に関する質問では、幼稚園・保育園就園前の子どもを持つ回答者において、肯定的回答割合が低くなっている。

環境や体制に関する質問の属性別結果



回答者自身の実践状況に関する質問の属性別結果



施策2-1-3 社会的援助を必要とする家庭等の自立支援

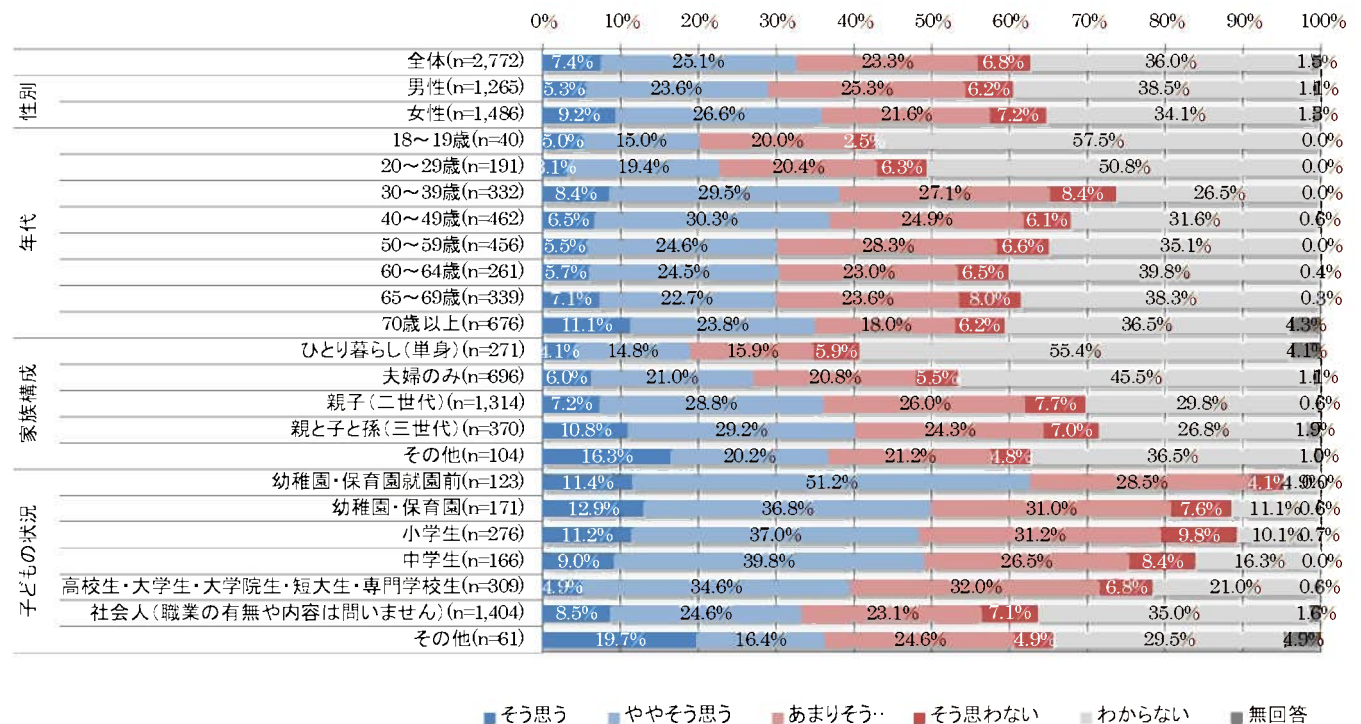
環境や体制に関する質問:32.5% 子育て中の保護者が悩みを抱えた時に相談できる体制が整っている
 回答者自身の実践状況に関する質問:設定なし

環境や体制に関する質問では、18～29歳までの若い世代において、他の世代よりも肯定的回答割合が低くなっているとともに、評価保留の割合が高くなっている。

また、環境や体制に関する質問では、幼稚園・保育園就園前の子どもを持つ回答者において、肯定的回答が高くなっている。

評価保留の割合が全体で36.0%であるが、理由としては「どういう体制があるか知らない」といった意見があった。

環境や体制に関する質問の属性別結果



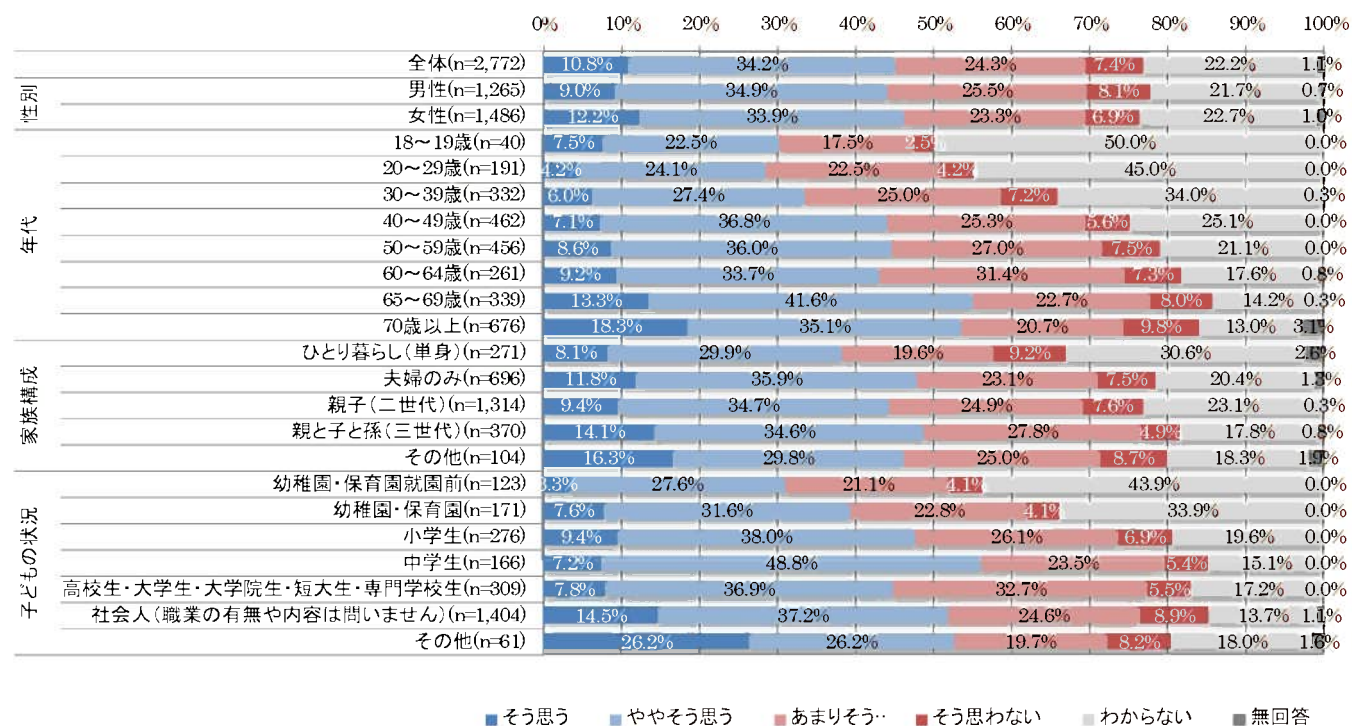
施策2-2-1 高齢者の社会参加と生きがいの促進

環境や体制に関する質問:45.0% 高齢者がボランティアや学習活動など、社会とかかわる活動をしやすい環境が整っている

回答者自身の実践状況に関する質問:設定なし

環境や体制に関する質問では、65歳以上の世代では他世代と比較して、肯定的回答割合が高くなっているとともに、若い世代では評価保留割合が高くなっている。

環境や体制に関する質問の属性別結果



施策2-2-2 高齢者福祉サービスの充実

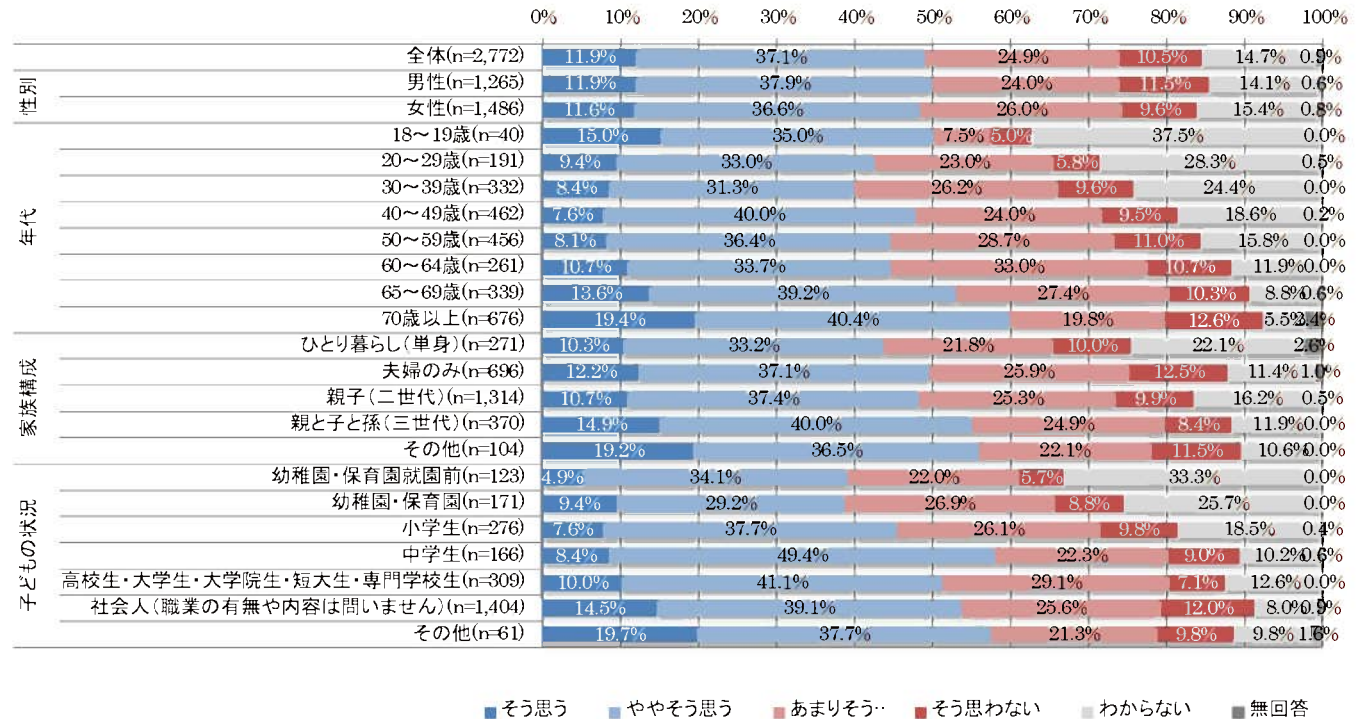
環境や体制に関する質問:49.0% 高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられる環境が整っている

回答者自身の実践状況に関する質問:52.5% ご近所の高齢者を温かく見守り、必要な時には手助けしている

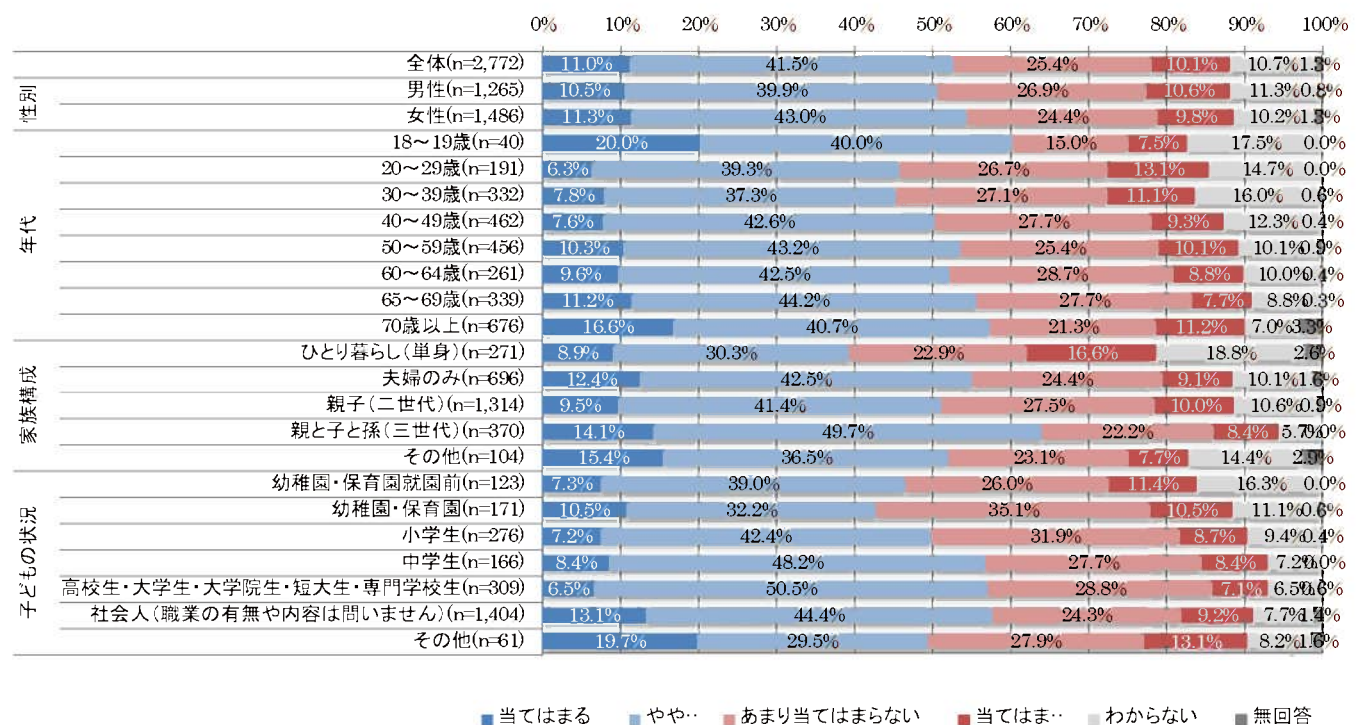
環境や体制に関する質問では、65歳以上の世代では他世代と比較して、肯定的回答割合が高くなっているとともに、若い世代では評価保留割合が高くなっている。

回答者の実践状況に関する質問では、親と子と孫(三世帯同居)の回答者において、肯定的回答が高くなっている。

環境や体制に関する質問の属性別結果



回答者自身の実践状況に関する質問の属性別結果



施策2-3-1 障害者(児)福祉の充実

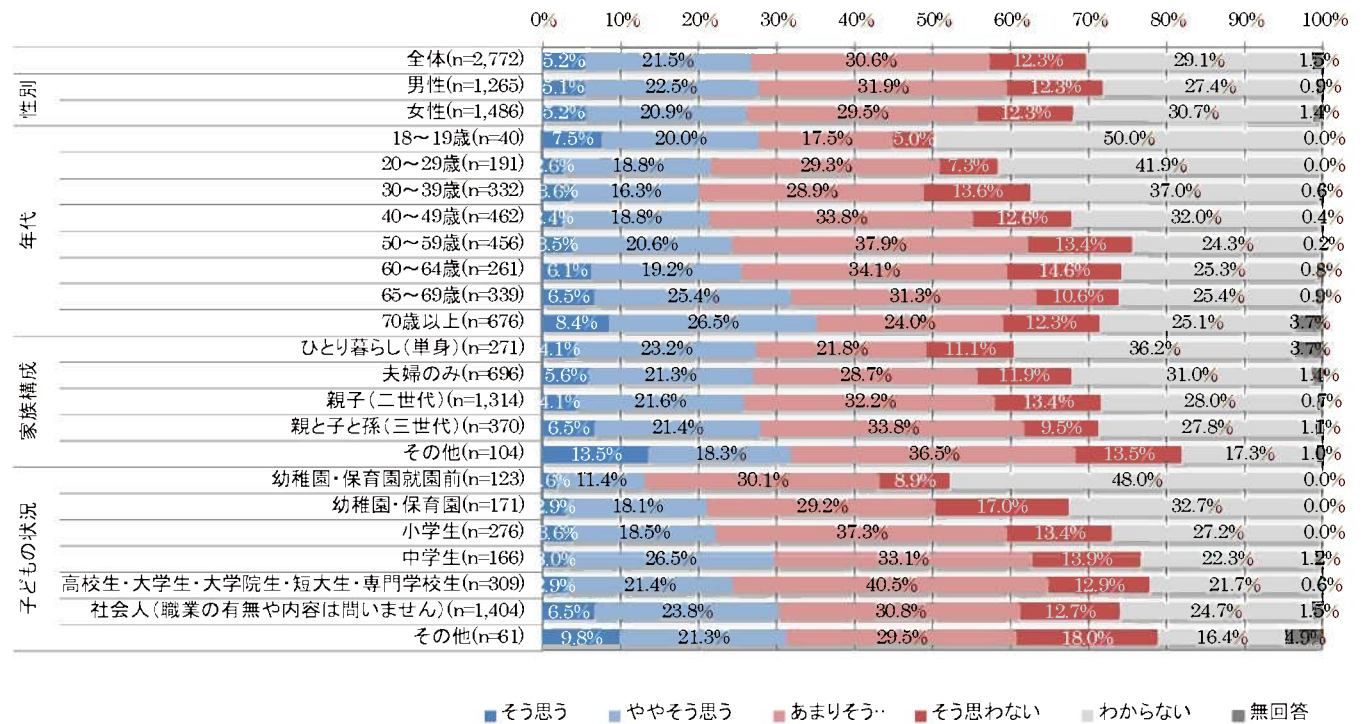
環境や体制に関する質問:26.7% 障害のある人が安心して暮らせるサービスや環境が整っている

回答者自身の実践状況に関する質問:65.2% 障害のある人を見かけた時に、手助けが必要か気にかけるようにしている

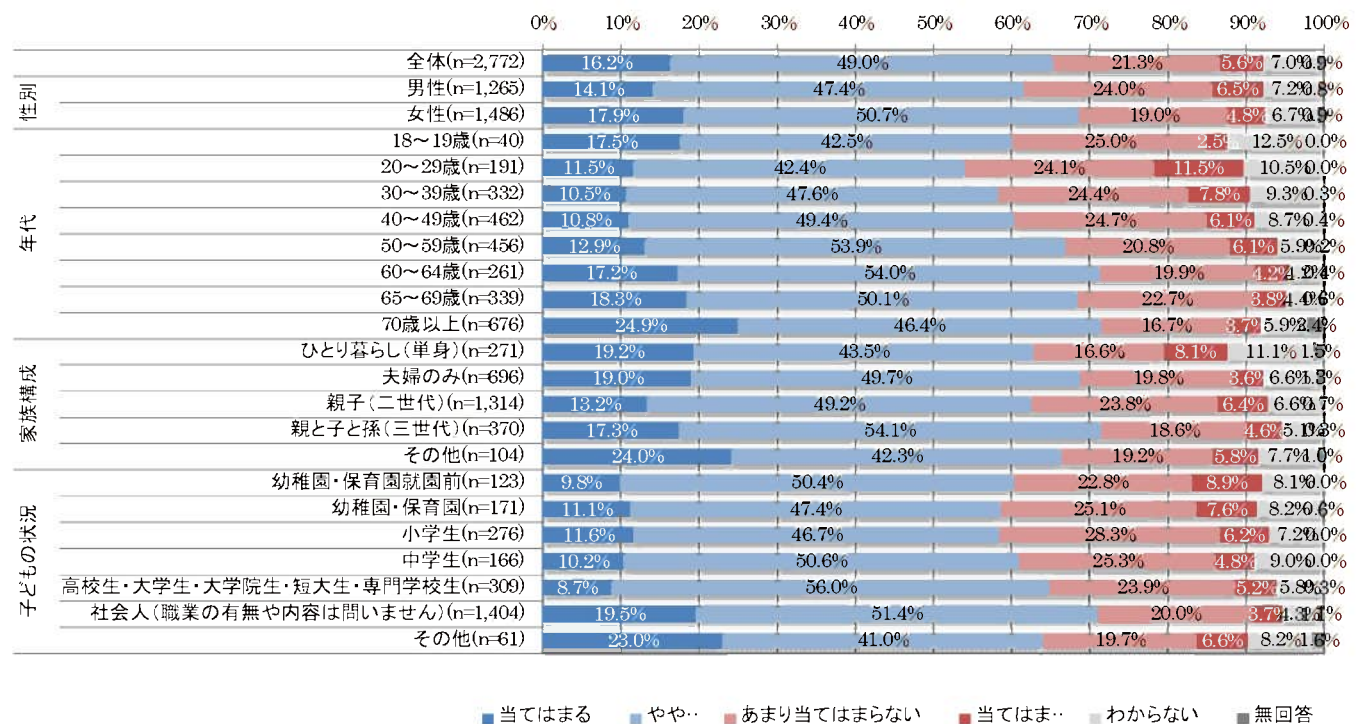
環境や体制に関する質問では、年代が高くなるほど、肯定的回答割合が高くなっているとともに、年代が低いほど評価保留の割合が高くなっている。

回答者自身の実践状況に関する質問では、男性より女性のほうが肯定的割合が高くなっている。

環境や体制に関する質問の属性別結果



回答者自身の実践状況に関する質問の属性別結果



施策2-3-2 認め合い、支え合い、活かし合う地域社会の実現

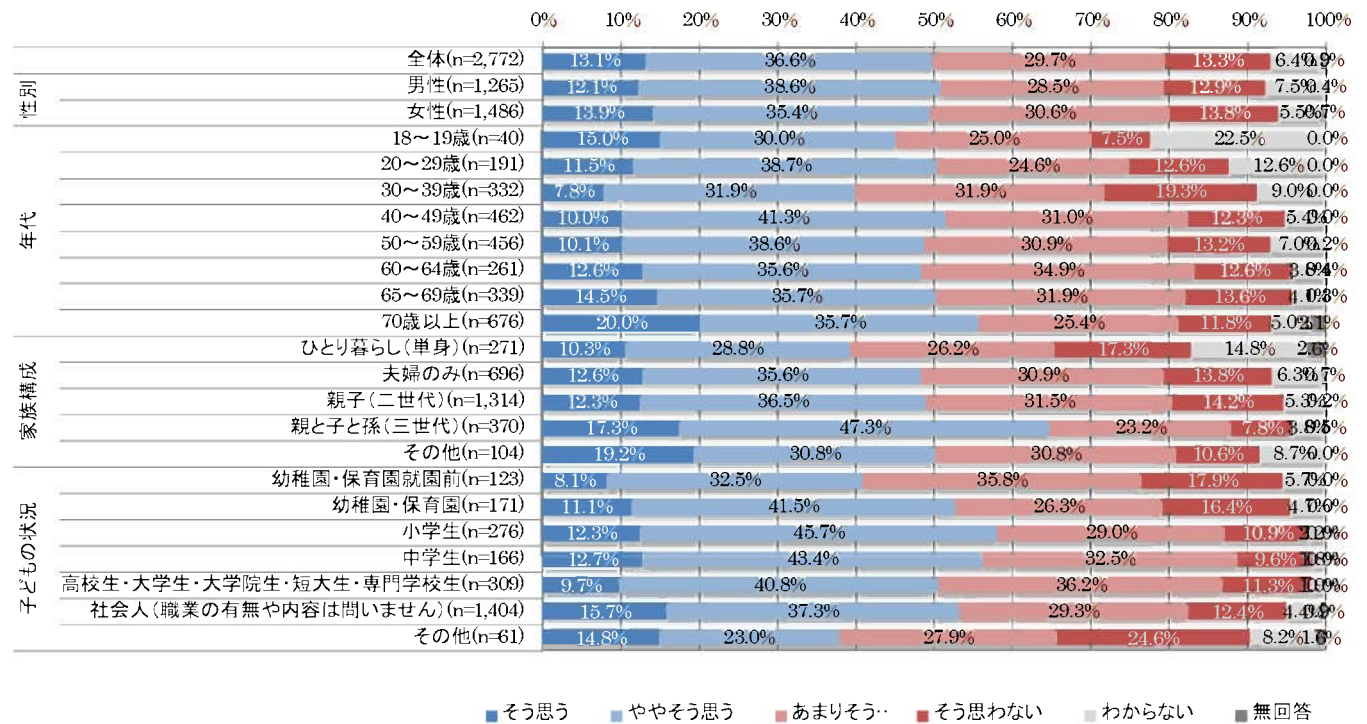
環境や体制に関する質問:49.7% ご近所において、支え合い、助け合える人間関係が築かれている

回答者自身の実践状況に関する質問:55.6% ご近所同士で交流をし、困った時にお互いに助け合える関係を築こうとしている

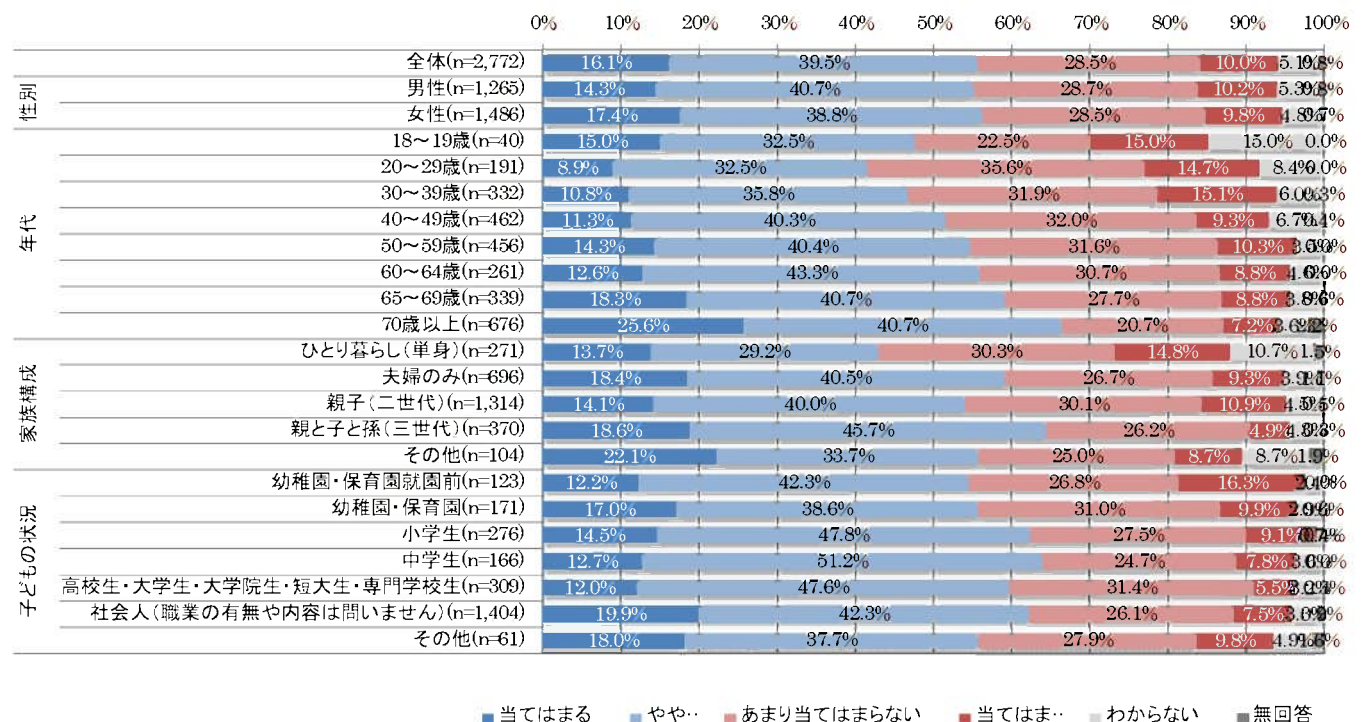
環境や体制に関する質問では、年代が高くなるほど、肯定的回答割合が高くなっているとともに、年代が低いほど評価保留の割合が高くなっている。

回答者自身の実践状況に関する質問では、年代が高いほど肯定的回答の割合が高くなっている。

環境や体制に関する質問の属性別結果



回答者自身の実践状況に関する質問の属性別結果



施策2-3-3 生活の安定と自立への支援

環境や体制に関する質問:27.3% 生活に困った時に相談できる体制が整っている

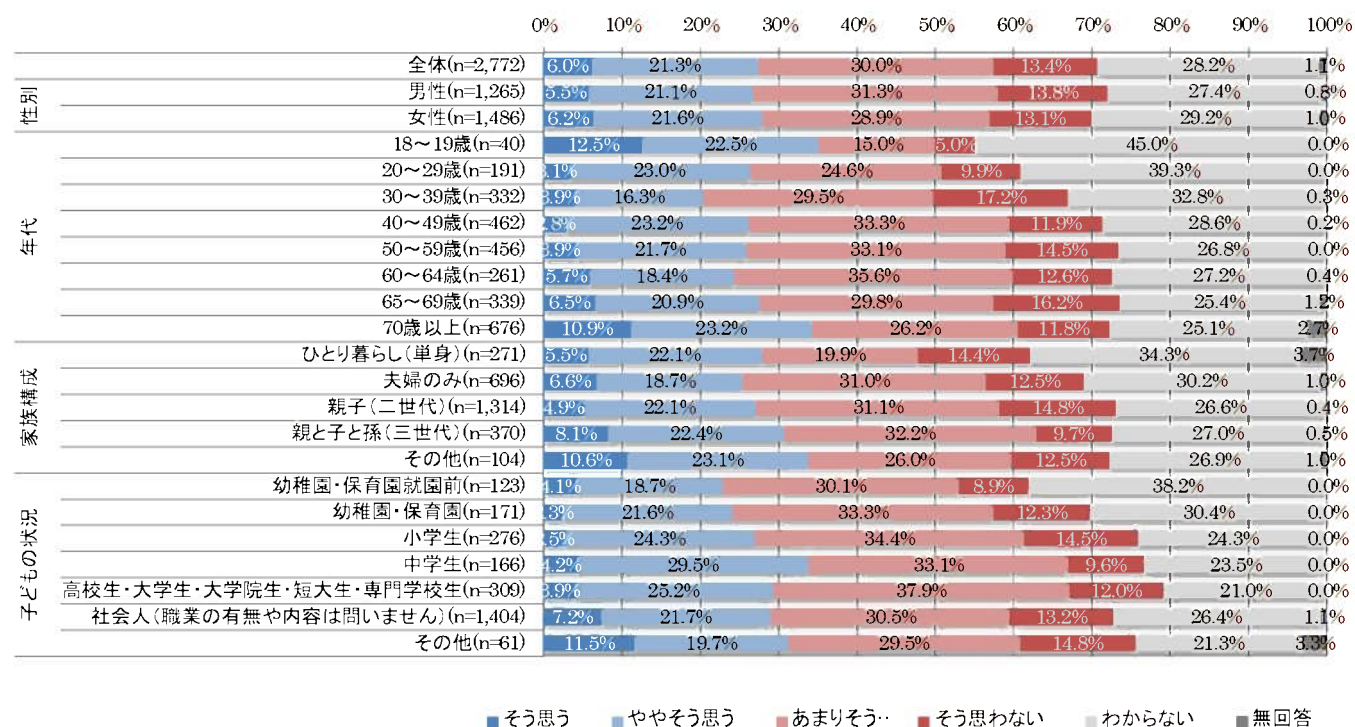
回答者自身の実践状況に関する質問:設定なし

環境や体制に関する質問では、30歳代の肯定的回答割合が低くなっているとともに、10歳代の評価保留の割合が高くなっている。

また、家族構成別では、親と子と孫(三世代)の肯定的回答割合が高くなっている。

評価保留割合が全体で約30%であるが、理由としては「その様な状況に陥ったことがないから」や「意識したことがない」といった意見があった。

環境や体制に関する質問の属性別結果



施策2-4-1 健康の保持・増進の支援

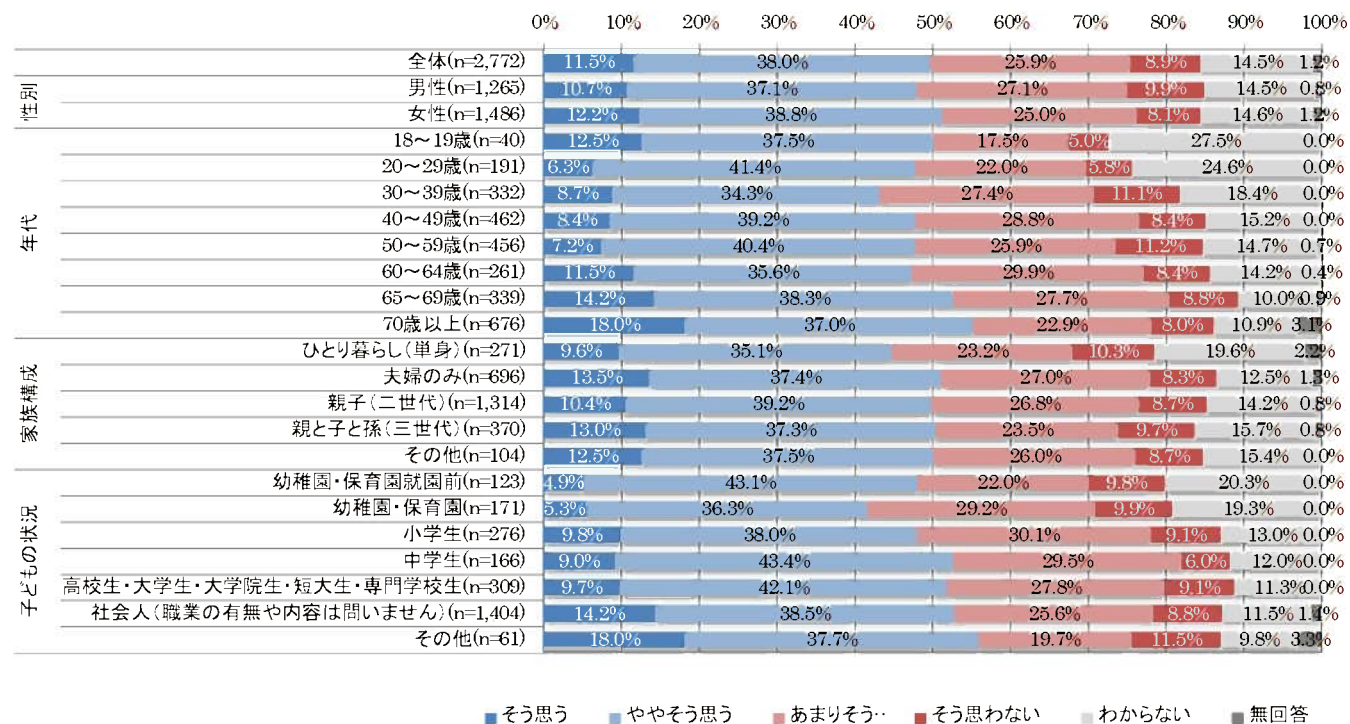
環境や体制に関する質問:49.5% 健康づくりに取り組みやすい環境が整っている

回答者自身の実践状況に関する質問:56.8% 健康づくりに継続的に取り組んでいる

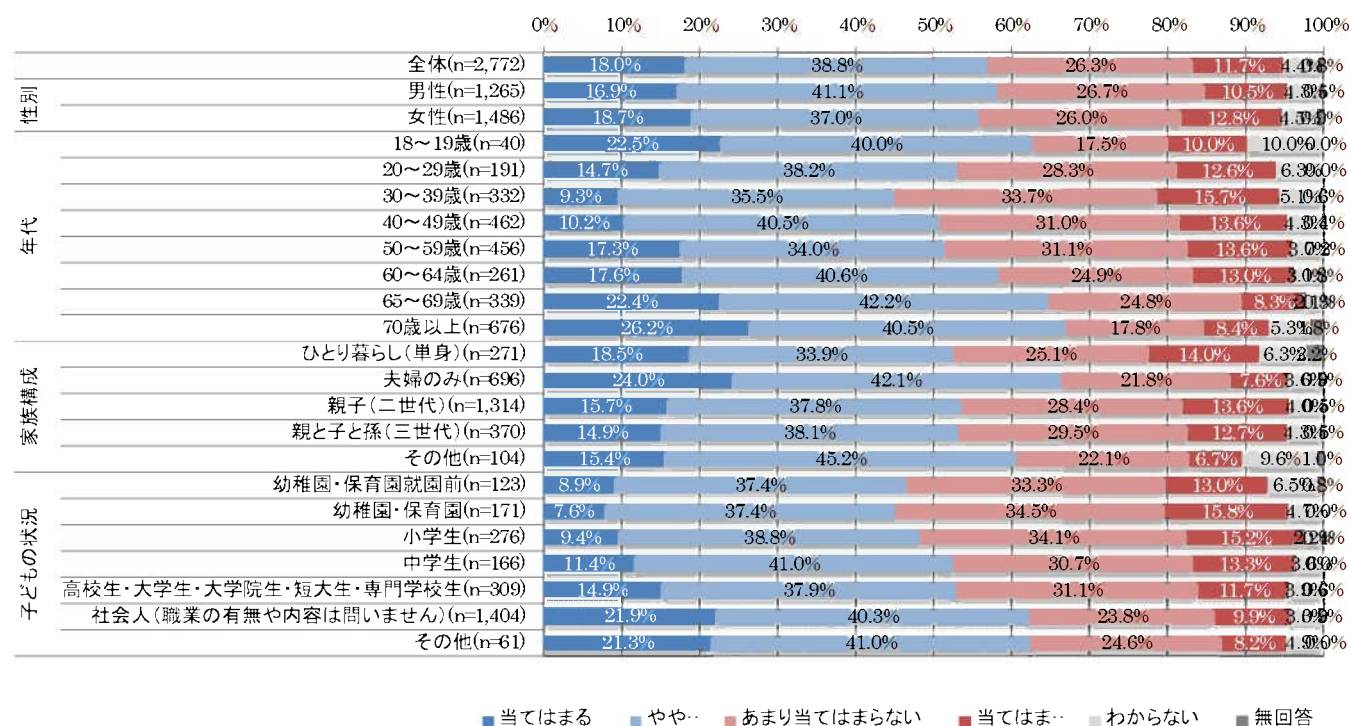
環境や体制に関する質問では、10～20歳代の評価保留の回答割合が高くなっている。

回答者の実践状況に関する質問では、30歳代の肯定的回答の割合が他の年代より低くなっているとともに、年代が高くなるほど肯定的回答の割合が高くなっている。

環境や体制に関する質問の属性別結果



回答者自身の実践状況に関する質問の属性別結果



施策2-4-2 保健衛生の充実

環境や体制に関する質問:21.7% 不安やストレスを感じた時に相談できる体制が整っている

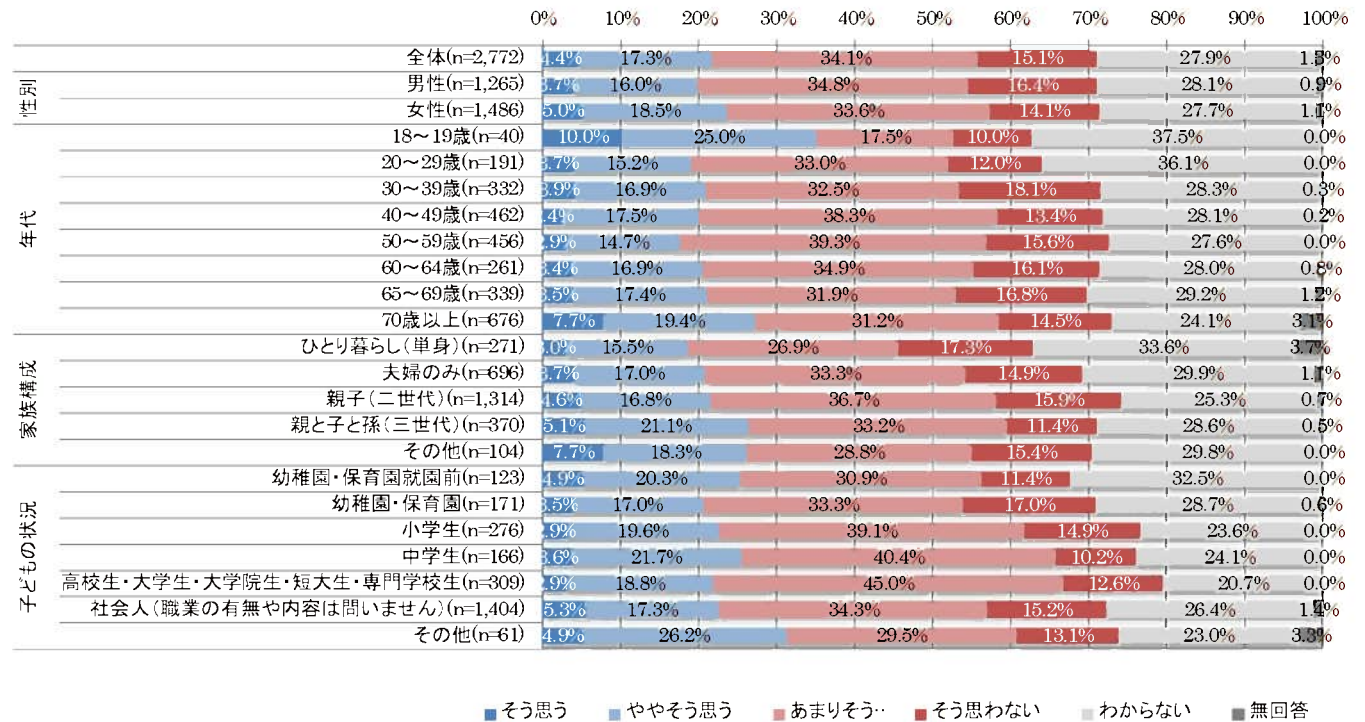
回答者自身の実践状況に関する質問:64.8% 不安やストレスを一人で抱え込まないようにしている

環境や体制に関する質問と回答者自身の実践状況に関する質問の肯定的回答割合の差が、回答者自身の実践状況のほうが43.1ポイント高かった。

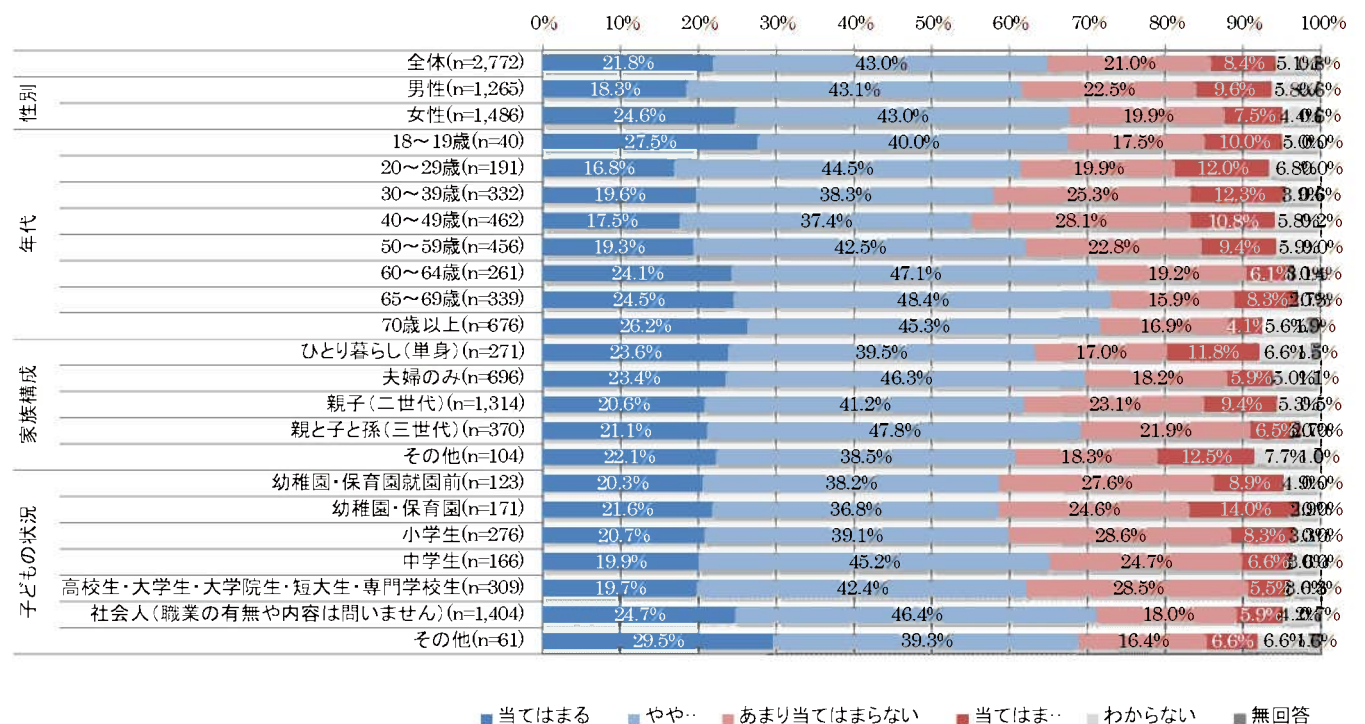
また、環境や体制に関する質問では、全体として評価保留の割合が高くなっている。

評価保留割合が全体で約30%あるが、理由としては「そうした制度を知らない」や「利用したことがないの」でわからない」といった意見があった。

環境や体制に関する質問の属性別結果



回答者自身の実践状況に関する質問の属性別結果



施策2-4-3 地域医療体制の充実

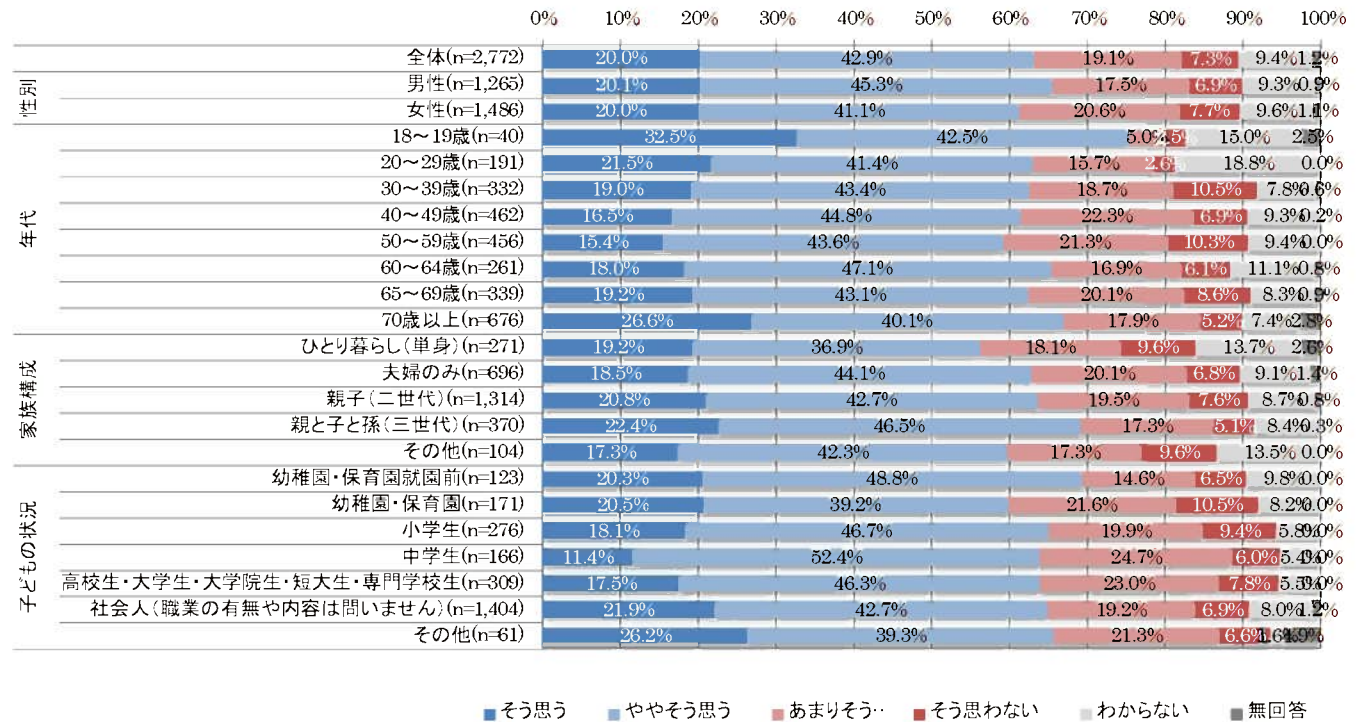
環境や体制に関する質問:62.9% 必要な医療サービスを受けられる体制が整っている

回答者自身の実践状況に関する質問:75.4% かかりつけ医がいる

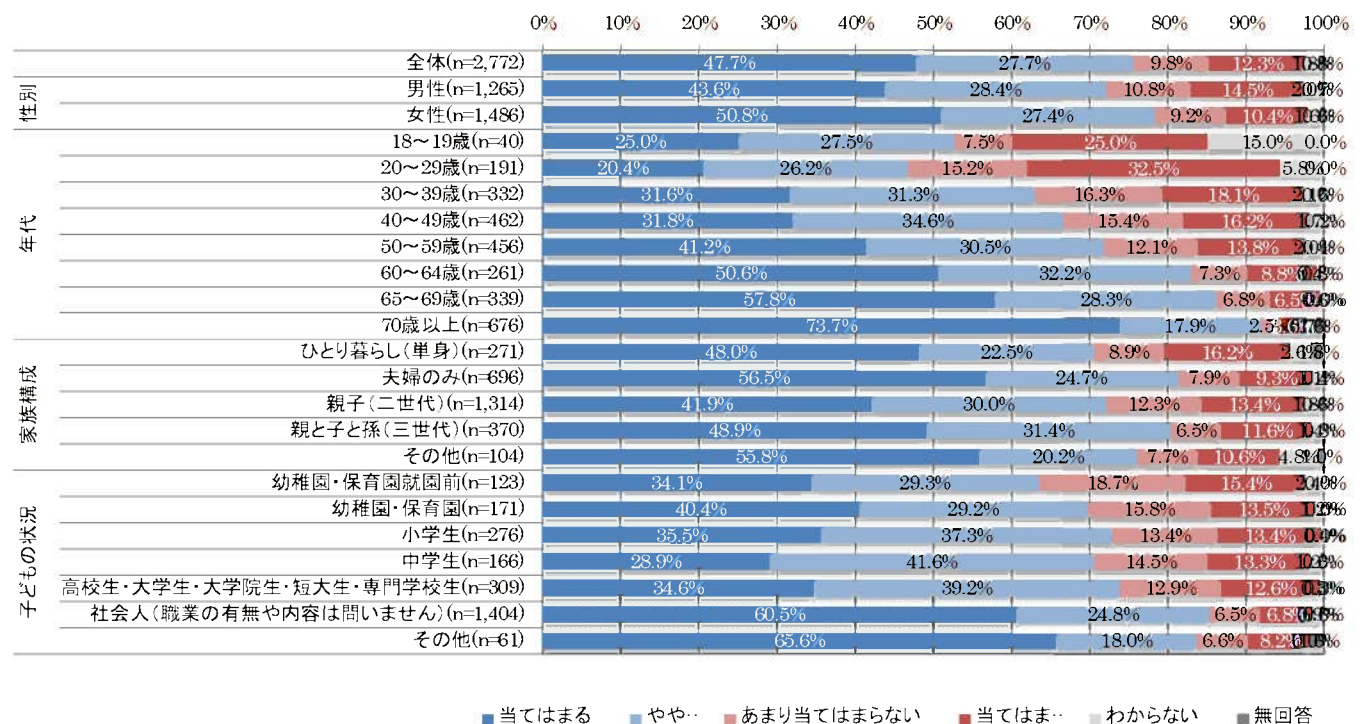
環境や体制に関する質問では、10歳代の肯定的回答割合が他の世代と比較して高くなっている。

回答者の実践状況に関する質問では、年代が高くなるほど肯定的回答割合が高くなっている。

環境や体制に関する質問の属性別結果



回答者自身の実践状況に関する質問の属性別結果



施策2-5-1 人権尊重社会の実現

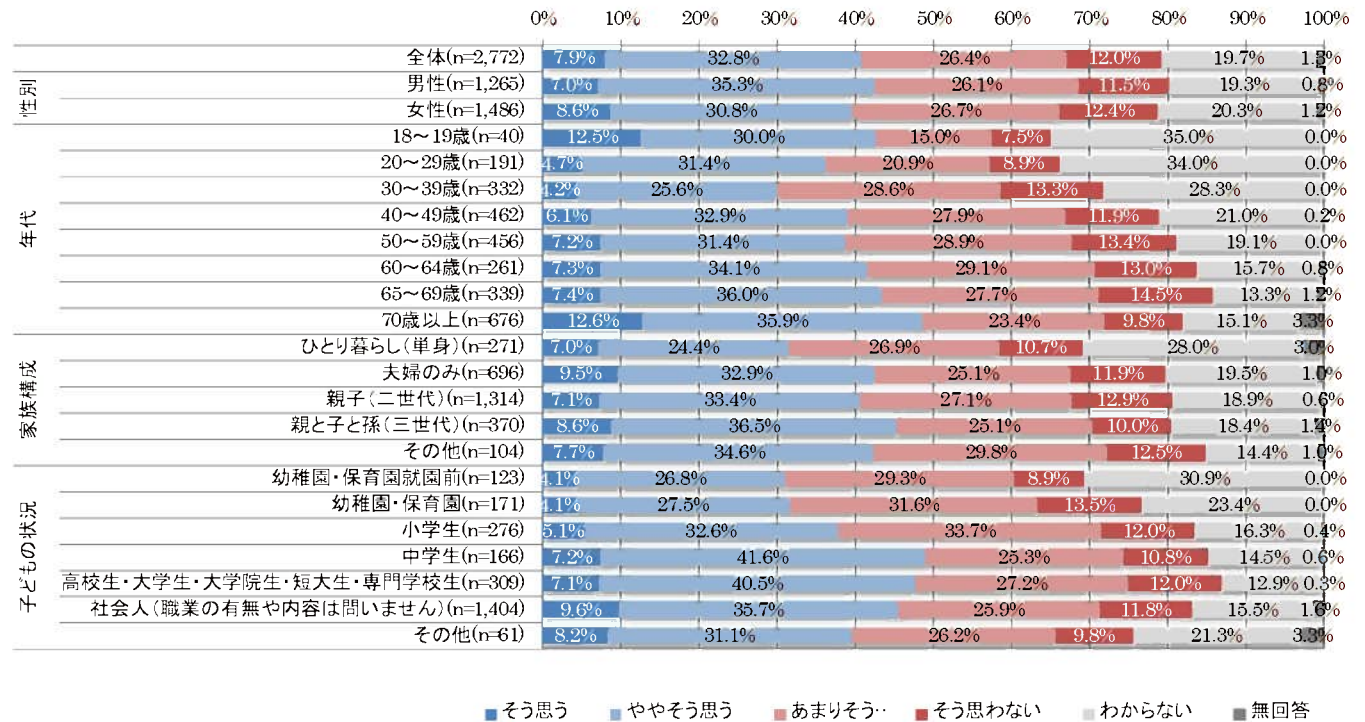
環境や体制に関する質問:40.7% 互いの個性や立場を尊重し合える地域である

回答者自身の実践状況に関する質問:52.4% 人権問題について理解を深めようとしている

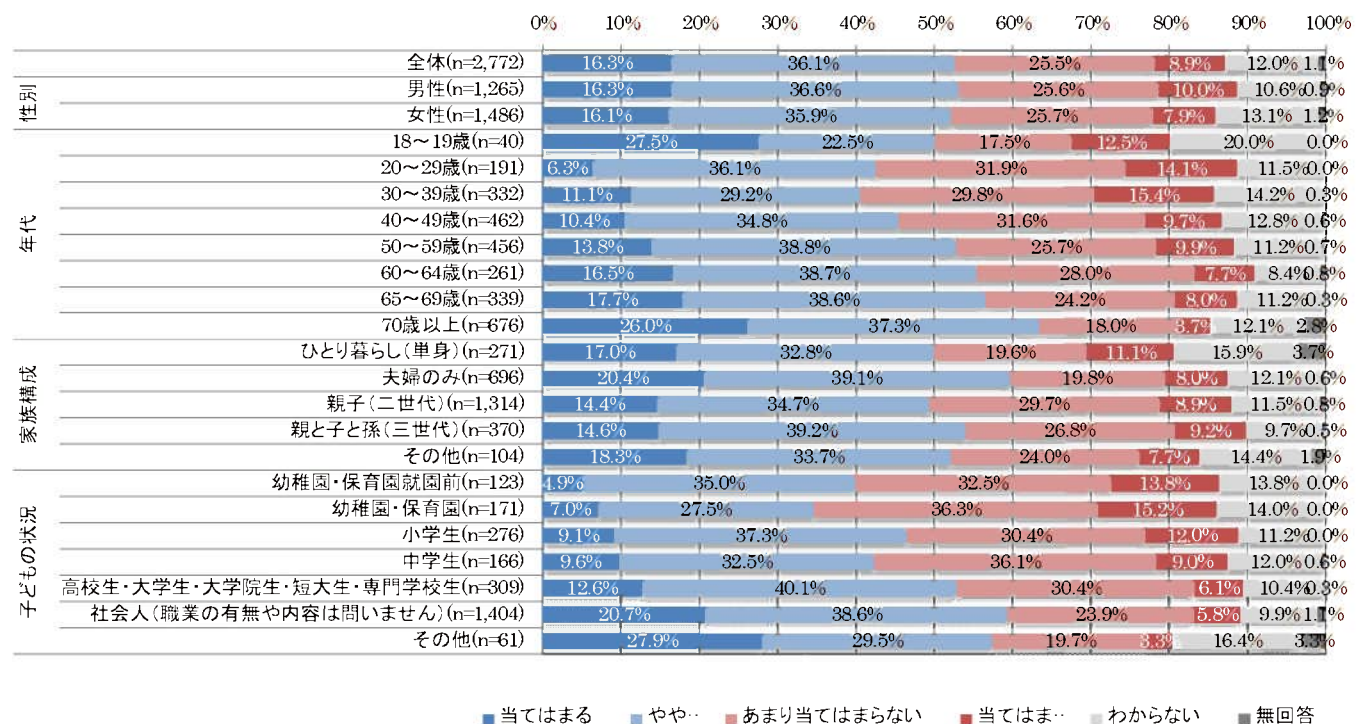
環境や体制に関する質問では、30歳代の肯定的回答割合が他の世代と比較して低くなっているとともに、10歳代と20歳代の若い世代での評価保留割合が高くなっている。

回答者の実践状況に関する質問では、20歳代と30歳代の肯定的回答割合が他の世代と比較して低くなっている。

環境や体制に関する質問の属性別結果



回答者自身の実践状況に関する質問の属性別結果



施策2-5-2 男女共同参画社会の実現

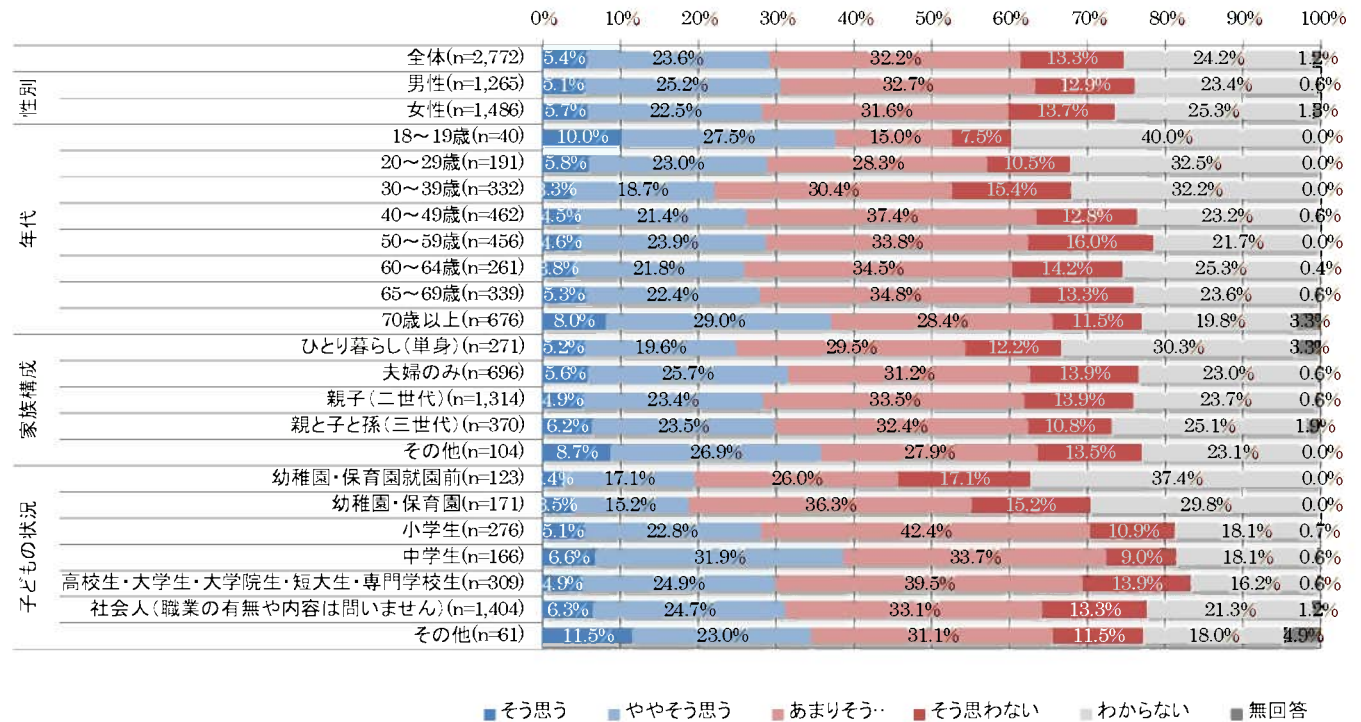
環境や体制に関する質問:29.0% 性別にかかわらず、個性や能力を十分に活かすことができる地域である
回答者自身の実践状況に関する質問:47.3% 男女共同参画について理解を深めようとしている

環境や体制に関する質問と回答者自身の実践状況に関する質問の肯定的回答割合の差では、回答者自身の実践状況のほうが18.3ポイント高かった。

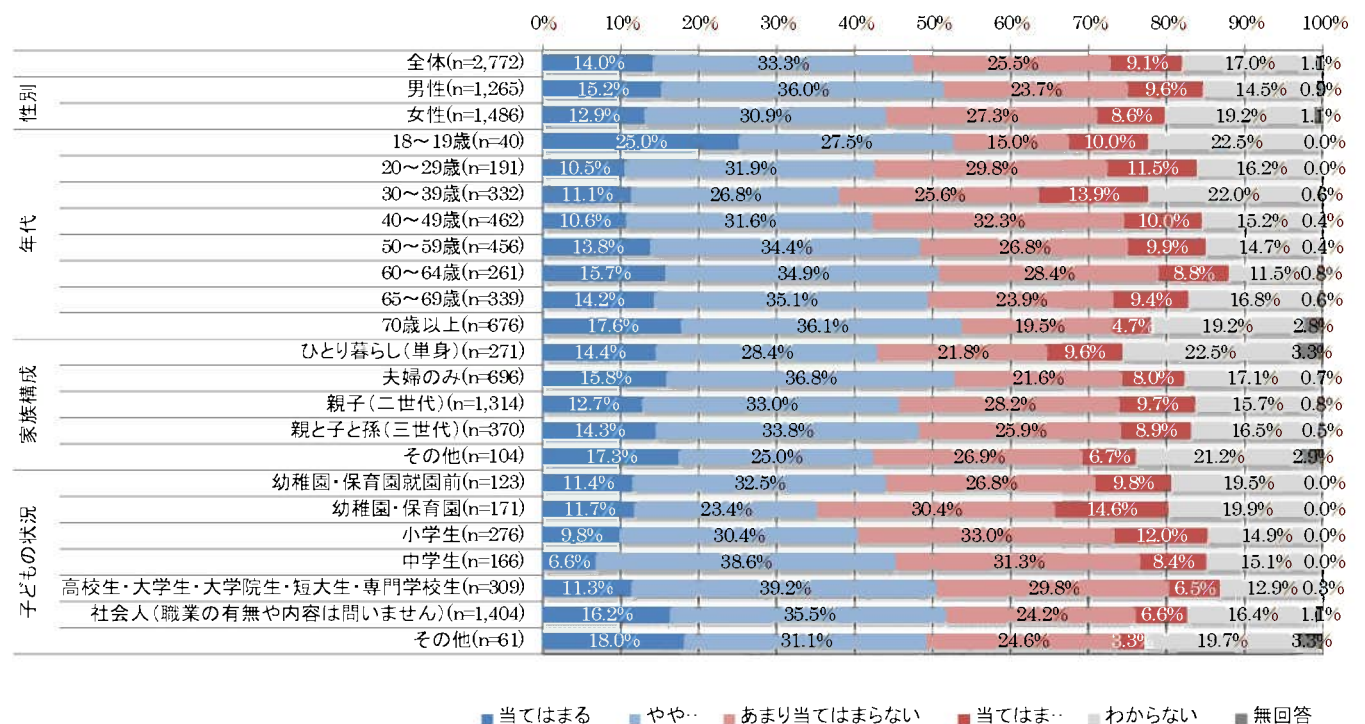
環境や体制に関する質問では、10歳代～30歳代の若い世代での評価保留割合が高くなっている。

回答者の実践状況に関する質問では、30歳代の肯定的回答割合が他の世代と比較して低くなっている。

環境や体制に関する質問の属性別結果



回答者自身の実践状況に関する質問の属性別結果



施策3-1-1 低炭素社会の実現

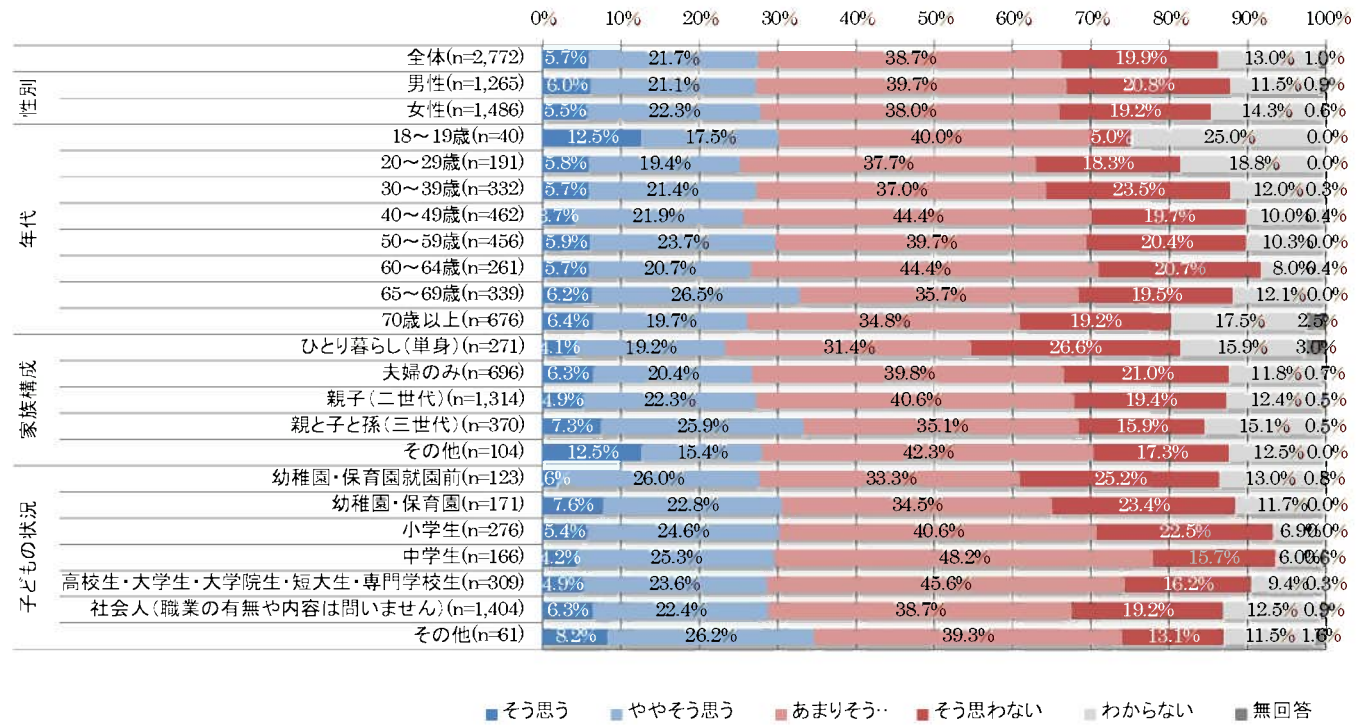
環境や体制に関する質問:27.4% 太陽光発電や節電、自動車利用を控えるなど、温室効果ガスの発生を抑える取組が日常的に行われている

回答者自身の実践状況に関する質問:43.3% 太陽光利用や節電、自動車利用を控えるなど、温室効果ガスの発生を抑える暮らしをしている

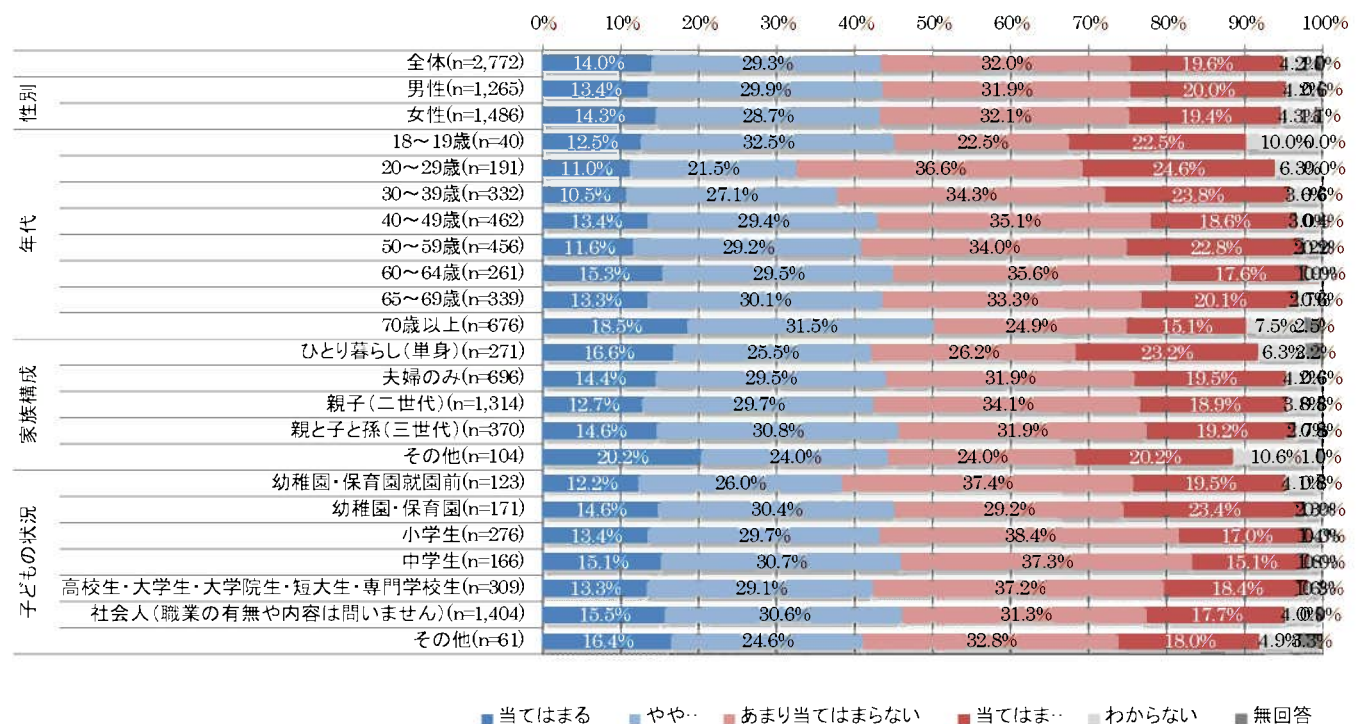
環境や体制に関する質問と回答者自身の実践状況に関する質問の肯定的回答割合の差では、回答者自身の実践状況のほうが15.9ポイント高かった。

回答者の実践状況に関する質問では、20歳代と30歳代の肯定的回答割合が他の世代と比較して低くなっている。

環境や体制に関する質問の属性別結果



回答者自身の実践状況に関する質問の属性別結果



施策3-1-2 循環型社会の実現

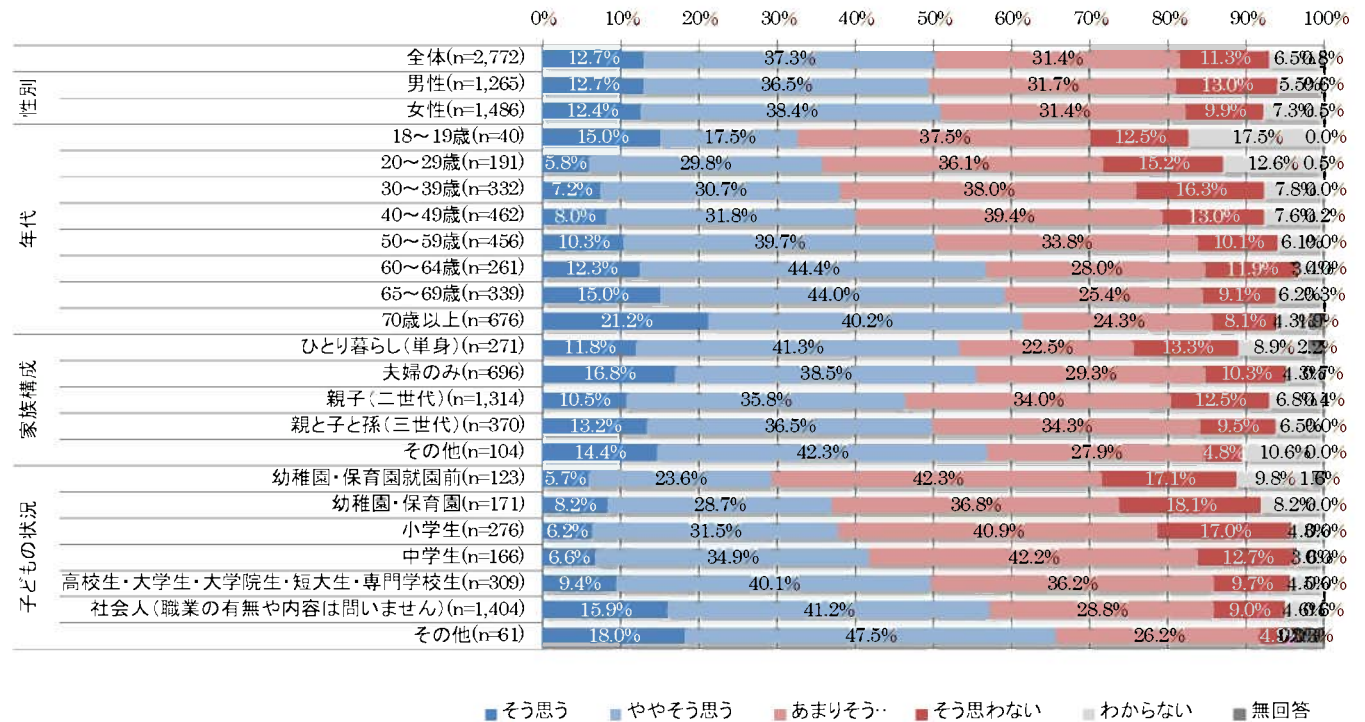
環境や体制に関する質問:50.0% 身のまわりにおいて、ごみの発生を減らす取組が日常的に行われている
回答者自身の実践状況に関する質問:

- 81.7% 食べ物を無駄にしないなど、ごみを出さないように気をつけて生活している
- 62.6% 使わないものを譲り合ったり、壊れたものを修理して使うなど、再利用に取り組んでいる
- 93.3% ごみの分別を徹底している

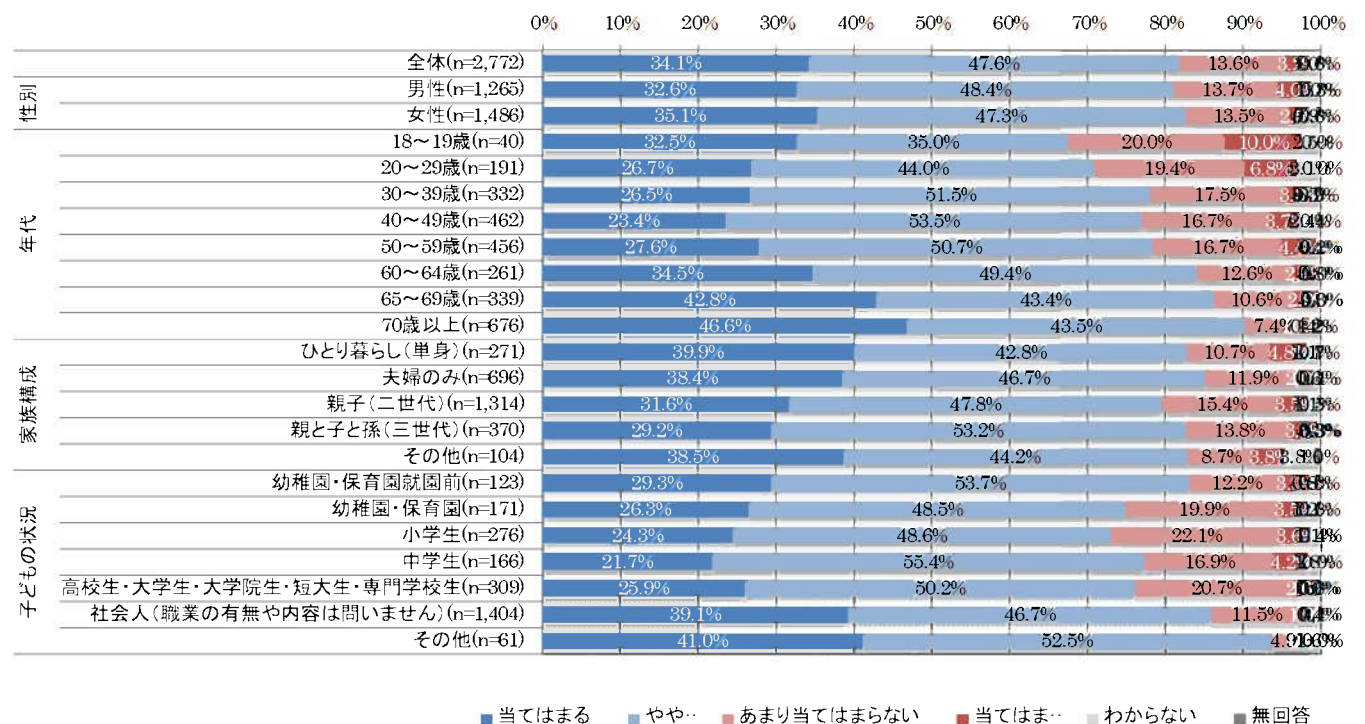
環境や体制に関する質問と回答者自身の実践状況に関する質問の肯定的回答割合の差は、「食べ物を無駄にしないなど、ごみを出さないように気をつけて生活している」では31.7ポイントであった。

環境や体制に関する質問では、年代が高くなるほど肯定的回答割合が高くなっている。

環境や体制に関する質問の属性別結果



回答者自身の実践状況に関する質問の属性別: 食べ物を無駄にしないなど、ごみを出さないように気をつけて生活している

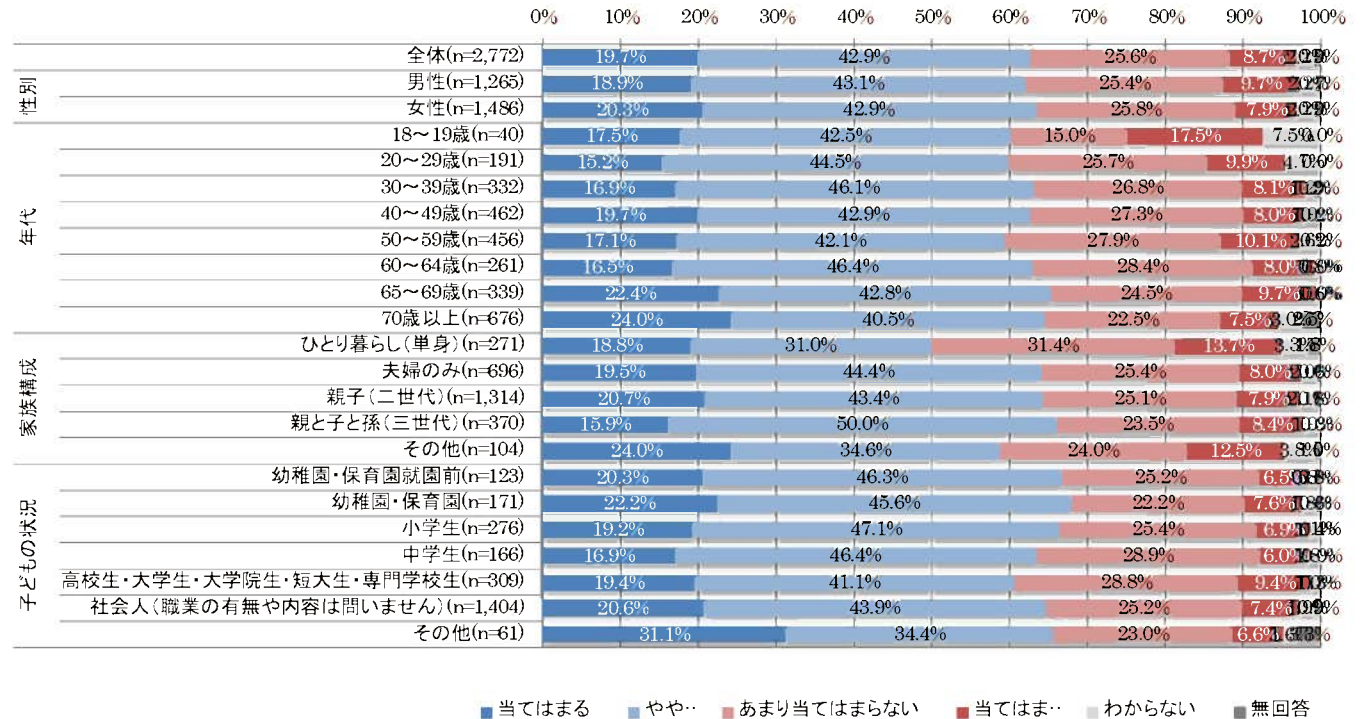


施策3-1-2 循環型社会の実現(前項からの続き)

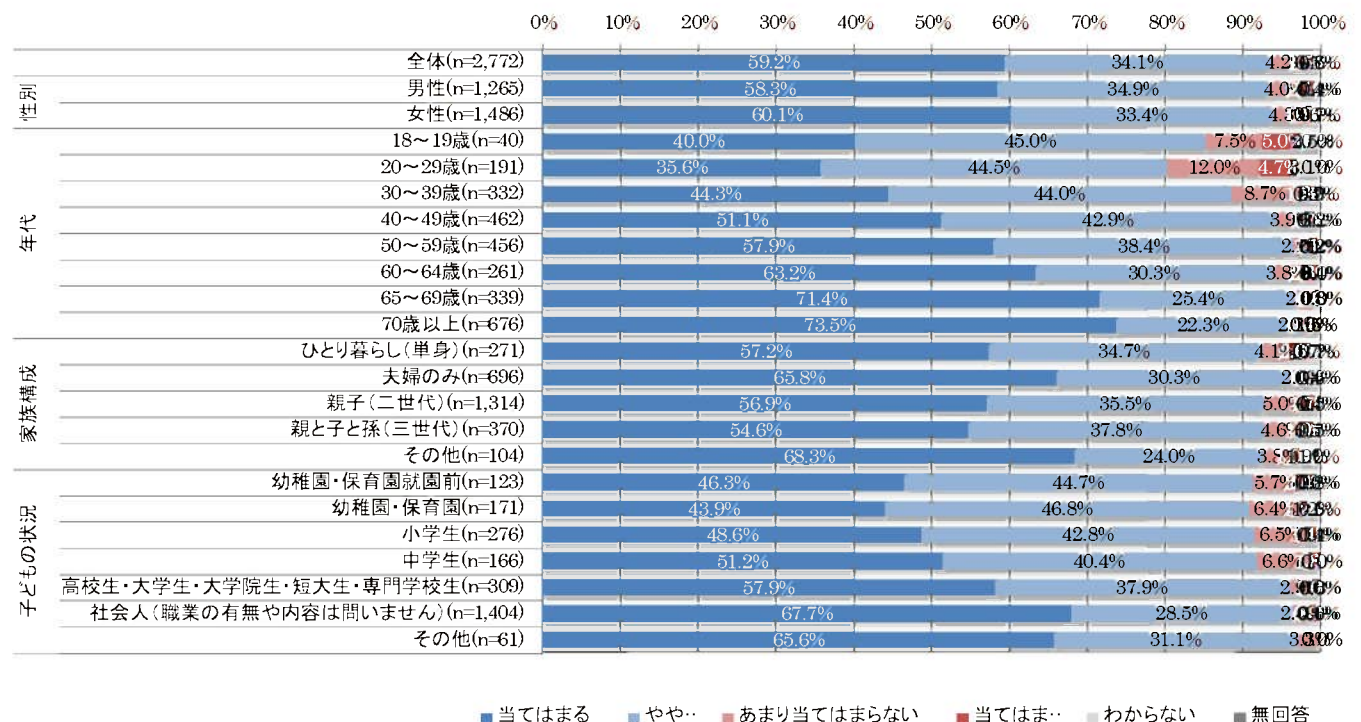
環境や体制に関する質問と回答者自身の実践状況に関する質問の肯定的回答割合の差は、「ごみの分別を徹底している」では43.3ポイントであった。

回答者自身の実践状況に関する質問(ごみの分別を徹底している)では、年代が高くなるほど肯定的回答割合が高くなっている。

回答者自身の実践状況に関する質問の属性別(使わないものを譲り合ったり、壊れたものを修理して使うなど、再利用に取り組んでいる



回答者自身の実践状況に関する質問の属性別結果 ごみの分別を徹底している



施策3-2-1 豊かな自然環境の保全

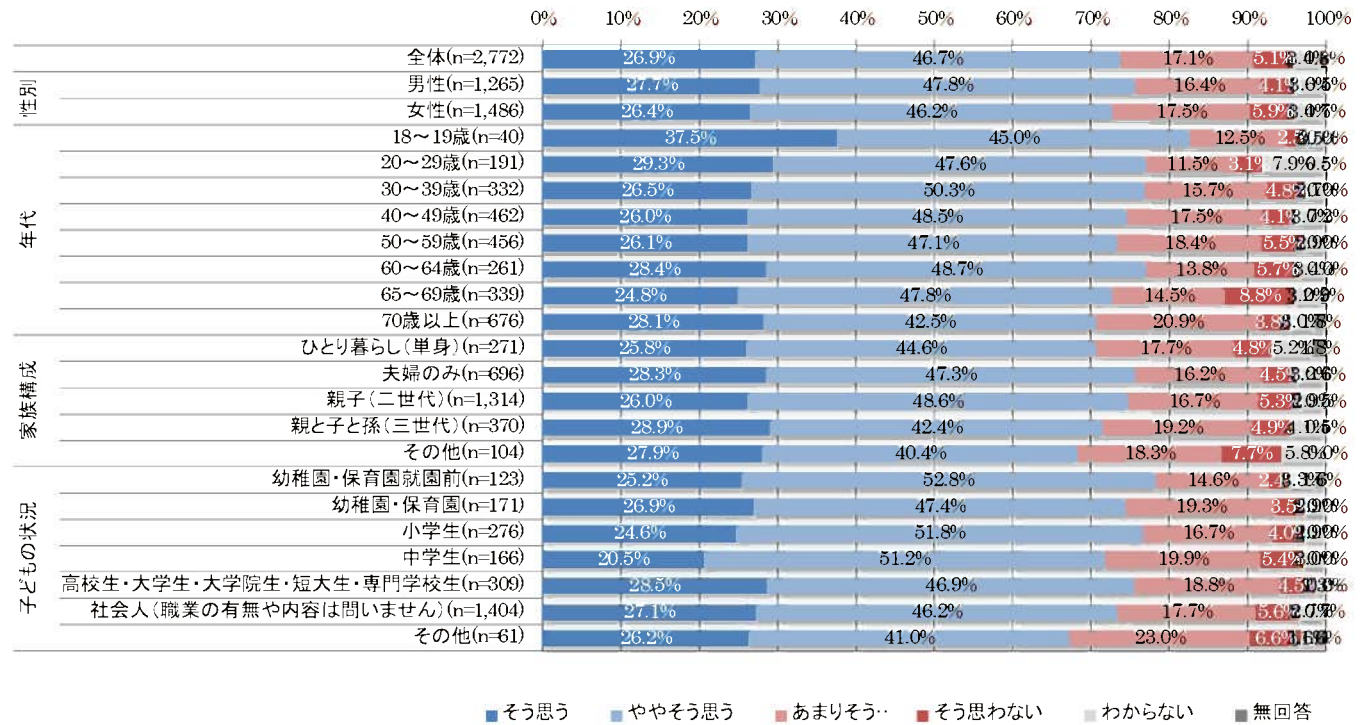
環境や体制に関する質問:73.6% 豊かな自然環境が保たれている

回答者自身の実践状況に関する質問:50.2% 自然について学び触れ合うなど、自然環境保全を意識した暮らしをしている

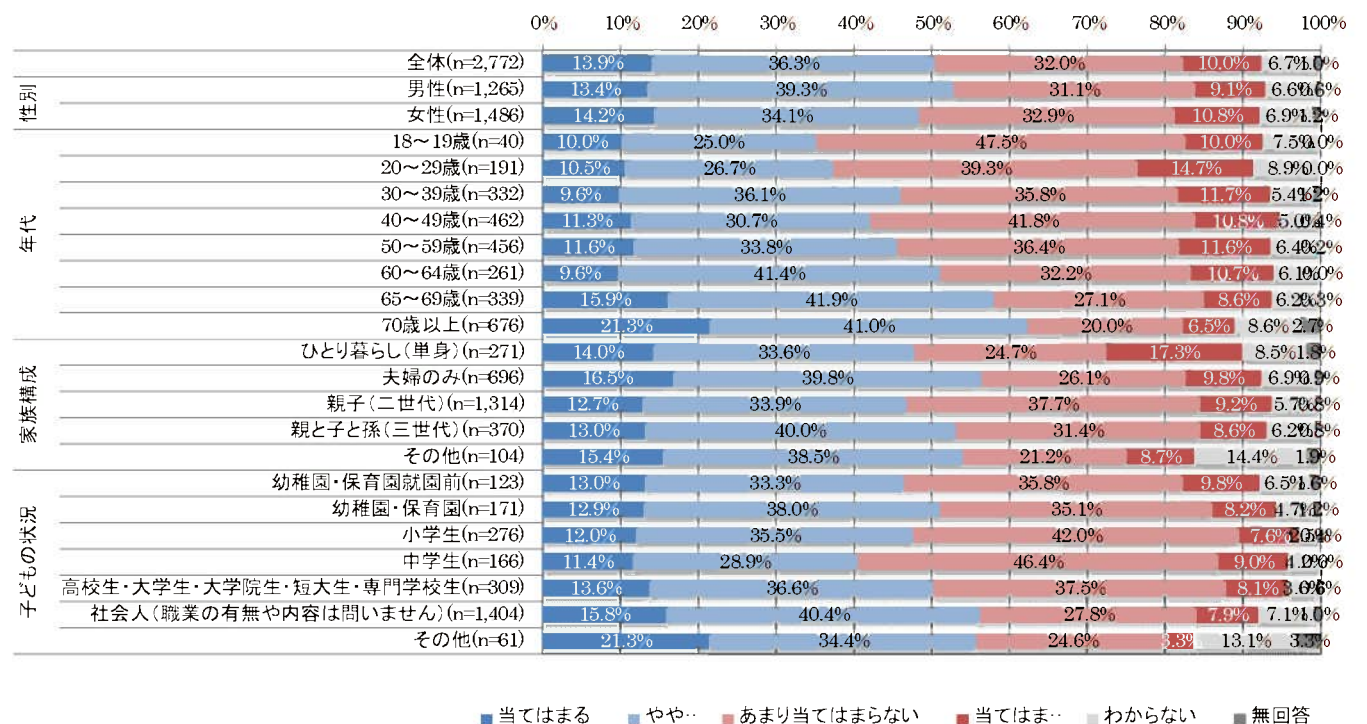
環境や体制に関する質問と回答者自身の実践状況に関する質問の肯定的回答割合の差は、環境や体制のほうが23.4ポイント高かった。

回答者自身の実践状況に関する質問では、年代が高くなるほど肯定的回答割合が高くなっている。

環境や体制に関する質問の属性別結果



回答者自身の実践状況に関する質問の属性別結果



施策3-2-2 良好な生活環境の保全

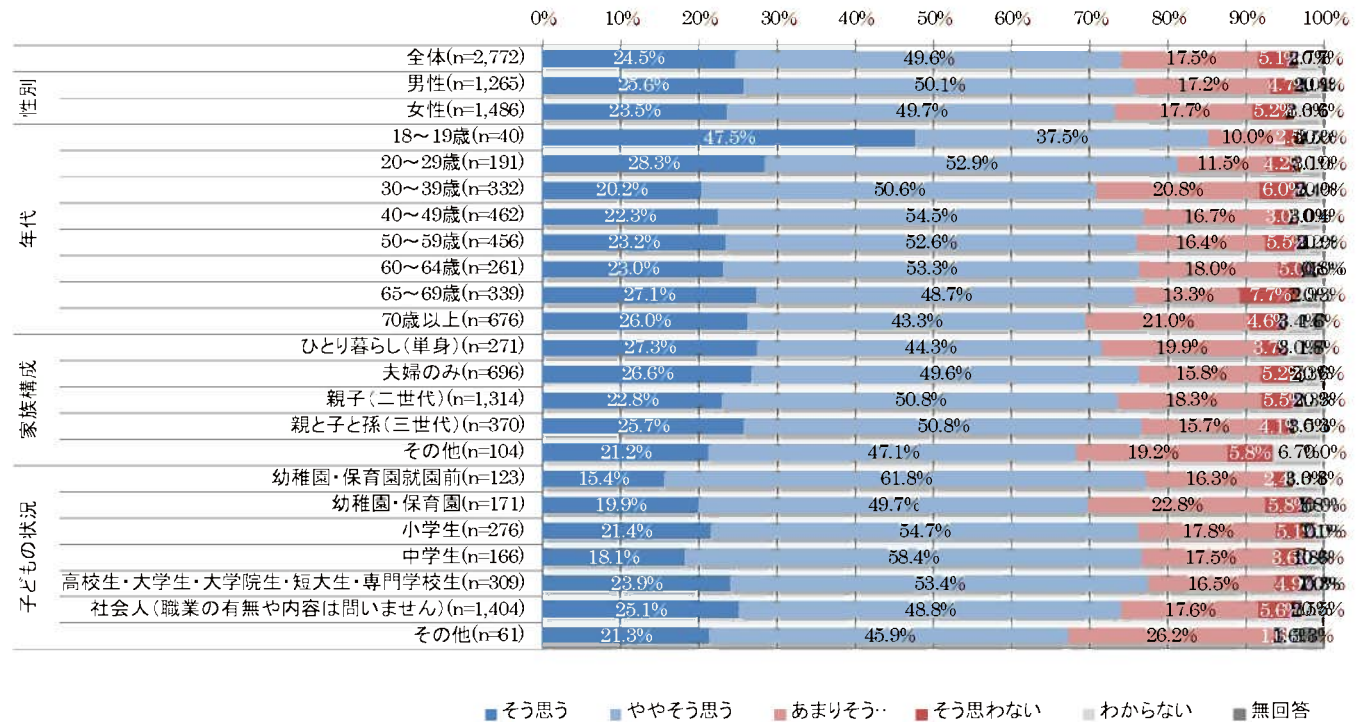
環境や体制に関する質問: 74.1% 空気や水がきれいで、まちも美しく保たれている

回答者自身の実践状況に関する質問: 48.8% 地域の環境美化活動など、良好な生活環境を保つための取組に参加している

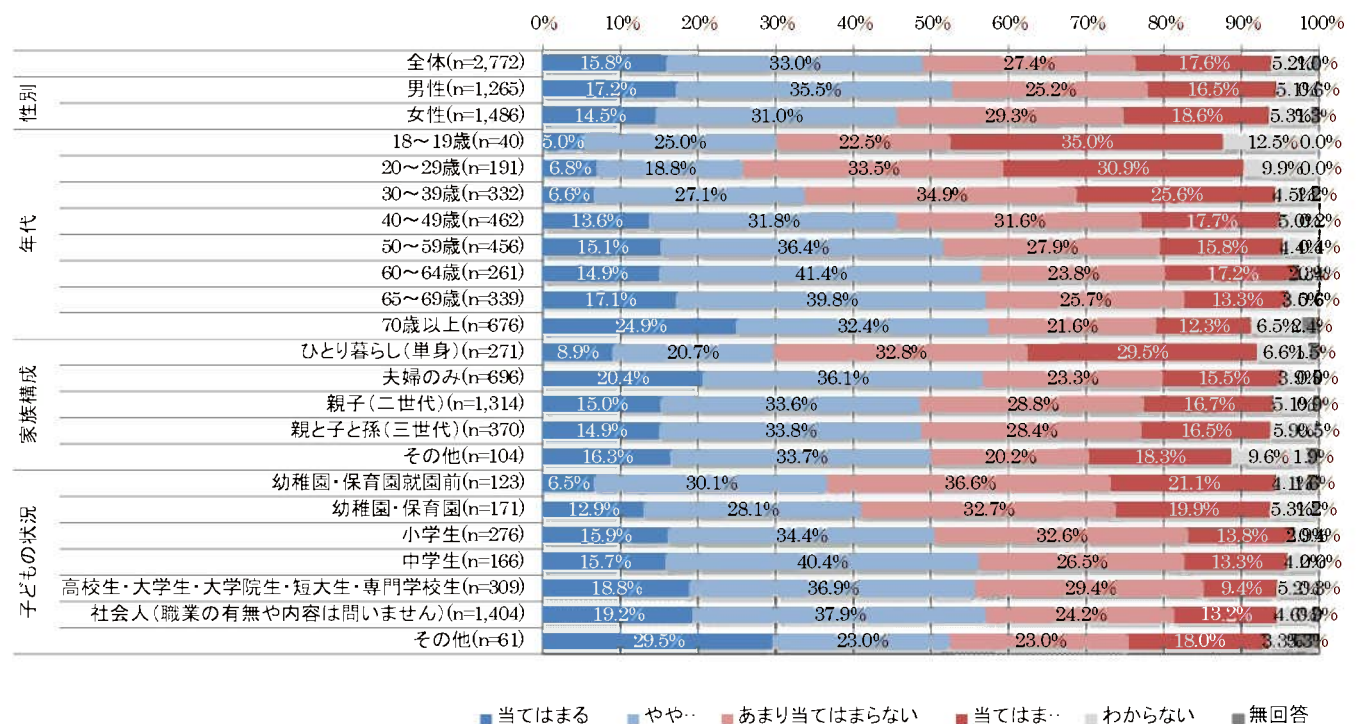
環境や体制に関する質問では、10歳代が他の年代と比較して肯定的回答割合が高くなっている。

回答者自身の実践状況に関する質問では、10歳代～30歳代の肯定的回答割合が低くなっている。

環境や体制に関する質問の属性別結果



回答者自身の実践状況に関する質問の属性別結果



施策4-1-1 防災・減災対策の推進

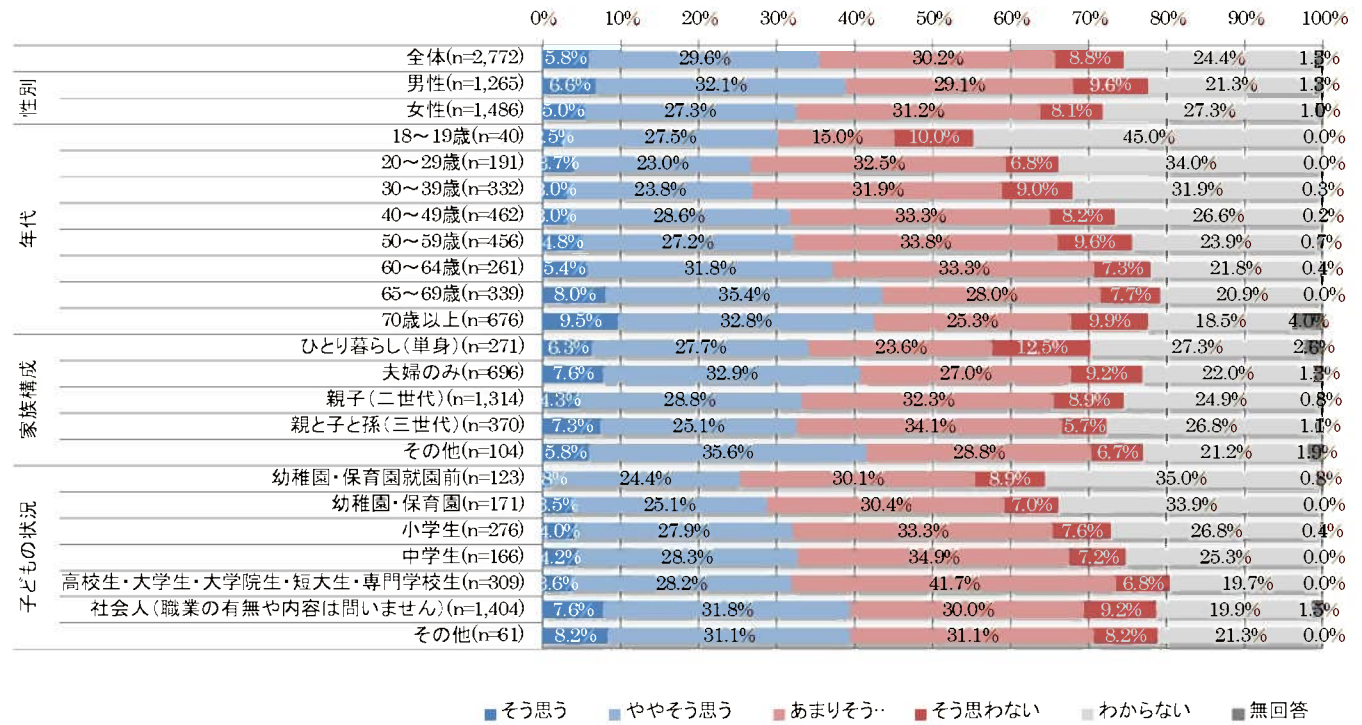
環境や体制に関する質問:35.4% 災害時に被害を最小限に抑制できる体制や準備が整っている

回答者自身の実践状況に関する質問:41.0% 災害に備えて食料や飲料水などを備蓄している

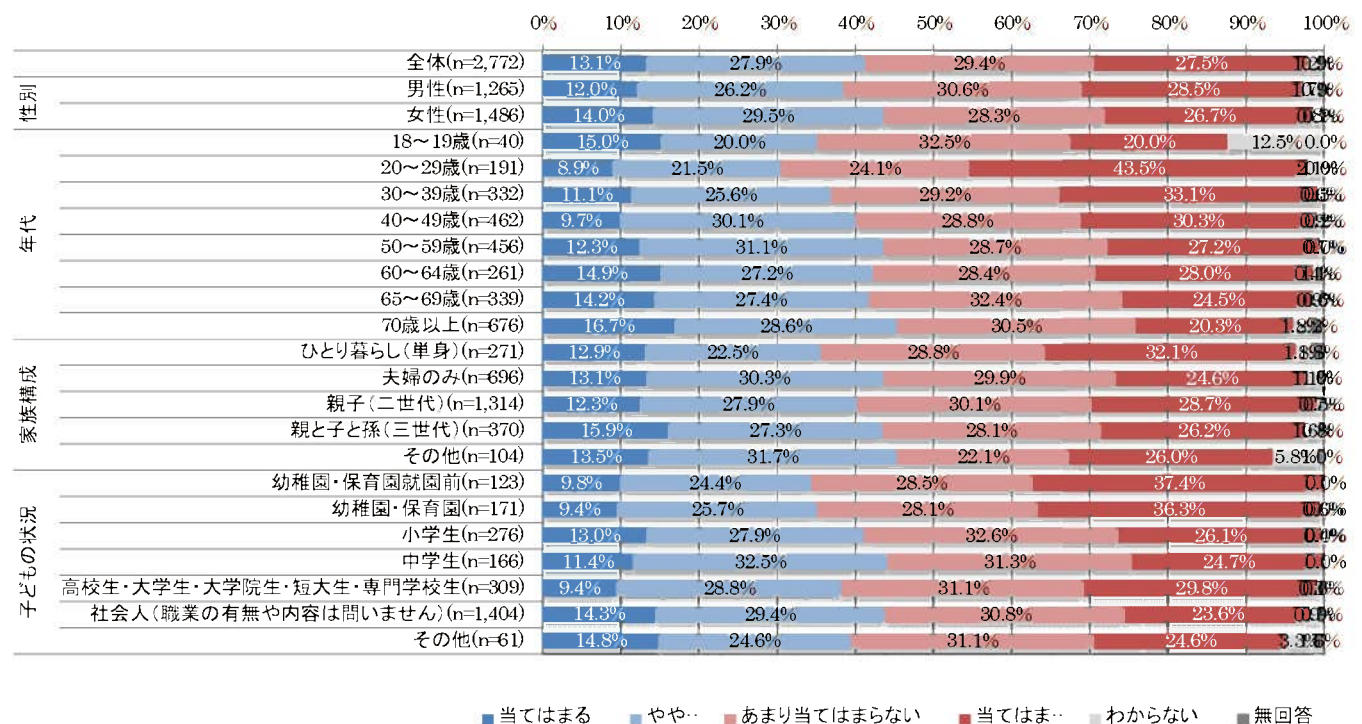
環境や体制に関する質問では、年代が低いほど評価保留回答の割合が高くなっている。

回答者自身の実践状況に関する質問では、10歳代や20歳代の若い世代の肯定的回答割合が、他の世代と比較して低くなっている。

環境や体制に関する質問の属性別結果



回答者自身の実践状況に関する質問の属性別結果



施策4-1-2 消防力の充実・強化及び火災予防

環境や体制に関する質問:62.7% 消防や救急体制が十分に整っている

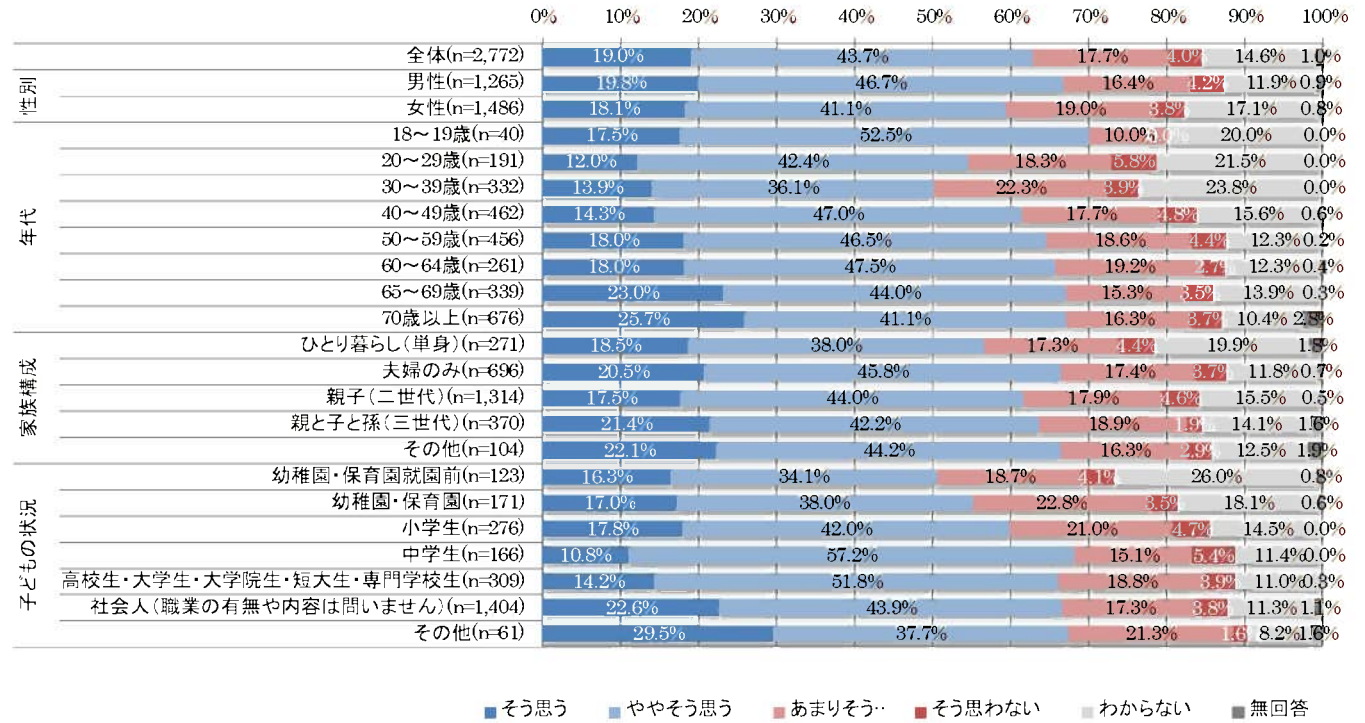
回答者自身の実践状況に関する質問:37.6% 応急手当の仕方を講習会などにより勉強している

環境や体制に関する質問と回答者自身の実践状況に関する質問の肯定的回答割合の差は、環境や体制に関する質問のほうが25.1ポイント高かった。

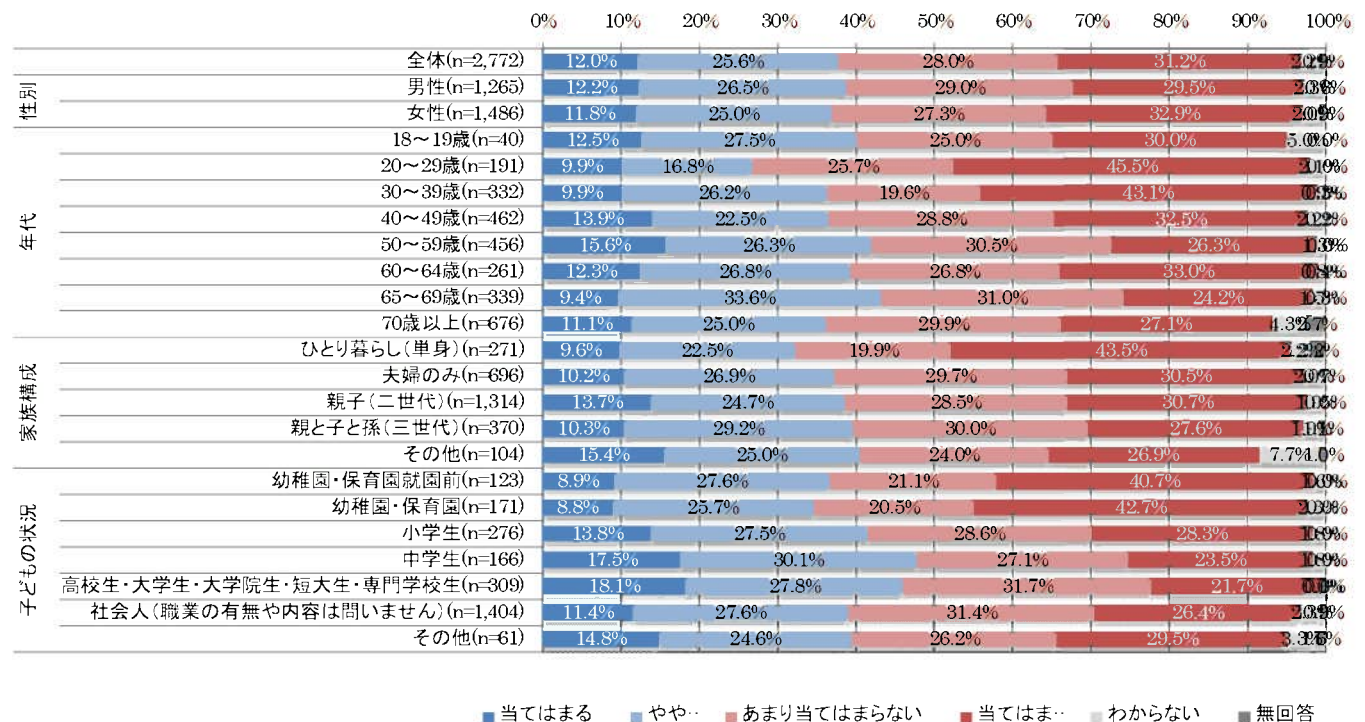
環境や体制に関する質問では、30歳代の評価保留割合が高くなっている。

回答者自身の実践状況に関する質問では、20歳代の肯定的回答割合が、他の世代と比較して低くなっている。

環境や体制に関する質問の属性別結果



回答者自身の実践状況に関する質問の属性別結果



施策4-2-1 交通安全対策の推進

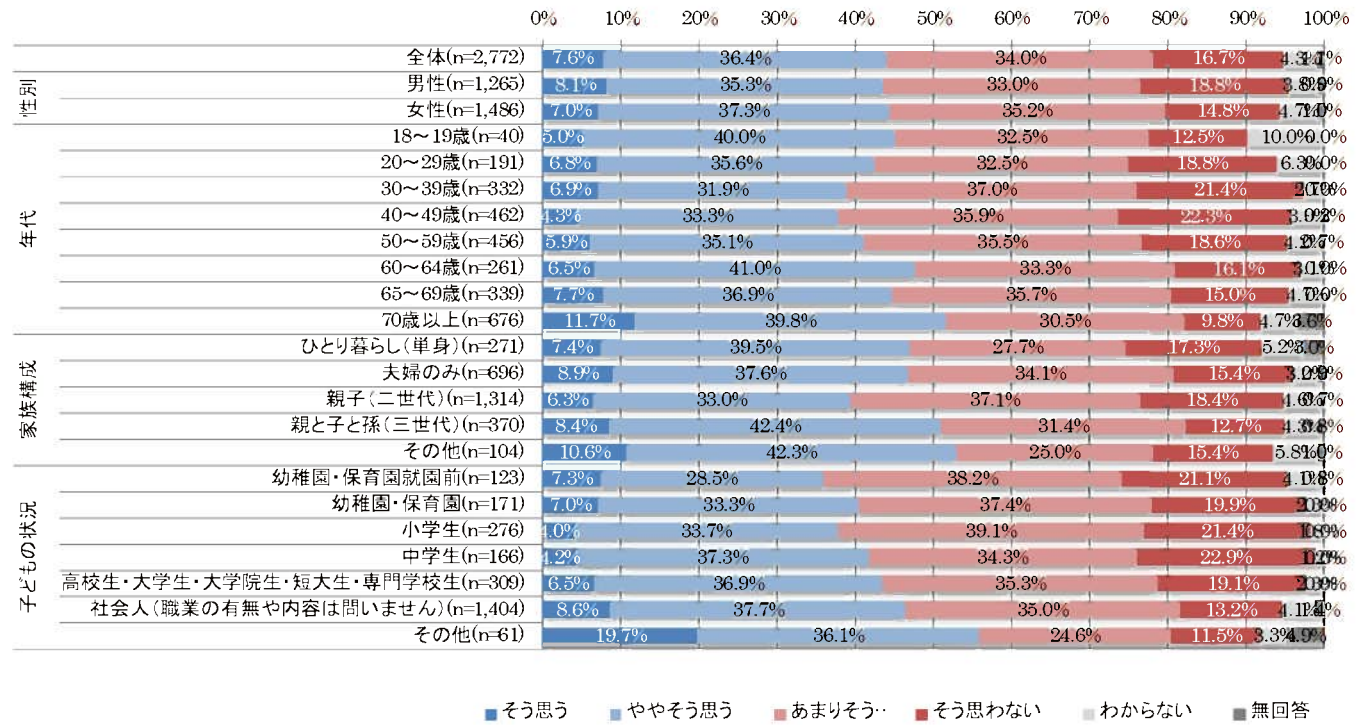
環境や体制に関する質問:44.0% 交通マナーが良い地域である

回答者自身の実践状況に関する質問:90.4% 自動車や自転車の交通マナーを意識して生活している

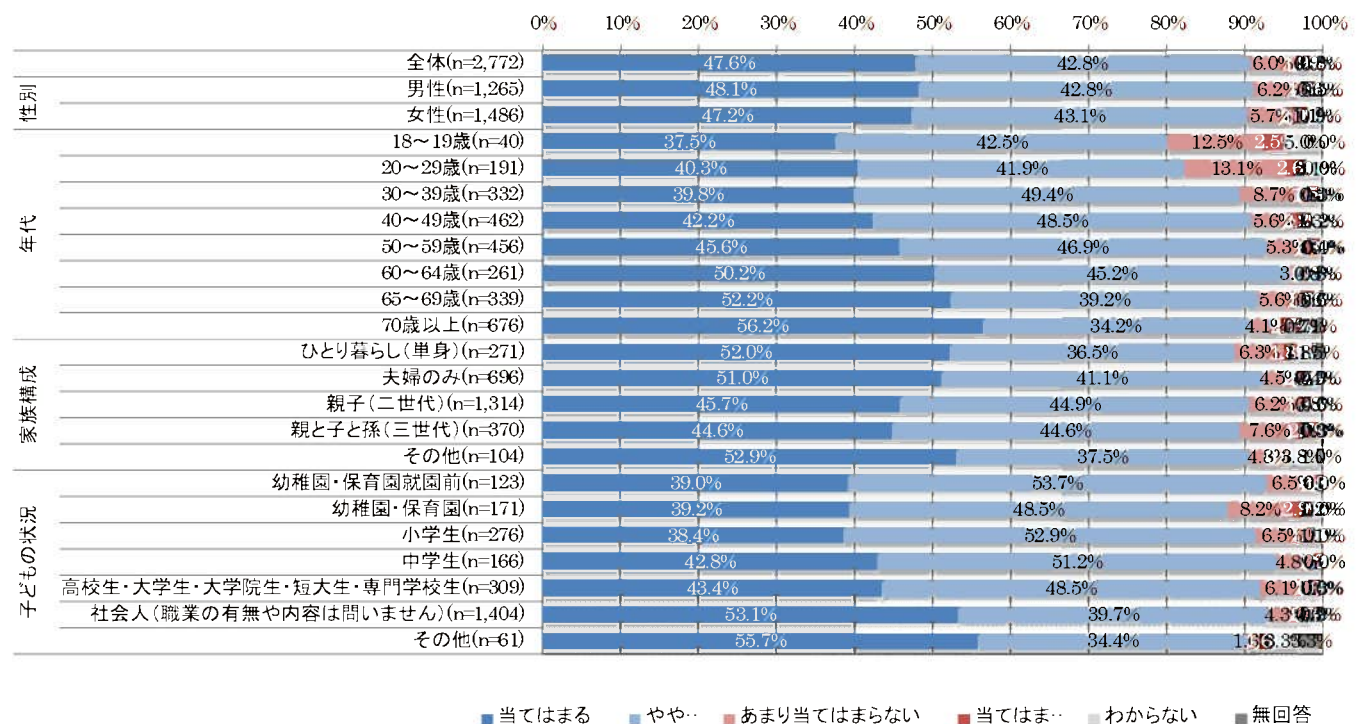
環境や体制に関する質問と回答者自身の実践状況に関する質問の肯定的回答割合の差は、回答者自身の実践状況に関する質問のほうが46.4ポイント高かった。

回答者自身の実践状況に関する質問では、年代が高くなるほど肯定的回答割合高くなっている。

環境や体制に関する質問の属性別結果



回答者自身の実践状況に関する質問の属性別結果



施策4-2-2 防犯対策の推進

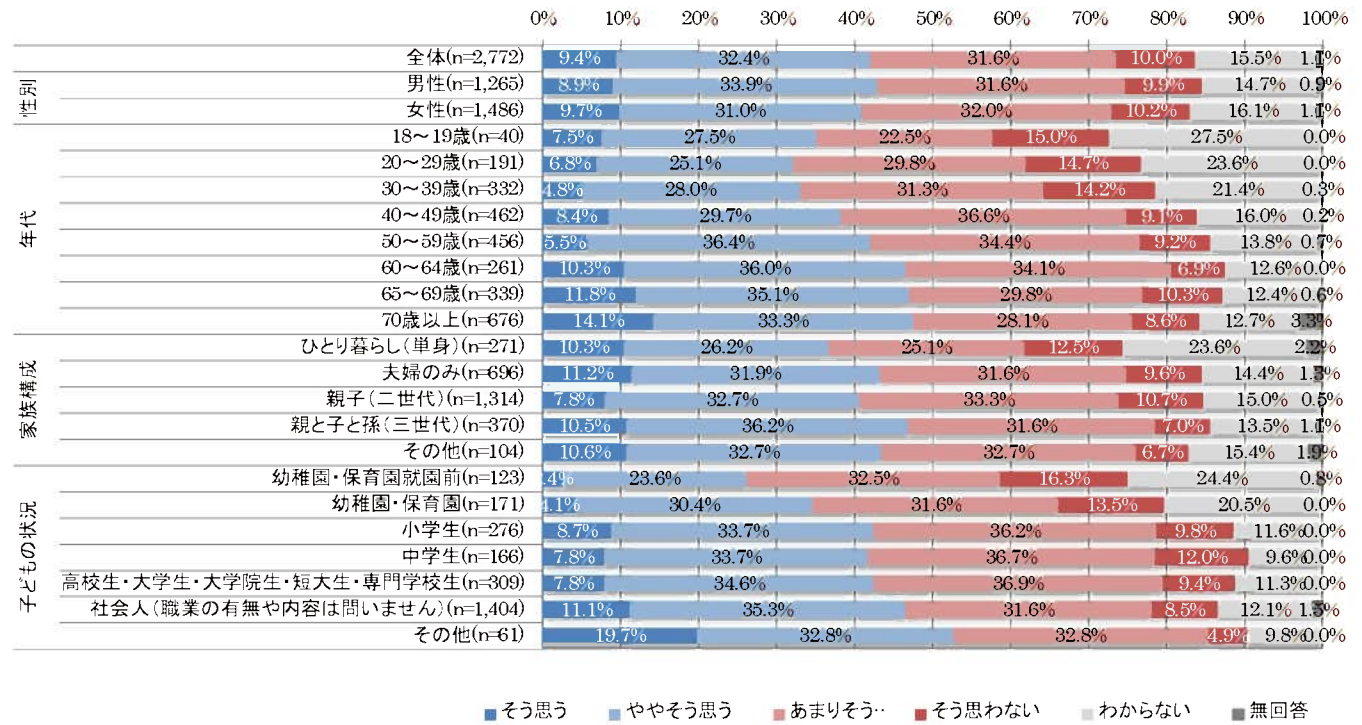
環境や体制に関する質問:41.8% 地域で防犯に向けた取組が行われている

回答者自身の実践状況に関する質問:27.7% 犯罪防止のため、声かけや見守り活動に参加している

環境や体制に関する質問では、幼稚園・保育園就園前の子どもを持つ回答者の肯定的回答割合が低くなっている。

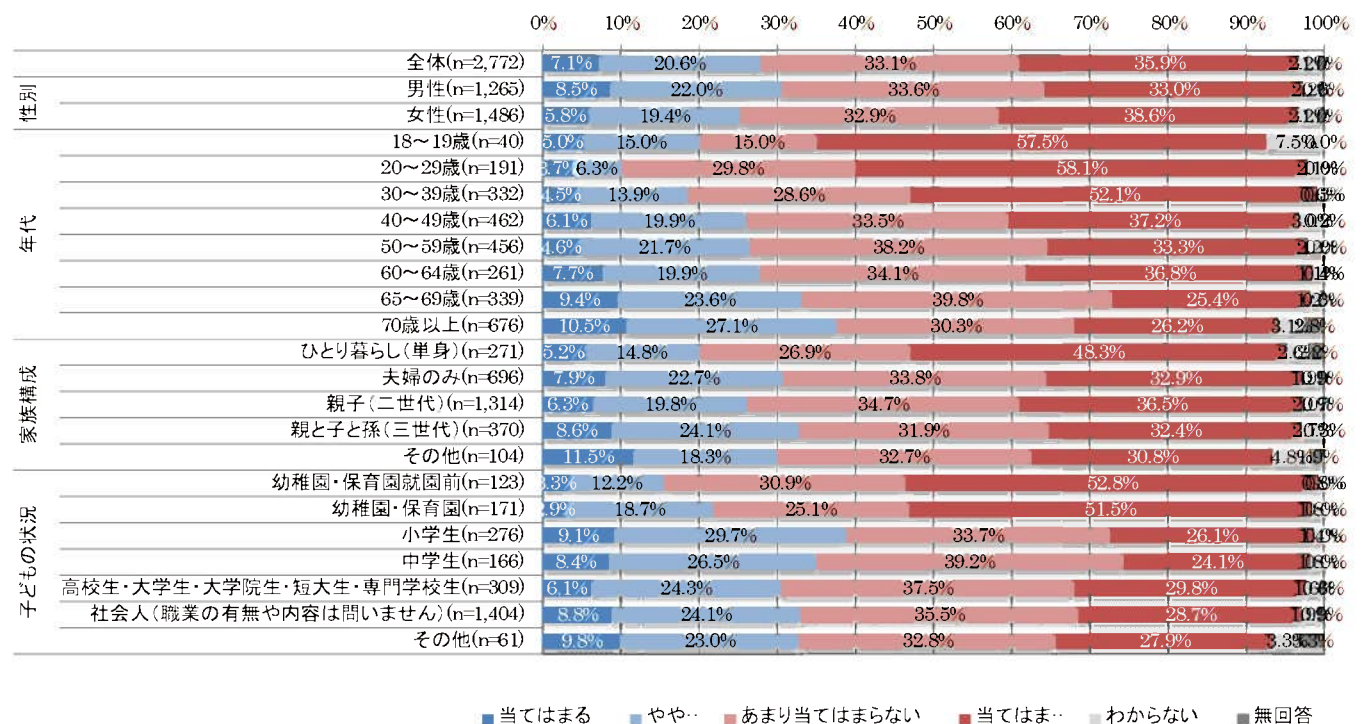
回答者自身の実践状況に関する質問では、20歳代の肯定的回答割合が他の年代と比較して低くなっている。

環境や体制に関する質問の属性別結果



■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう·· ■ そう思わない ■ わからない ■ 無回答

回答者自身の実践状況に関する質問の属性別結果



■ 当てはまる ■ やや·· ■ あまり当てはまらない ■ 当てはま·· ■ わからない ■ 無回答

施策4-2-3 安全な消費生活の確保

環境や体制に関する質問:30.9% 特殊詐欺などの消費生活に関する相談体制が整っている

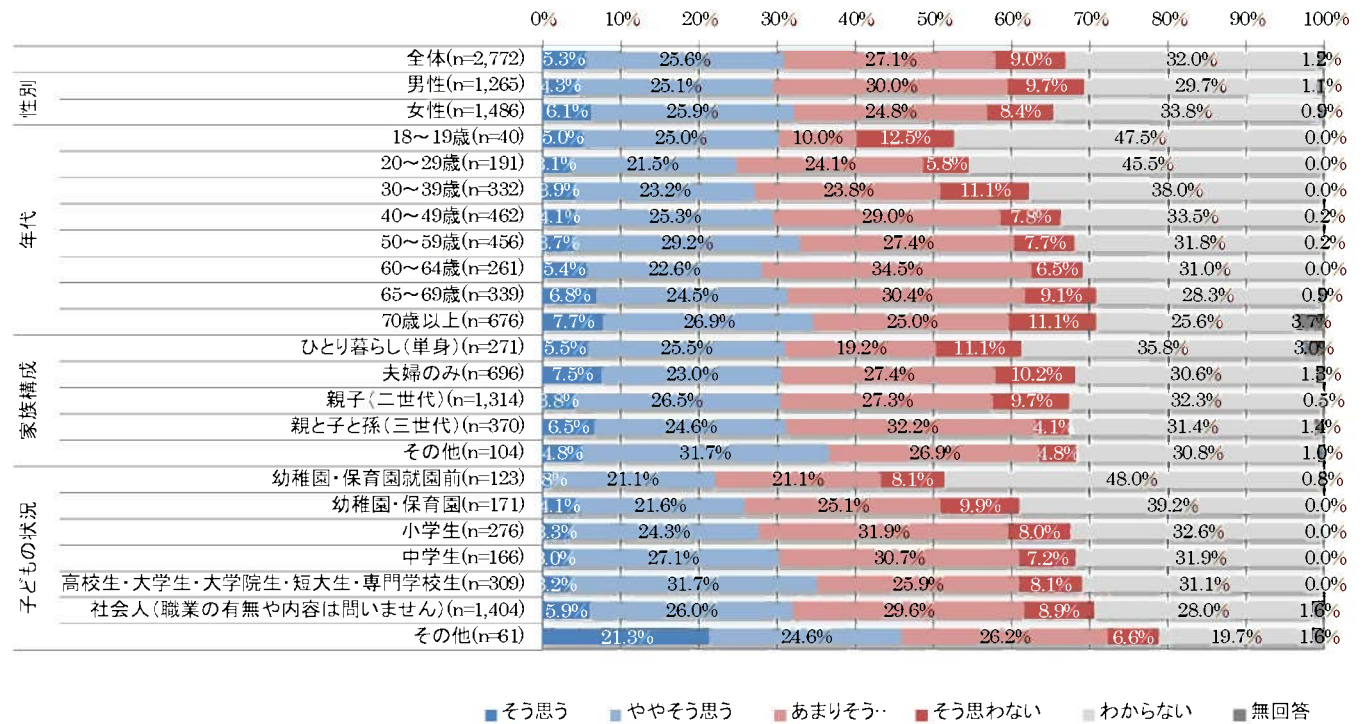
回答者自身の実践状況に関する質問:60.7% 家族や友人と特殊詐欺の対策を話し合うなど、日頃から気をつけている

環境や体制に関する質問では、評価保留の割合が全体で高くなっているが、特に年代が低いほど評価保留の割合が高くなっている。

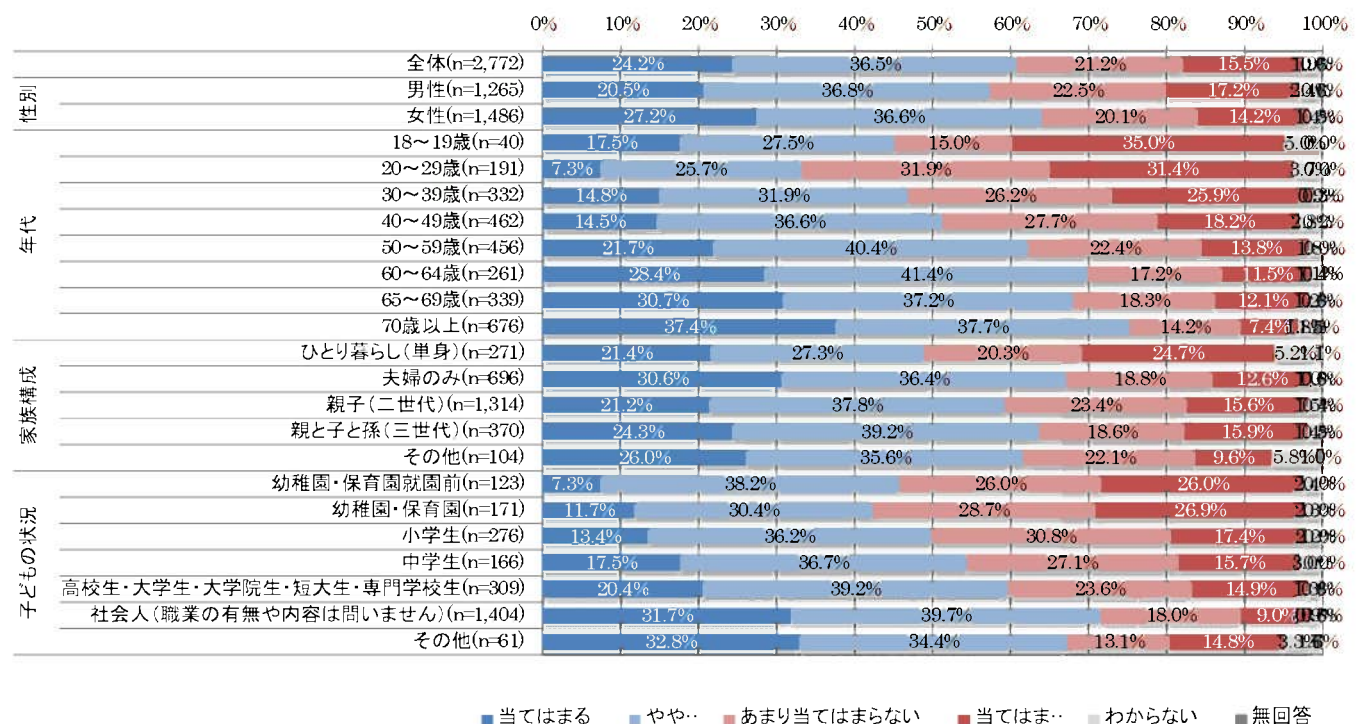
環境や体制に関する質問と回答者自身の実践状況に関する質問の肯定的回答割合の差は、回答者自身実践状況に関する質問のほうが29.8ポイント高かった。

回答者自身の実践状況に関する質問では、年代が高いほど肯定的回答割合が高くなっている。

環境や体制に関する質問の属性別結果



回答者自身の実践状況に関する質問の属性別結果



施策5-1-1 乳幼児期から高等教育までの教育の充実

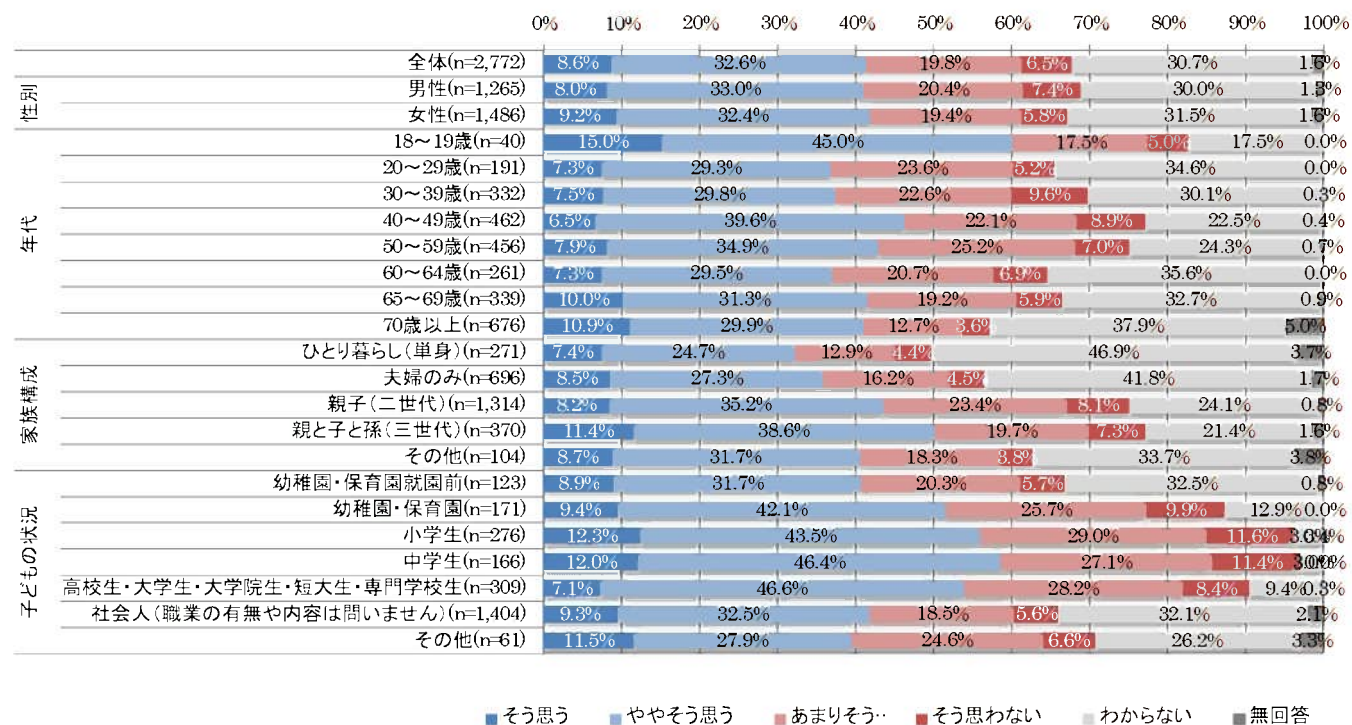
環境や体制に関する質問:41.2% 子どもたちがたくましく生きていくために必要な学力・体力を身につける教育が行われている

回答者自身の実践状況に関する質問:設定なし

環境や体制に関する質問では、年代が高くなるほど評価保留の割合が高くなっているとともに、10歳代の肯定的回答割合が他の年代と比較して高くなっている。

回答保留割合が全体で約30%であるが、理由としては「知る機会がない」や「あまりそのような教育的な取り組みをしている」ということは聞いたことが無い」といった意見があった。

環境や体制に関する質問の属性別結果



施策5-1-2 子どもに応じた支援の充実

環境や体制に関する質問:41.0% 子どもたち一人ひとりが大切にされ、安心して学習に取り組める相談・支援体制が整っている

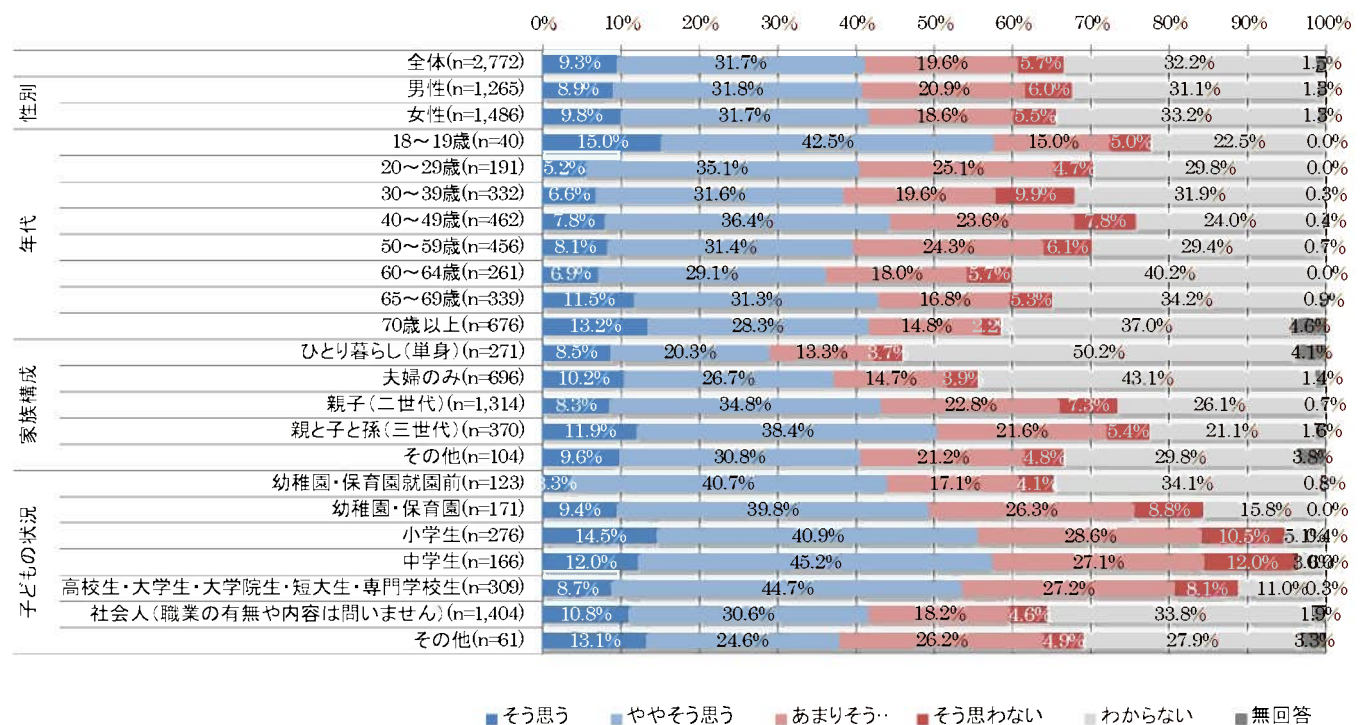
回答者自身の実践状況に関する質問:設定なし

環境や体制に関する質問では、年代が高くなるほど評価保留の割合が高くなっているとともに、10歳代の肯定的回答割合が他の年代と比較して高くなっている。

また、小学生や中学生の子どもを持つ回答者では、肯定的回答の割合が高くなっている。

回答保留割合が全体で約30%であるが、理由としては「親が、子が、それぞれ相談できる施設やその体制など知らないし、利用実態も知らない」や「関心がない」といった意見があった。

環境や体制に関する質問の属性別結果



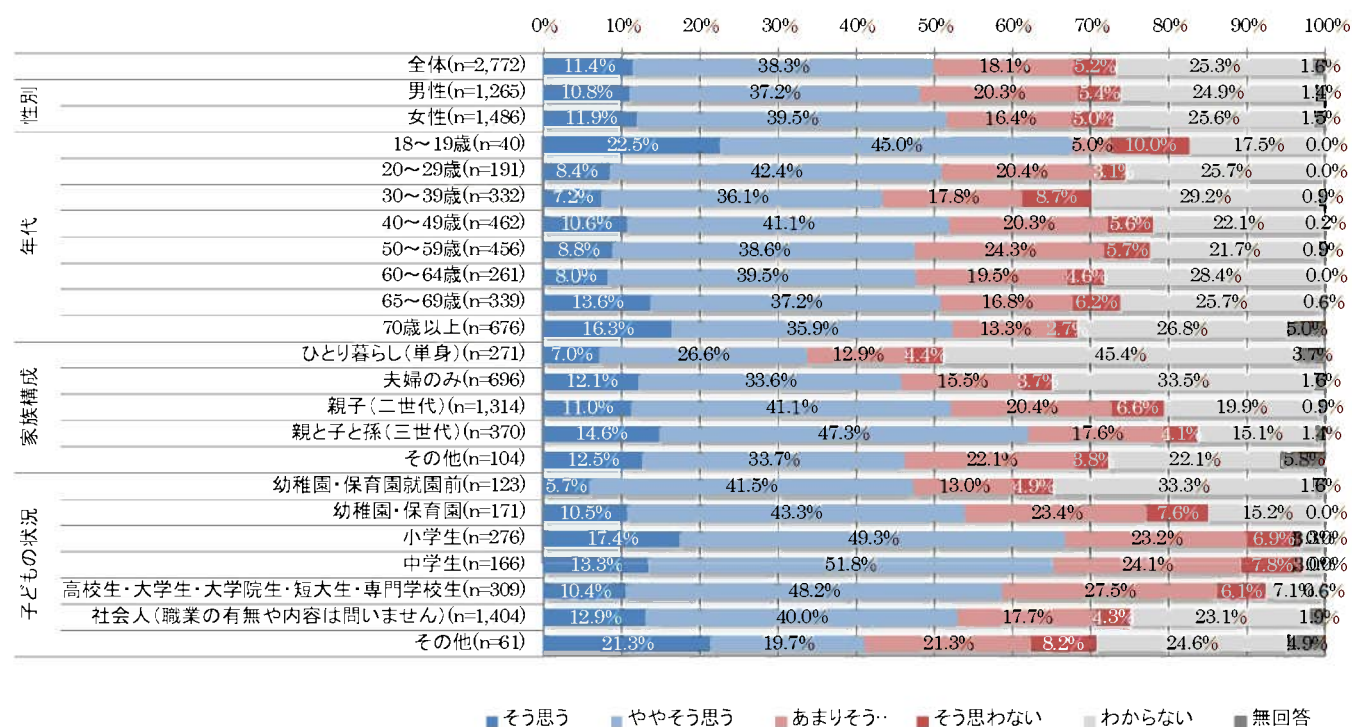
施策5-1-3 家庭・地域・学校の相互連携による教育力向上

環境や体制に関する質問:49.7% 家庭・地域・学校が連携して、子どもたちの学びや育ちを支えている
 回答者自身の実践状況に関する質問:71.2% 地域の子どもたちにあいさつや声かけをしている

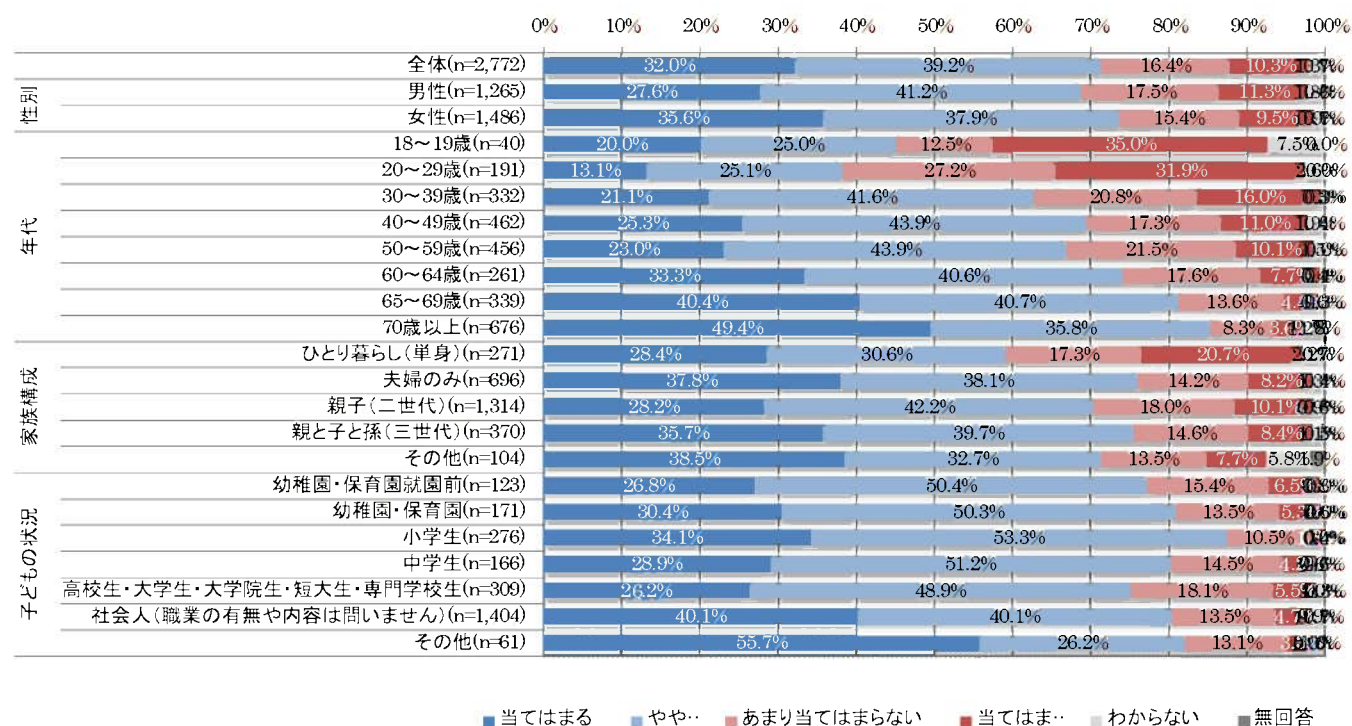
環境や体制に関する質問では、年代が高くなるほど評価保留の割合が高くなっているとともに、10歳代の肯定的回答割合が他の年代と比較して高くなっている。

回答者自身の実践状況に関する質問では、小学生や中学生の子どもを持つ回答者の肯定的回答割合が高くなっているとともに、20歳代の肯定的回答割合が他の年代と比較して低くなっている。

環境や体制に関する質問の属性別結果



回答者自身の実践状況に関する質問の属性別結果



施策5-2-1 生涯学習環境の充実

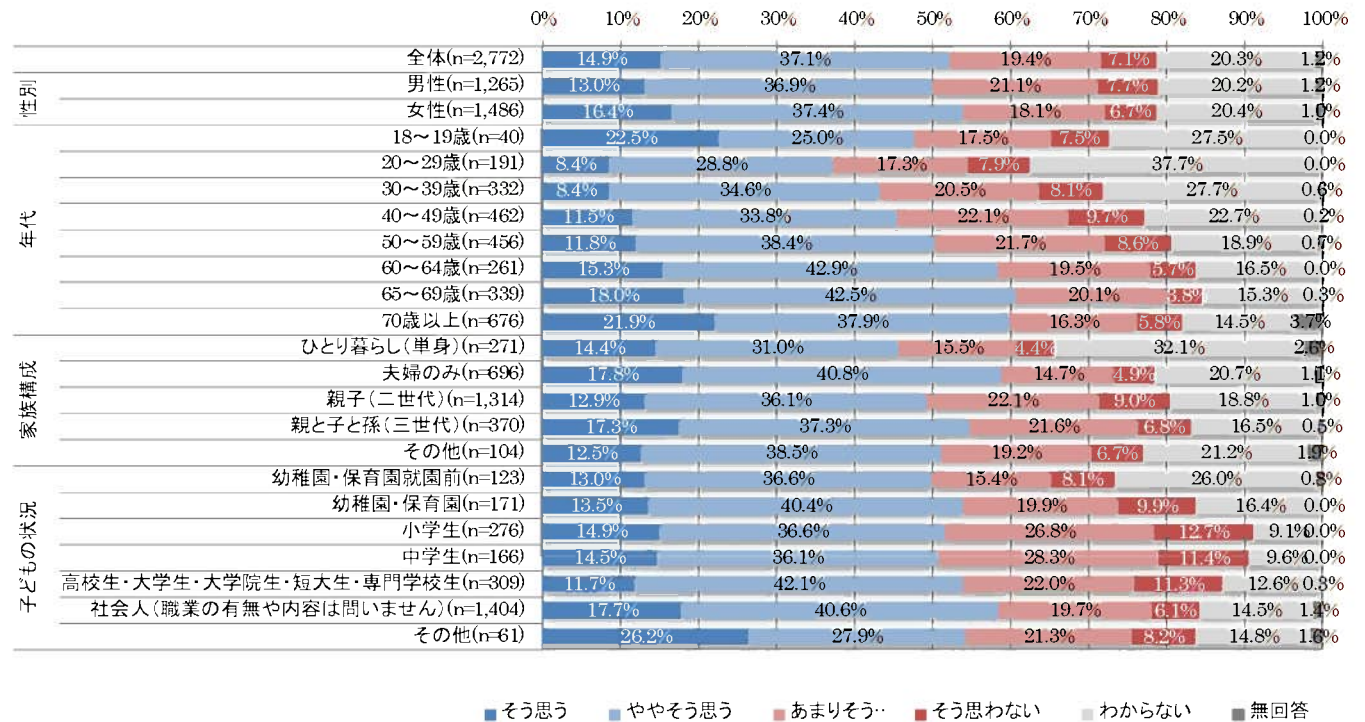
環境や体制に関する質問:52.0% 公民館などで、学びの機会が提供されている

回答者自身の実践状況に関する質問:26.8% 公民館などで提供されている学びの場に参加している

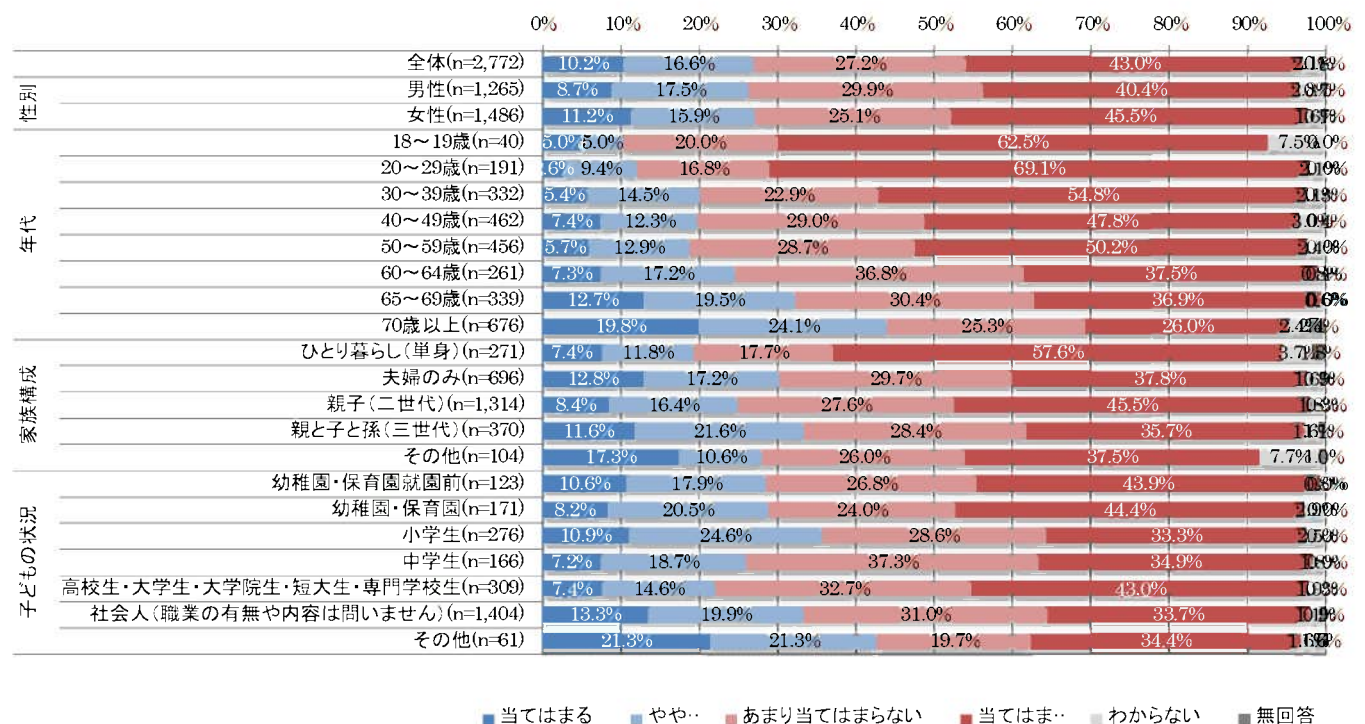
環境や体制に関する質問では、年代が高くなるほど評価保留の割合が低くなっているとともに、60歳代の肯定的回答割合が他の年代と比較して高くなっている。

回答者自身の実践状況に関する質問では、小学生や中学生の子どもを持つ回答者の肯定的回答割合が高くなっているとともに、10~20歳代の肯定的回答割合が他の年代と比較して低くなっている。

環境や体制に関する質問の属性別結果



回答者自身の実践状況に関する質問の属性別結果



施策5-2-2 学習成果を活かした地域づくりへの参加促進

環境や体制に関する質問: 50.8% 公民館などで、地域づくりに活かされる学びの機会が提供されている

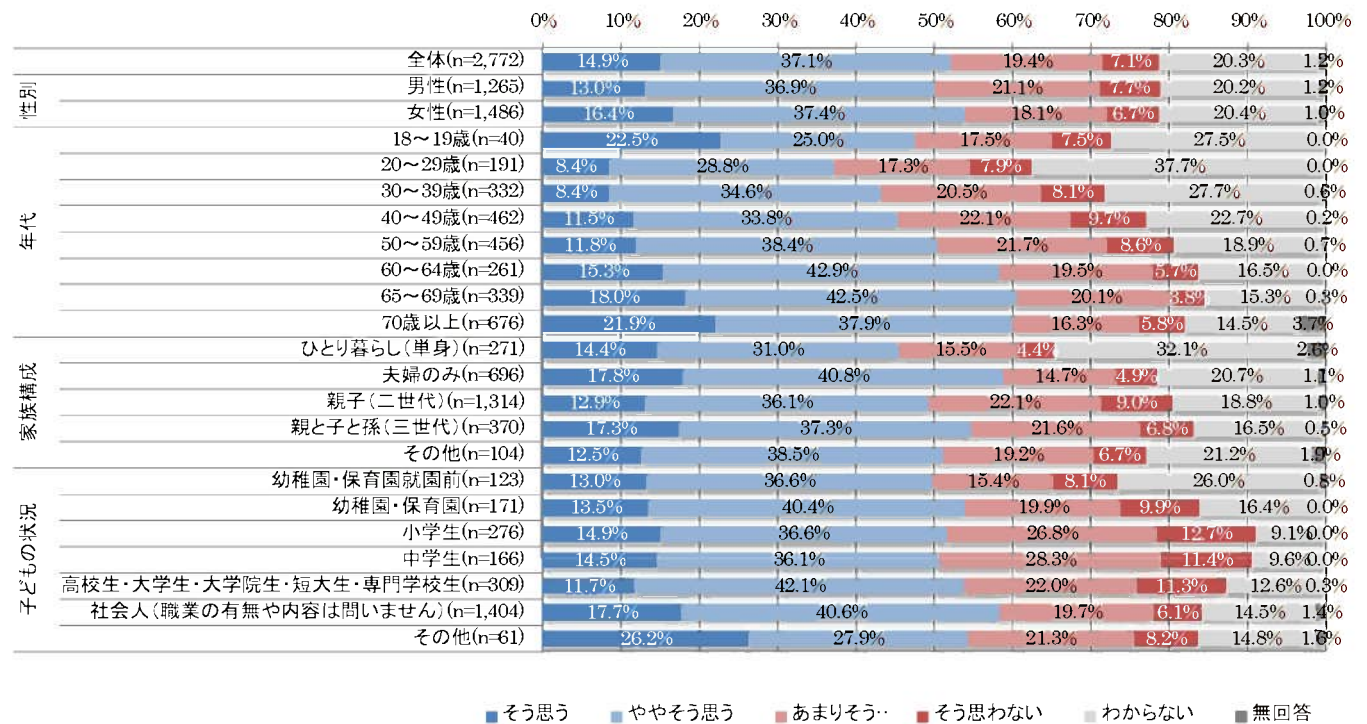
回答者自身の実践状況に関する質問: 19.2% 公民館などで学んだことを地域づくりに活かしている

環境や体制に関する質問と回答者自身の実践状況に関する質問の肯定的回答割合の差は、環境や体制に関する質問のほうが31.6ポイント高かった。

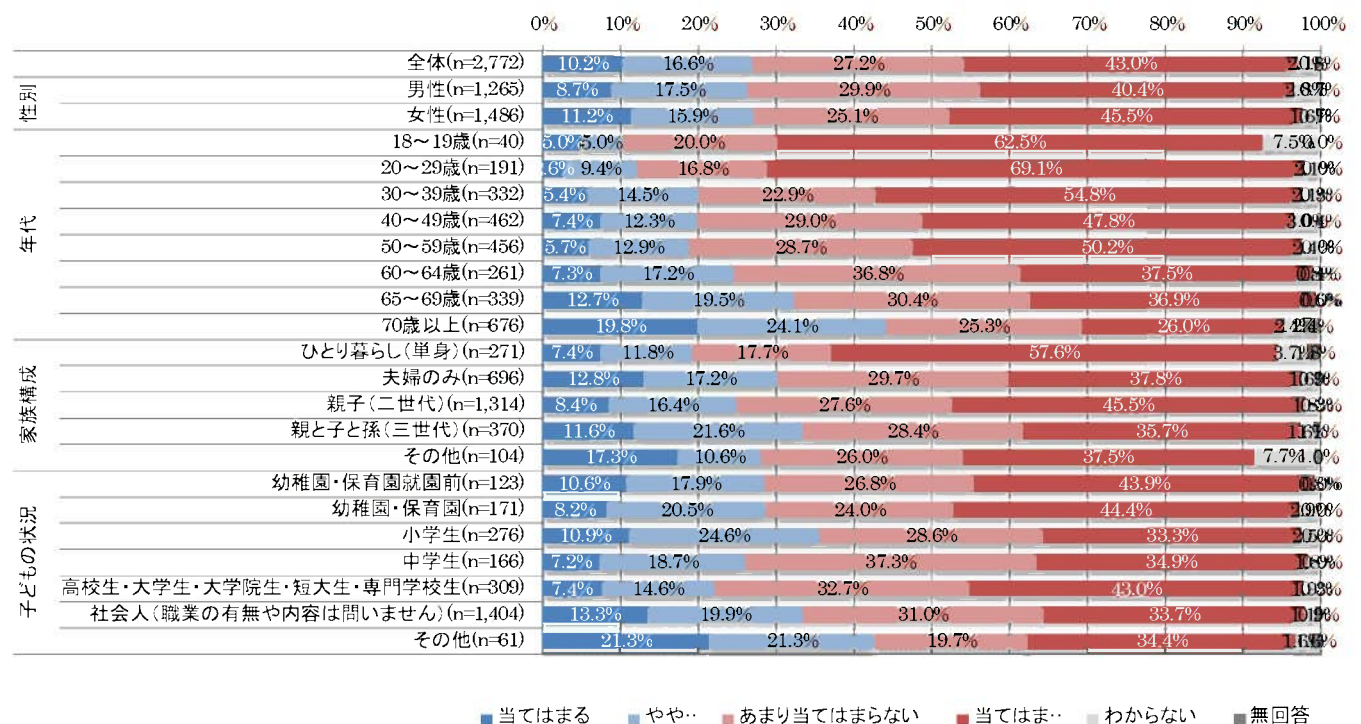
環境や体制に関する質問では、20歳代の肯定的回答割合が低くなっているとともに、評価保留割合が他の年代と比較して高くなっている。

回答者自身の実践状況に関する質問では、年代が高くなるほど肯定的回答割合が高くなっている。

環境や体制に関する質問の属性別結果



回答者自身の実践状況に関する質問の属性別結果



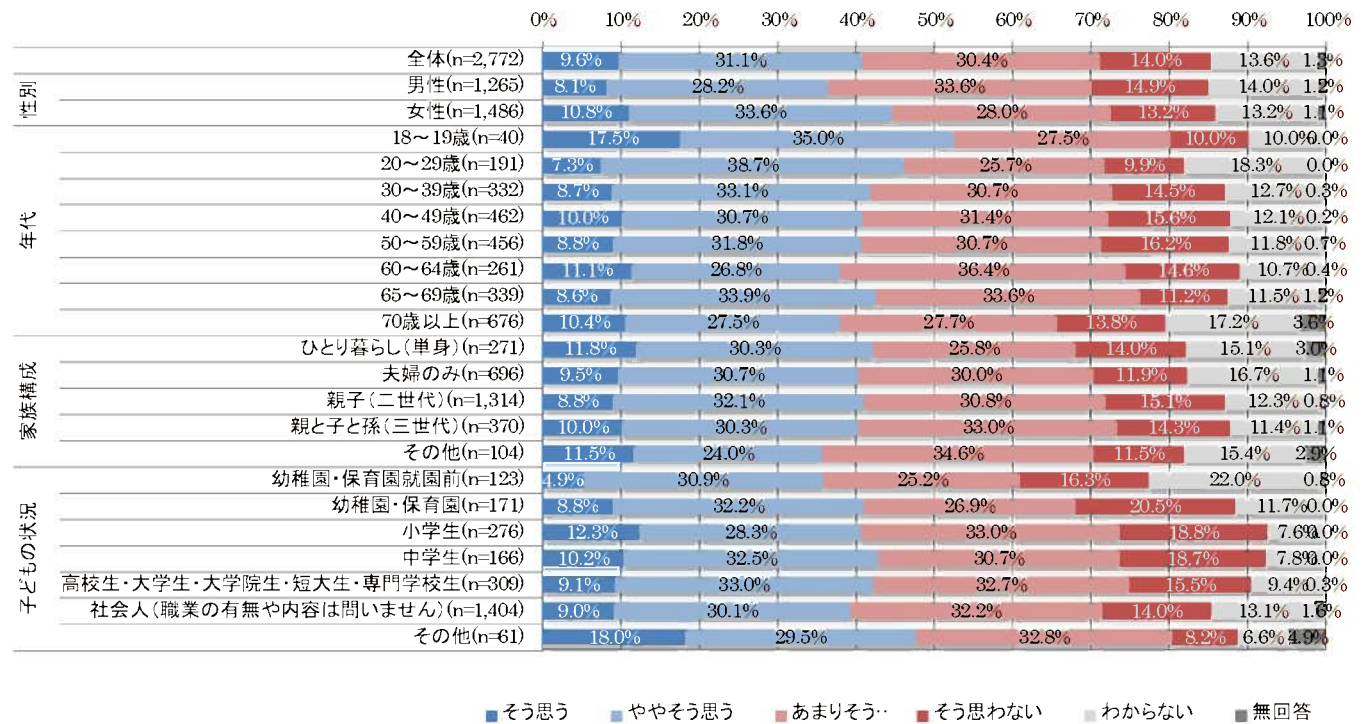
施策5-3-1 多彩な文化芸術の創造と活動支援

環境や体制に関する質問:40.7% 音楽や美術、演劇など文化芸術に気軽に親しめる環境が整っている
 回答者自身の実践状況に関する質問:39.4% 音楽や美術、演劇など文化芸術に親しんでいる

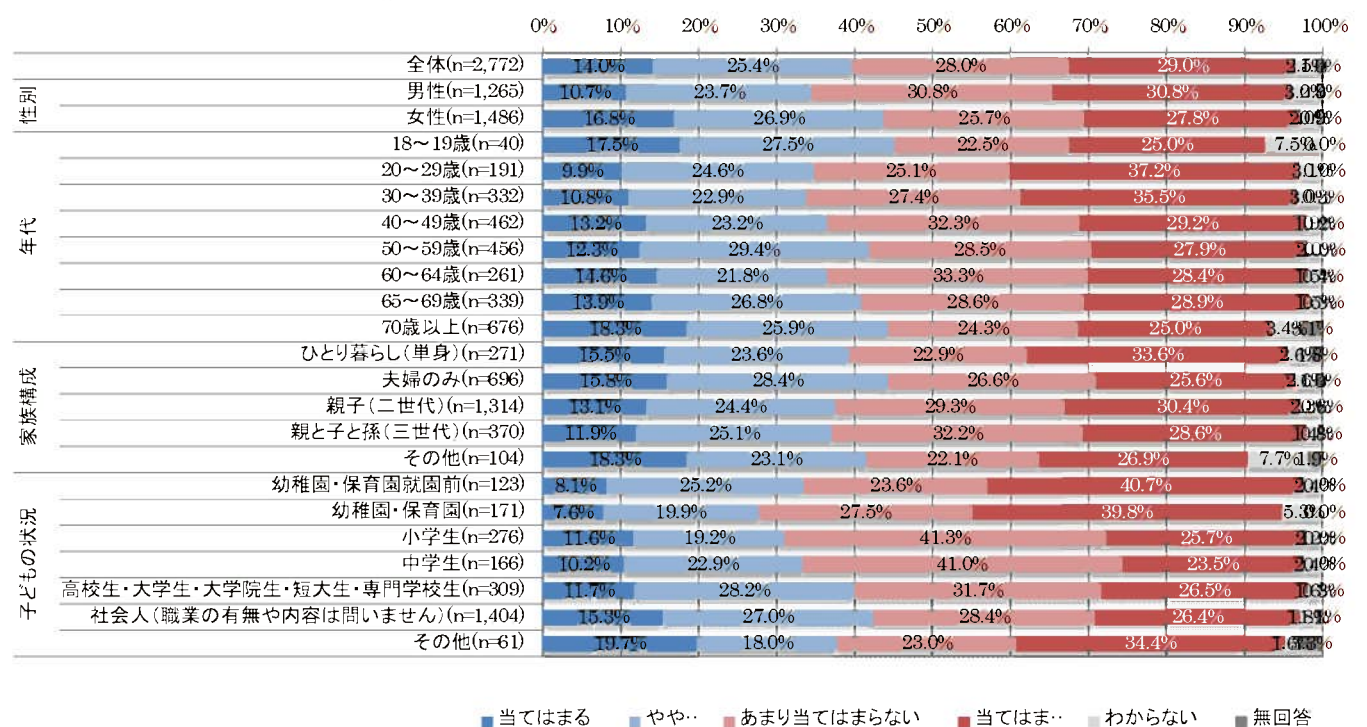
環境や体制に関する質問では、10～20歳代の肯定的回答割合が高くなっているとともに、女性は男性よりも肯定的回答割合が高くなっている。

回答者自身の実践状況に関する質問では、女性は男性よりも肯定的回答割合が高くなっている。

環境や体制に関する質問の属性別結果



回答者自身の実践状況に関する質問の属性別結果



施策5-3-2 文化の継承による魅力ある地域づくりの推進

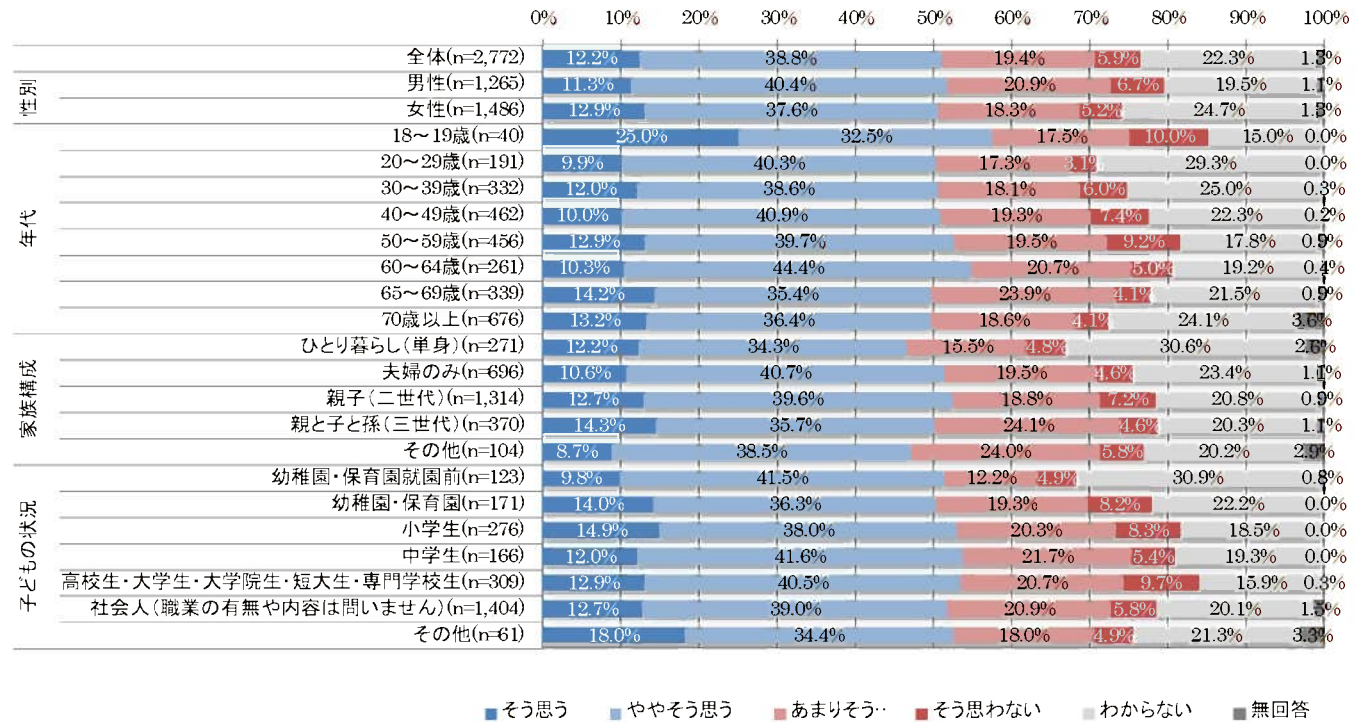
環境や体制に関する質問:51.0% 地域の文化財が適切に保存・継承・活用されている

回答者自身の実践状況に関する質問:38.5% 地域の伝統的な行事に参加している

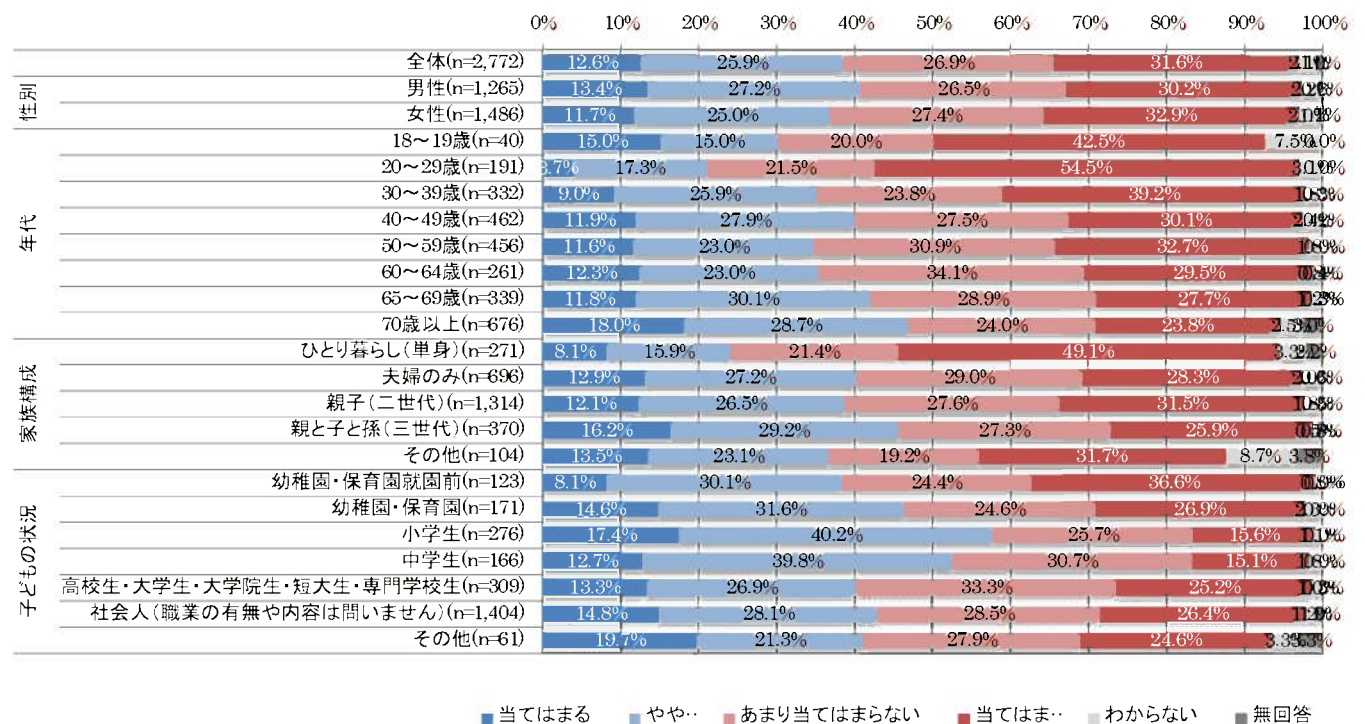
環境や体制に関する質問では、10歳代の肯定的回答割合が高くなっているとともに、評価保留割合は若年世代と高齢世代ほど高くなっている。

回答者自身の実践状況に関する質問では、20歳代の肯定的回答割合が低くなっている。

環境や体制に関する質問の属性別結果



回答者自身の実践状況に関する質問の属性別結果



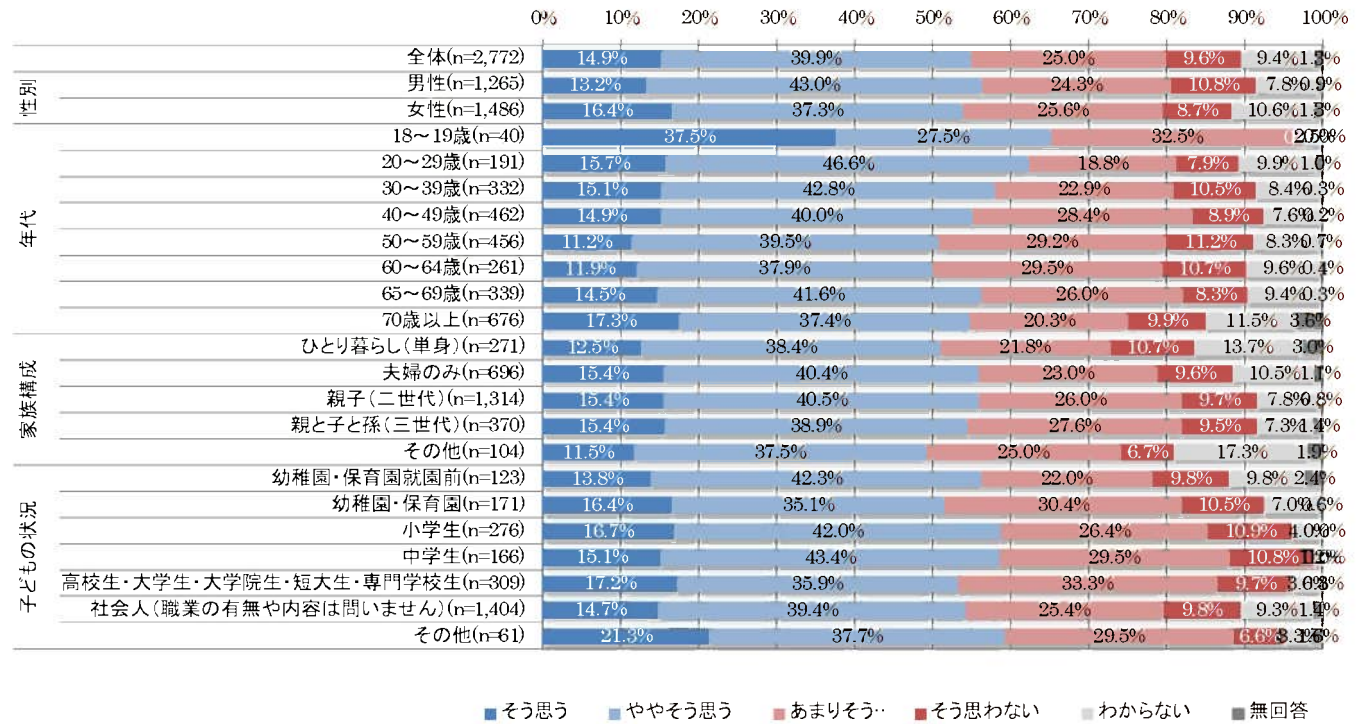
施策5-4-1 だれもがスポーツを楽しめる環境づくりの推進

環境や体制に関する質問: 54.8% スポーツや運動を気軽にできる環境が整っている

回答者自身の実践状況に関する質問: 設定なし

環境や体制に関する質問では、10歳代の肯定的回答割合が高くなっているとともに、65歳以上の世代で肯定的回答割合が高くなっている。

環境や体制に関する質問の属性別結果



施策5-4-2 スポーツを通じた交流拡大の推進

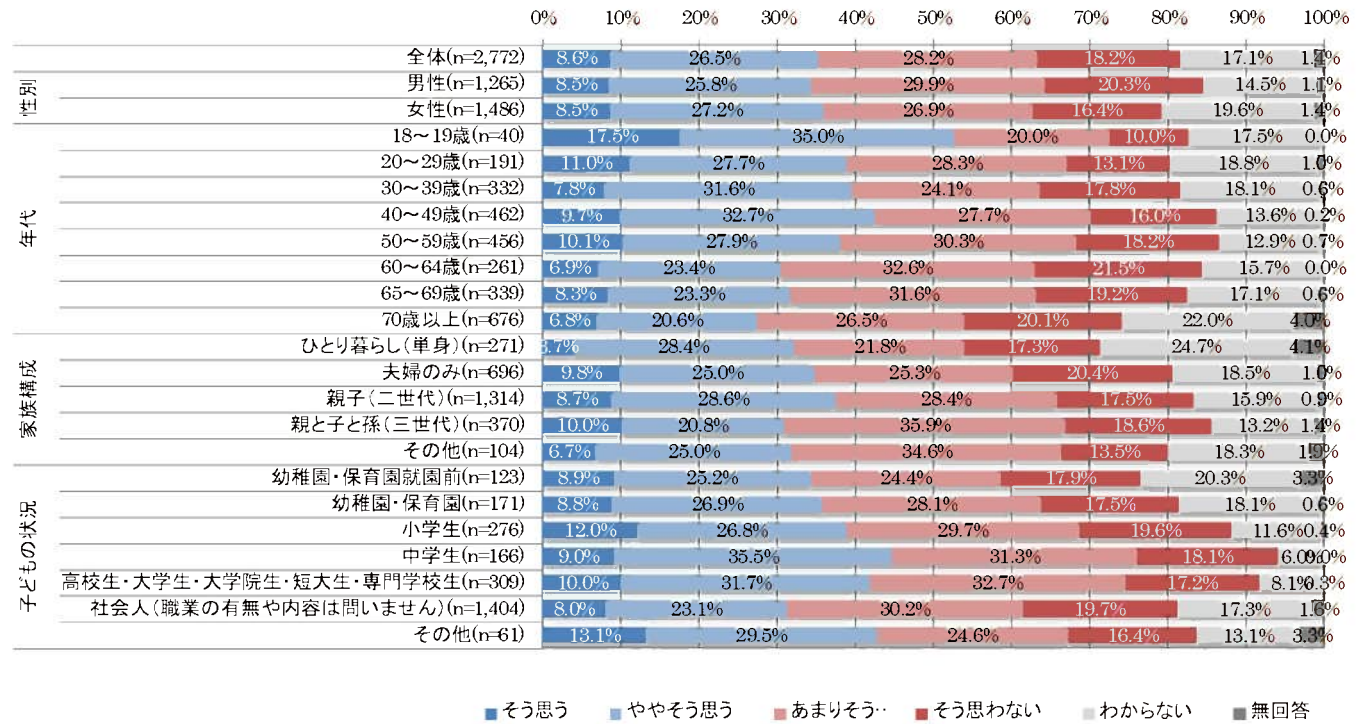
環境や体制に関する質問:35.1% プロスポーツや各種競技大会が盛んに行われている

回答者自身の実践状況に関する質問:22.8% 市内のスポーツ施設で、プロスポーツや各種競技大会を
観戦している

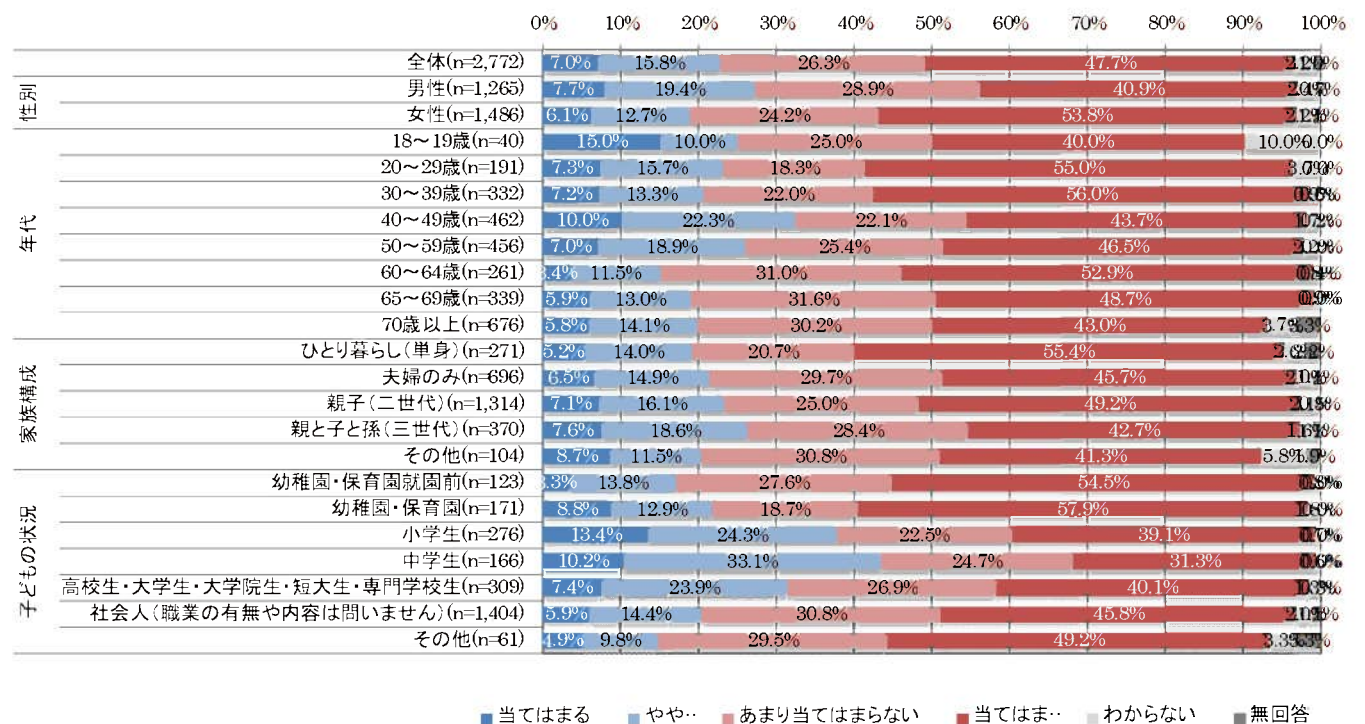
環境や体制に関する質問では、10歳代の肯定的回答割合が高くなっているとともに、中学生を持つ回答者の肯定的回答の割合が最も高くなっている。

回答者自身の実践状況に関する質問では、40歳代の肯定的回答割合が年代別では最も高くなっているとともに、中学生を持つ回答者の肯定的回答割合が高くなっている。

環境や体制に関する質問の属性別結果



回答者自身の実践状況に関する質問の属性別結果



施策5-5-1 国際交流活動の推進

環境や体制に関する質問:12.6% 国際交流が盛んに行われている

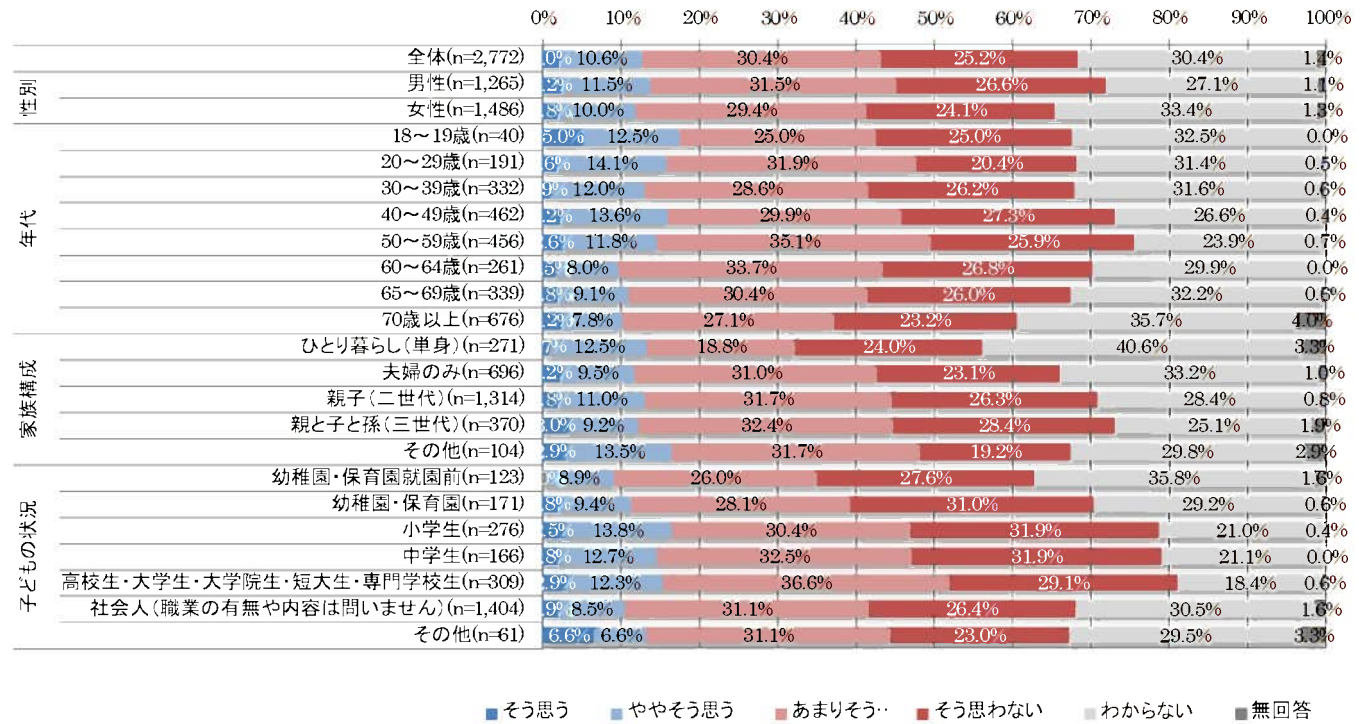
回答者自身の実践状況に関する質問:5.2% 国際交流イベントに参加している

環境や体制に関する質問では、全体として評価保留割合が高くなっている。

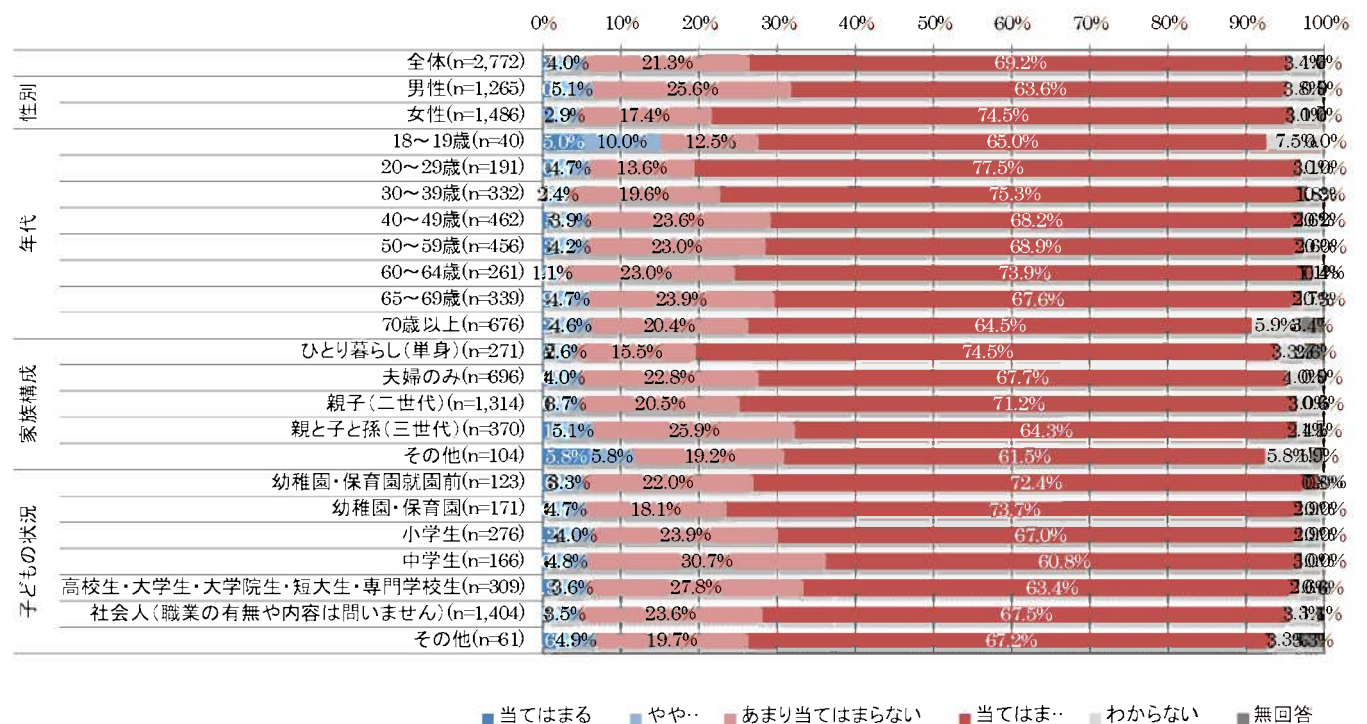
回答者自身の実践状況に関する質問では、全体として否定的回答割合が大半を占めているものの、10歳代においては肯定的回答割合が他の年代と比較して高くなっている。

評価保留割合が全体で約30%であるが、理由としては「何を見て判断するのかが分からない」や「一般の市民には情報が少ない分野」といった意見があった。

環境や体制に関する質問の属性別結果



回答者自身の実践状況に関する質問の属性別結果



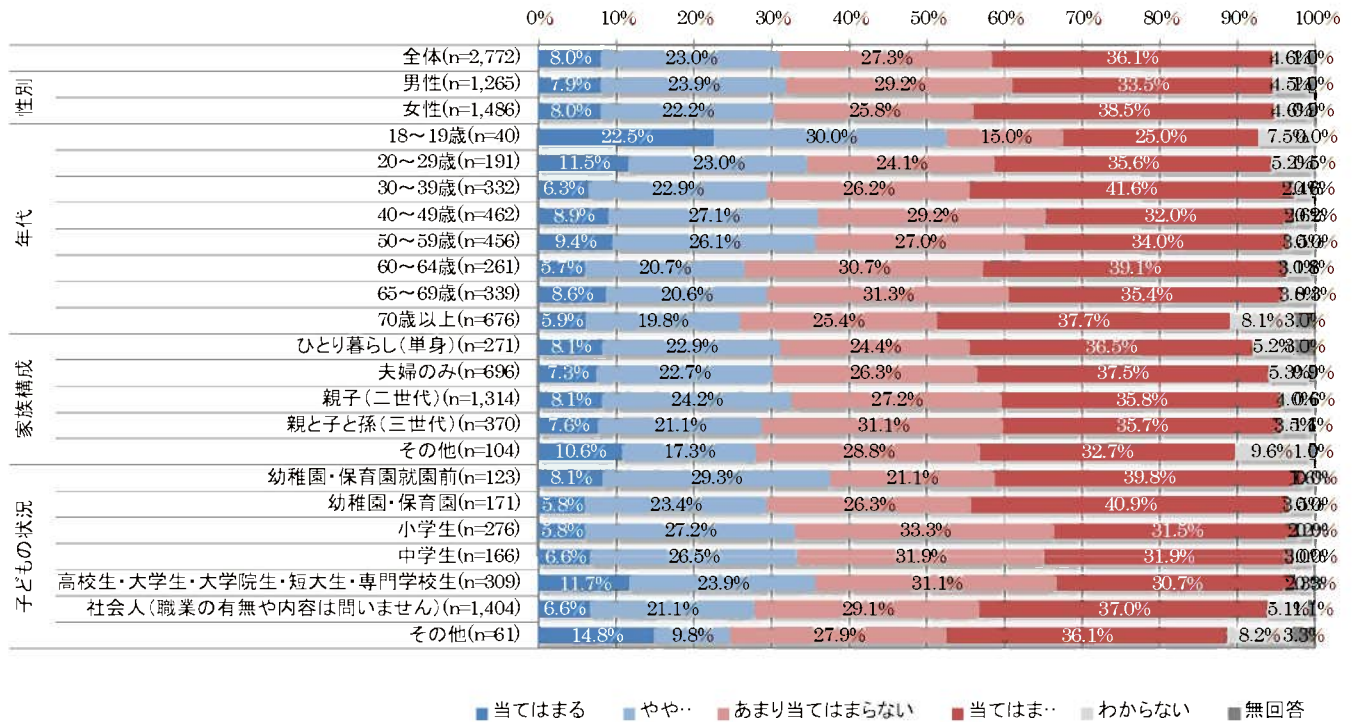
施策5-5-2 多文化共生の推進

環境や体制に関する質問:設定なし

回答者自身の実践状況に関する質問:31.0% 外国の文化や習慣を理解しようと努めている

回答者自身の実践状況に関する質問では、10歳代の肯定的回答割合が高くなっている。

回答者自身の実践状況に関する質問の属性別結果



施策6-1-1 豊富な観光資源等を活かした観光交流促進

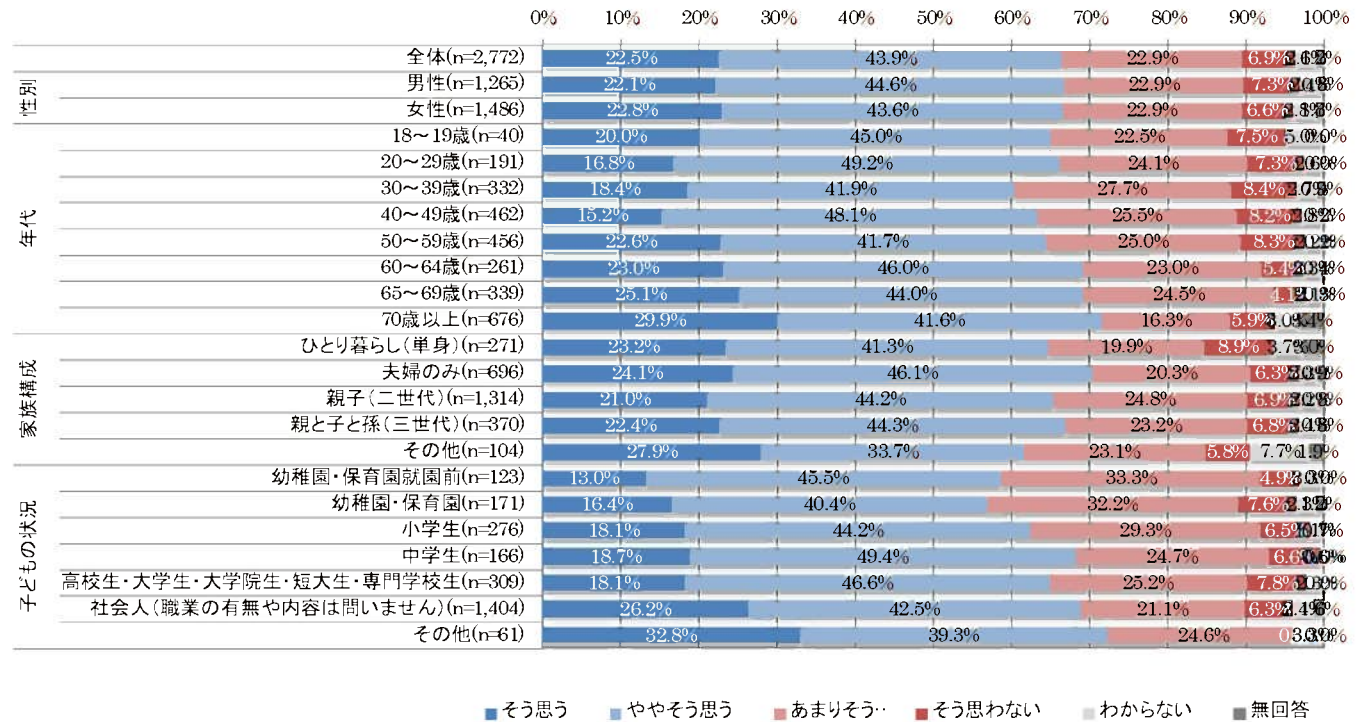
環境や体制に関する質問:66.4% 長野市は、魅力的な観光都市である

回答者自身の実践状況に関する質問:36.4% 知人や友人などに地域の魅力を伝えている

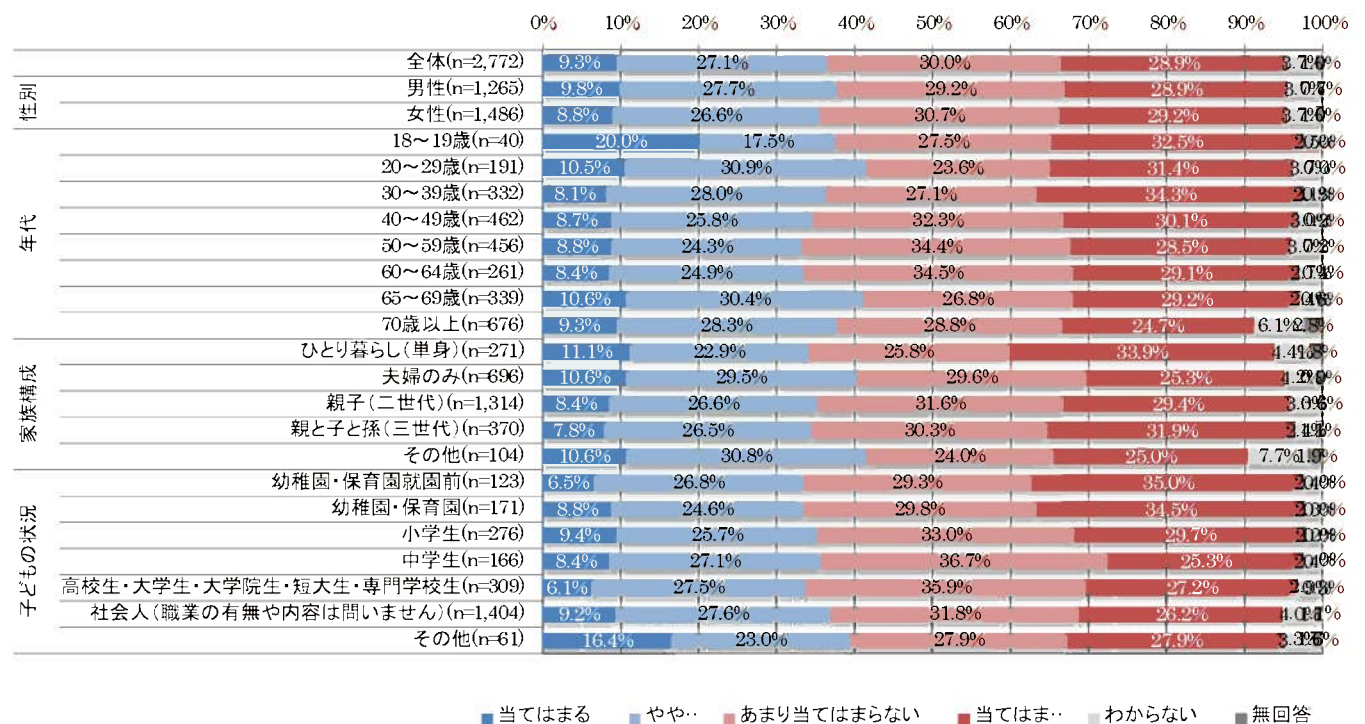
環境や体制に関する質問と回答者自身の実践状況に関する質問の肯定的回答割合の差は、環境や体制に関する質問のほうが30.0ポイント高かった。

環境や体制に関する質問では、30～40歳代の肯定的回答割合は他の年代と比較して低くなっている。

環境や体制に関する質問の属性別結果



回答者自身の実践状況に関する質問の属性別結果



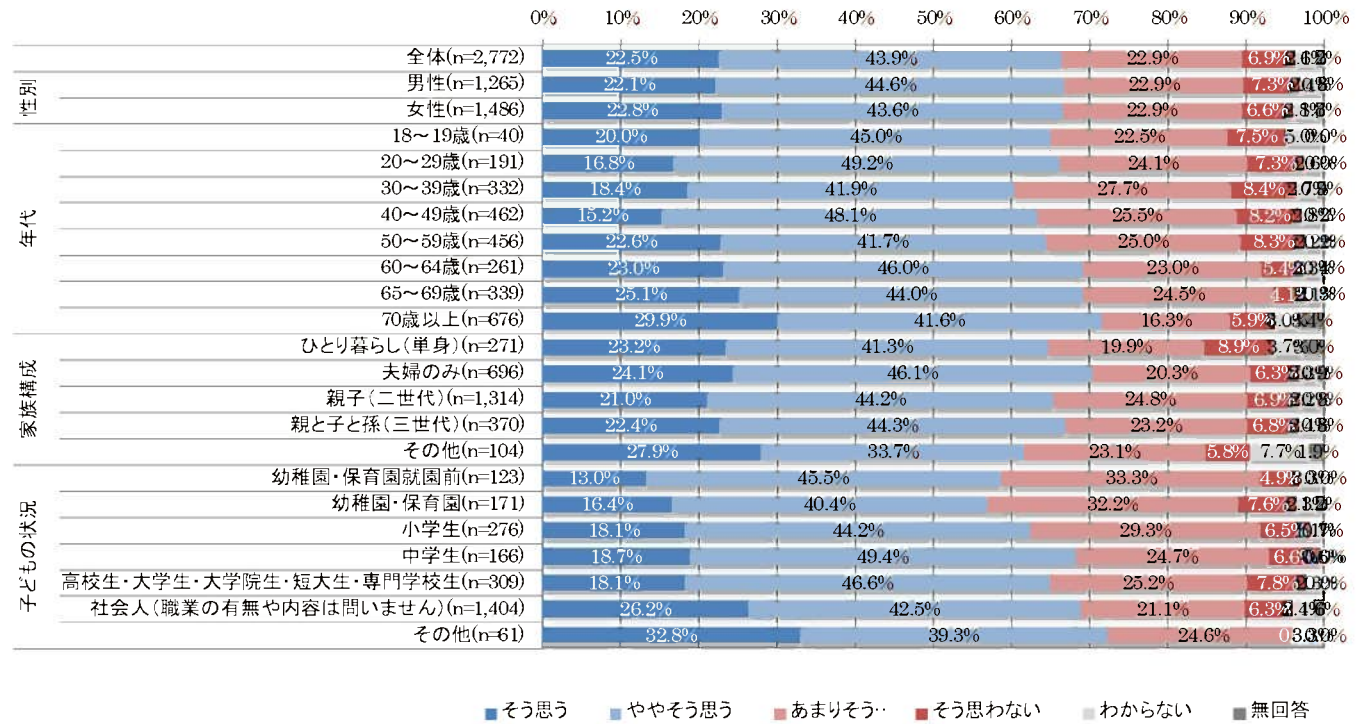
施策6-1-2 インバウンドの推進

環境や体制に関する質問:66.4% 長野市は、魅力的な観光都市である

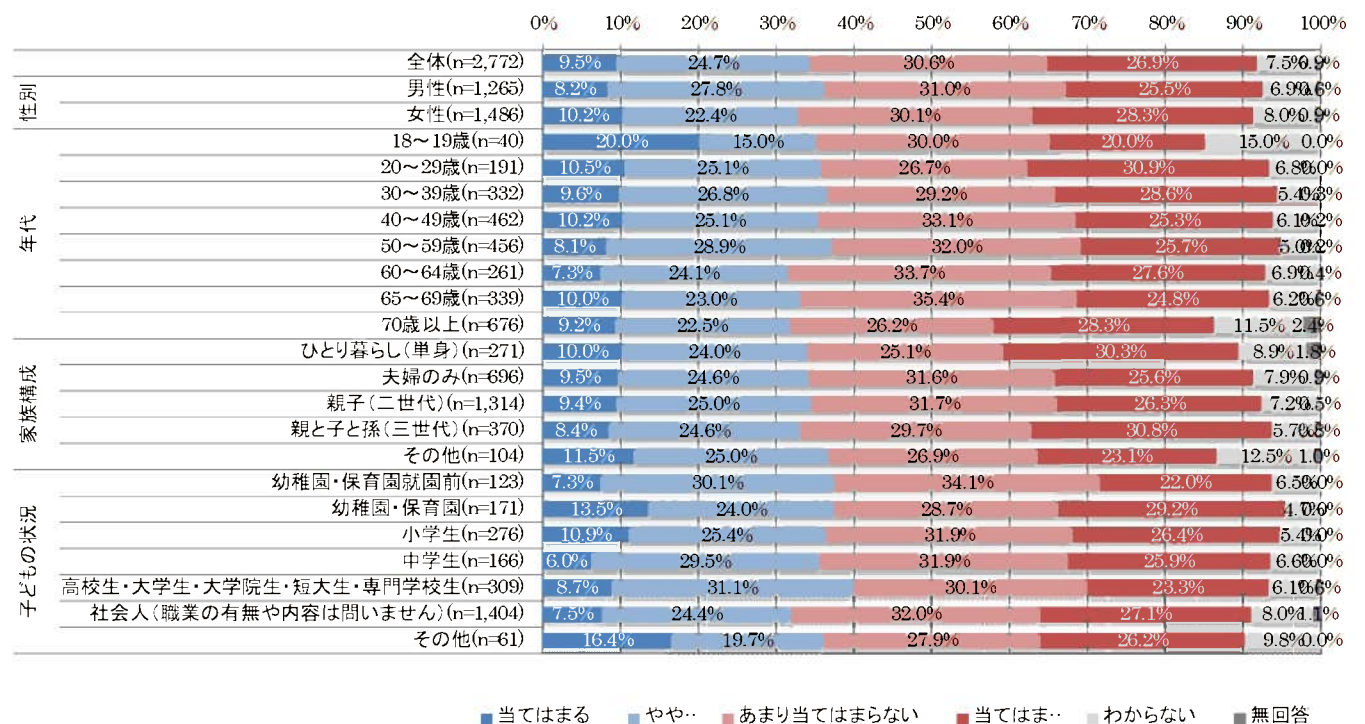
回答者自身の実践状況に関する質問:34.2% 困っている外国人観光客を見かけた時、なるべく手助けする
よう心がけている

環境や体制に関する質問と回答者自身の実践状況に関する質問の肯定的回答割合の差は、環境や体制に関する質問のほうが32.2ポイント高かった。

環境や体制に関する質問の属性別結果



回答者自身の実践状況に関する質問の属性別結果



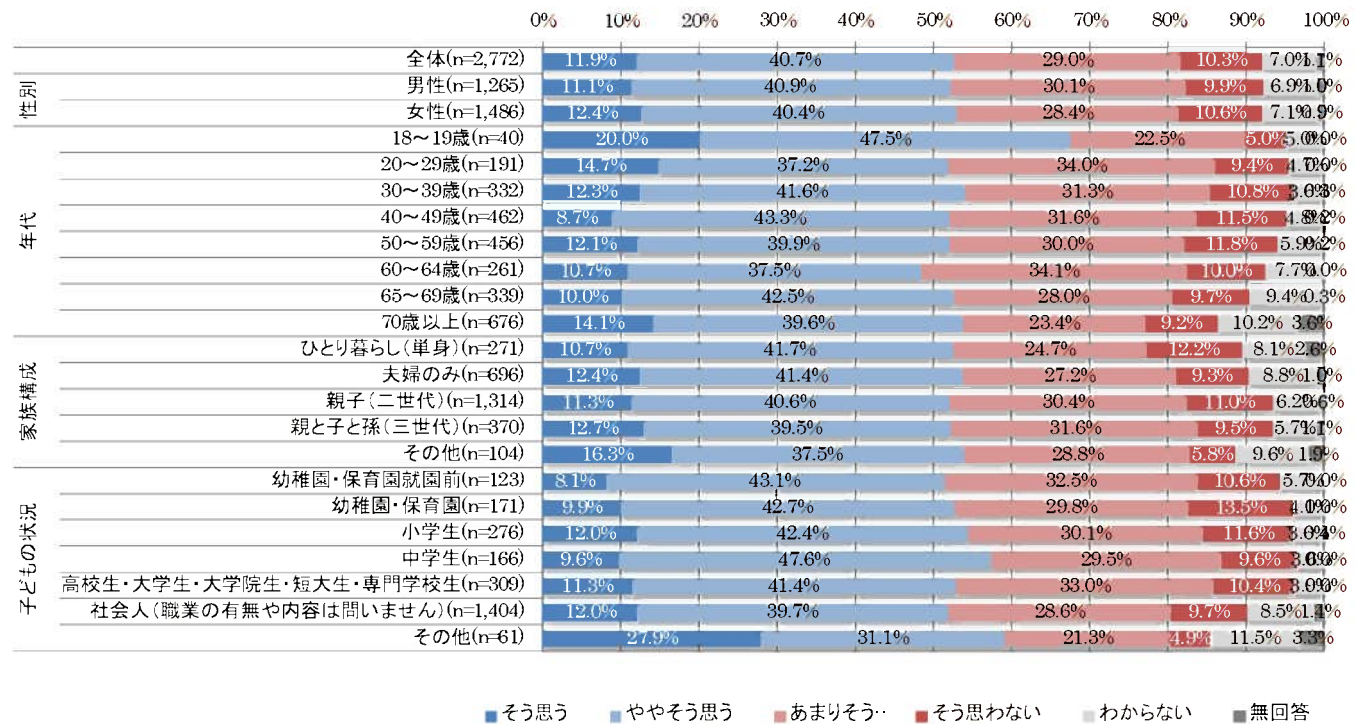
施策6-1-3 コンベンションの誘致推進

環境や体制に関する質問: 52.6% コンサートやスポーツ大会などのイベントの開催により、にぎわいが生まれている

回答者自身の実践状況に関する質問: 設定なし

環境や体制に関する質問では、60歳代の肯定的回答割合が他の年度と比較して低くなっているとともに、年代が高くなるほど評価保留割合が高くなっている。

環境や体制に関する質問の属性別結果



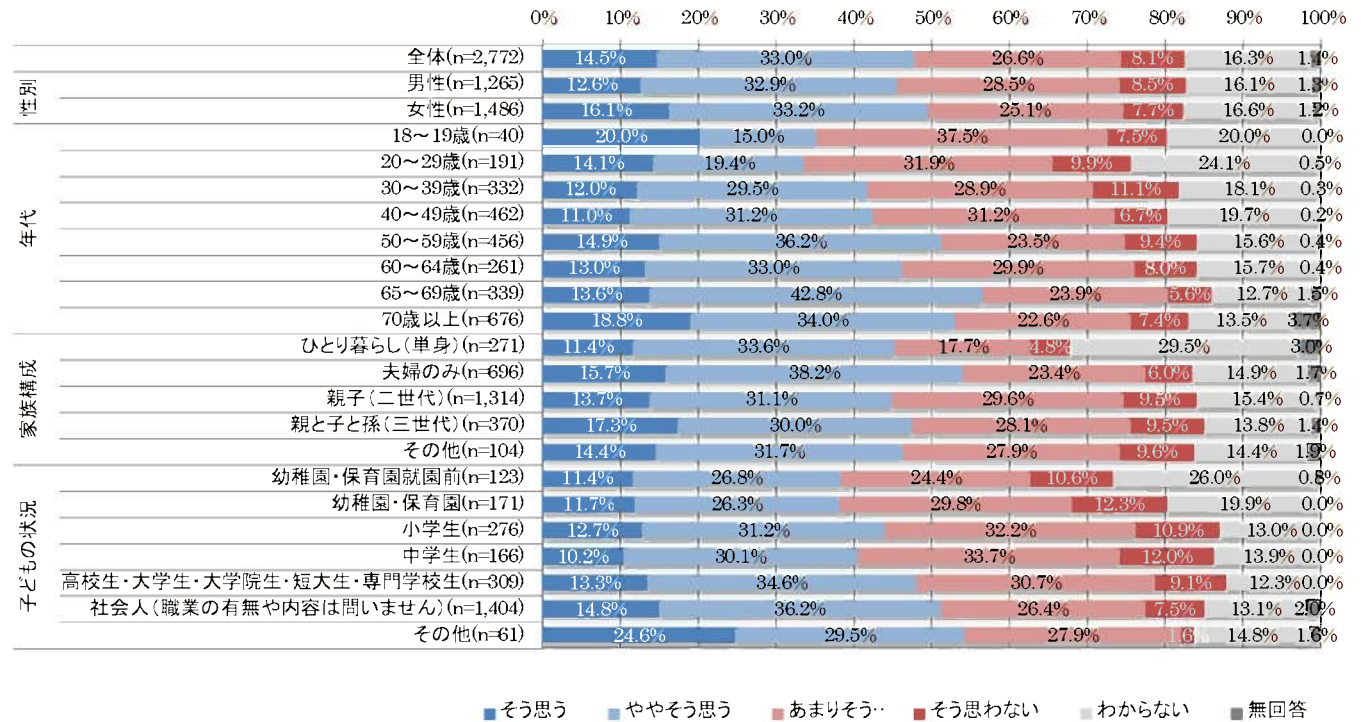
施策6-2-1 多様な担い手づくりと農地の有効利用の推進

環境や体制に関する質問:47.5% 野菜や果物づくりをしている人が増えている

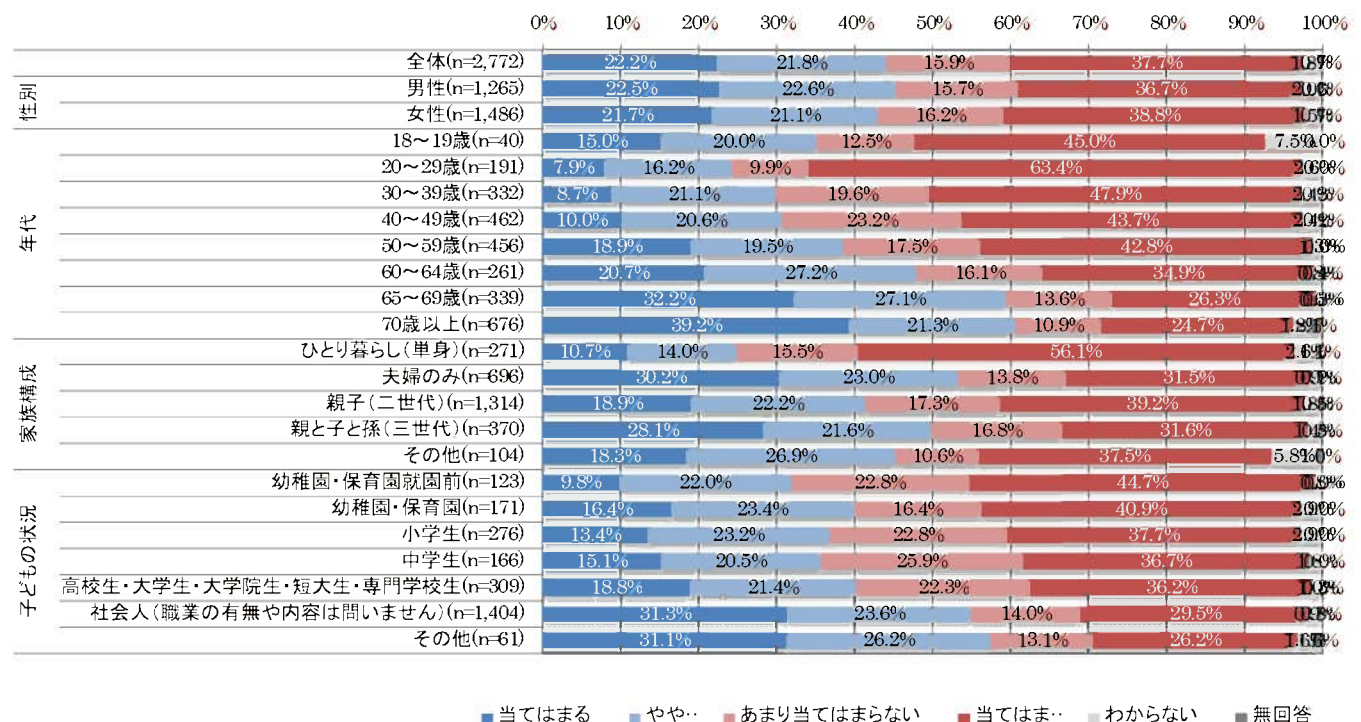
回答者自身の実践状況に関する質問:44.0% 野菜や果物づくりなどを楽しんでいる

環境や体制に関する質問では、10歳代と20歳代が他の年代と比較して肯定的回答割合が低くなっている。回答者自身の実践状況に関する質問では、年代が高くなるほど肯定的回答割合が高くなっている。

環境や体制に関する質問の属性別結果



回答者自身の実践状況に関する質問の属性別結果



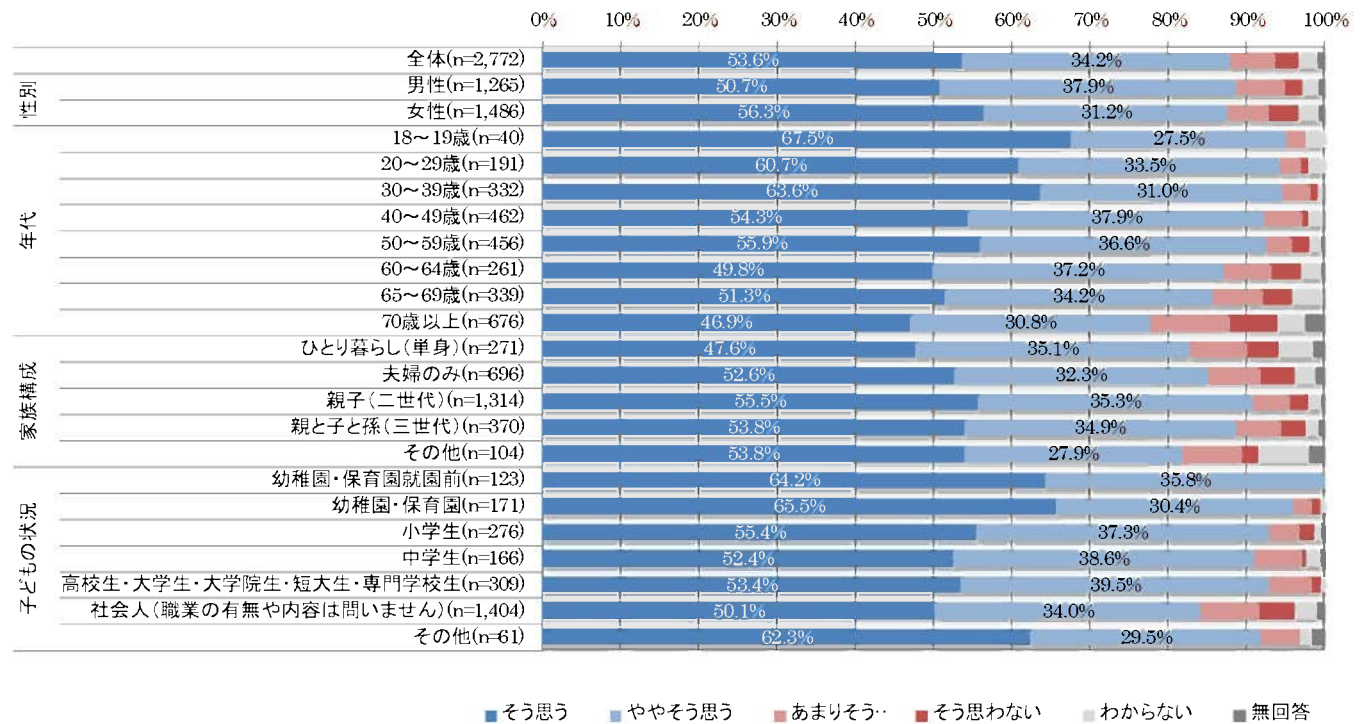
施策6-2-2 地域の特性を活かした生産振興と販売力強化の促進

環境や体制に関する質問:87.8% りんご、もも、ぶどうなどの、おいしい農産物が生産されている地域である
 回答者自身の実践状況に関する質問:80.9% 地元産の農産物を意識的に買うように心がけている

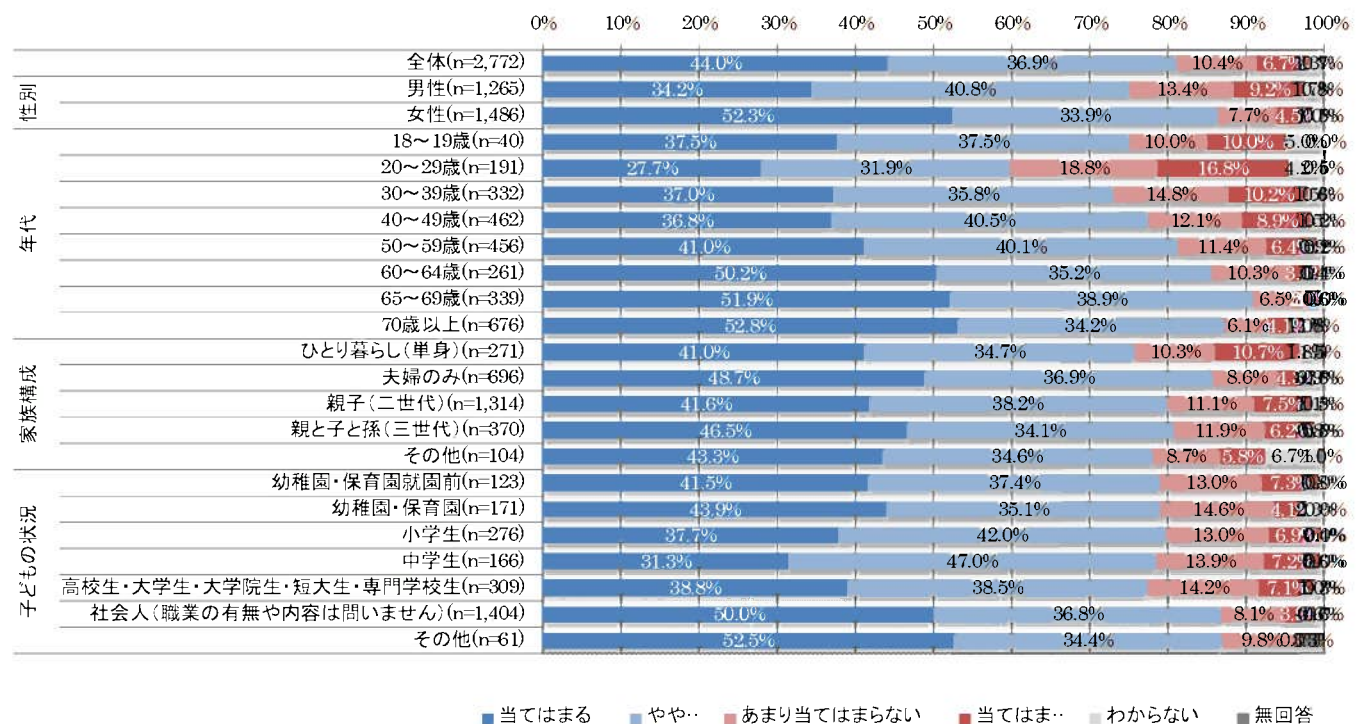
環境や体制に関する質問では、肯定的回答の割合が60歳代以上が他の年代と比較して低くなっている。

回答者自身の実践状況に関する質問では、肯定的回答の割合が20歳代で最も低く、年代が高くなるほど肯定的回答割合が高くなっている。

環境や体制に関する質問の属性別結果



回答者自身の実践状況に関する質問の属性別結果



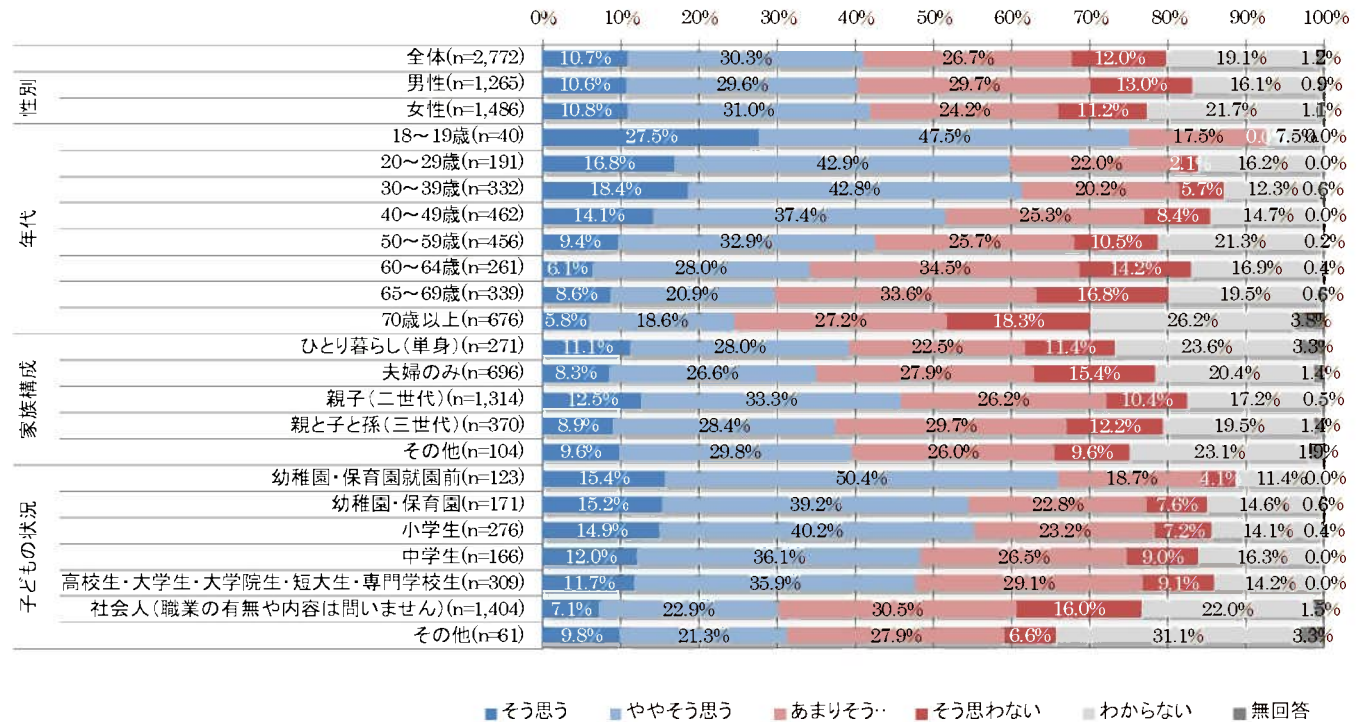
施策6-2-3 森林の保全と資源の活用促進

環境や体制に関する質問:41.0% 森林が整備されている地域である

回答者自身の実践状況に関する質問:設定なし

環境や体制に関する質問では、肯定的回答の割合が10歳代が最も高く、年代が高くなるほど低くなっている。

環境や体制に関する質問の属性別結果



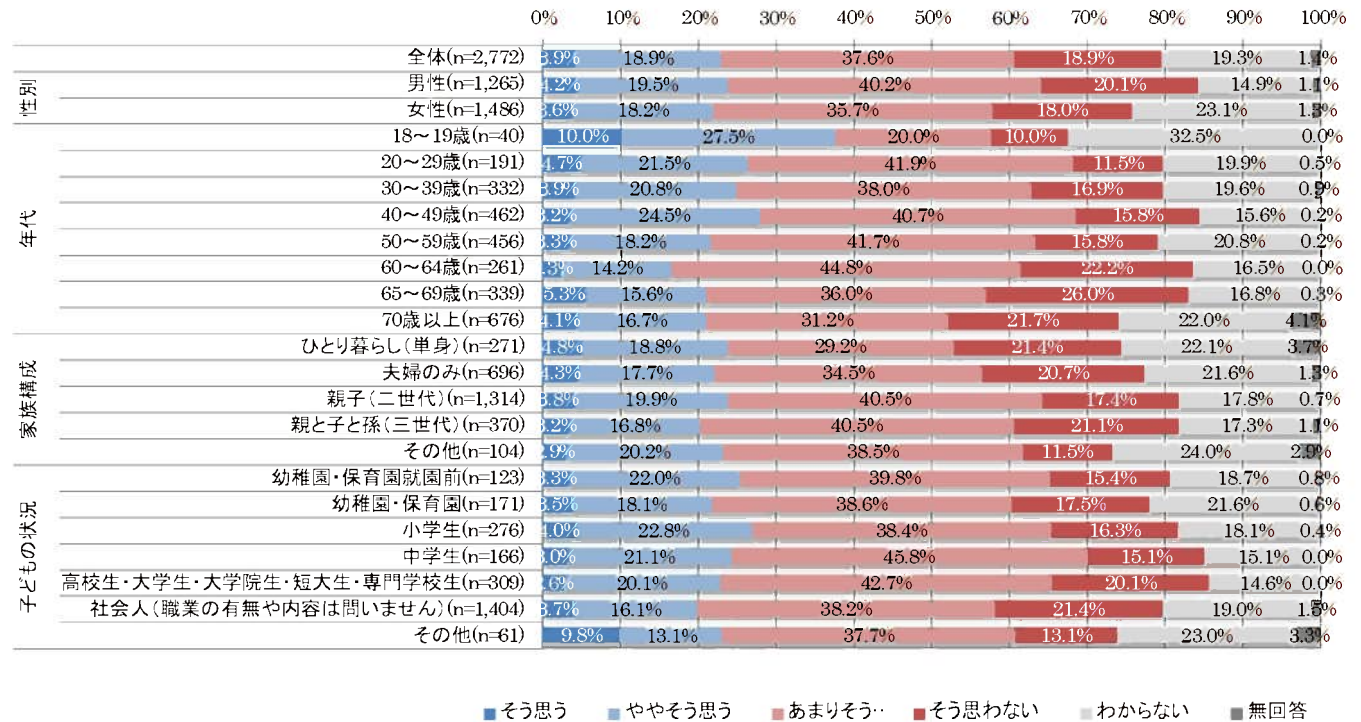
施策6-3-1 商工業の強化と環境の整備

環境や体制に関する質問:22.8% 活力のある企業が多い地域である

回答者自身の実践状況に関する質問:設定なし

環境や体制に関する質問では、10歳代の肯定的回答割合が最も高くなっているとともに、60～64歳の肯定的回答割合が最も低くなっている。

環境や体制に関する質問の属性別結果



施策6-3-2 地域の特性が光る商工業の推進

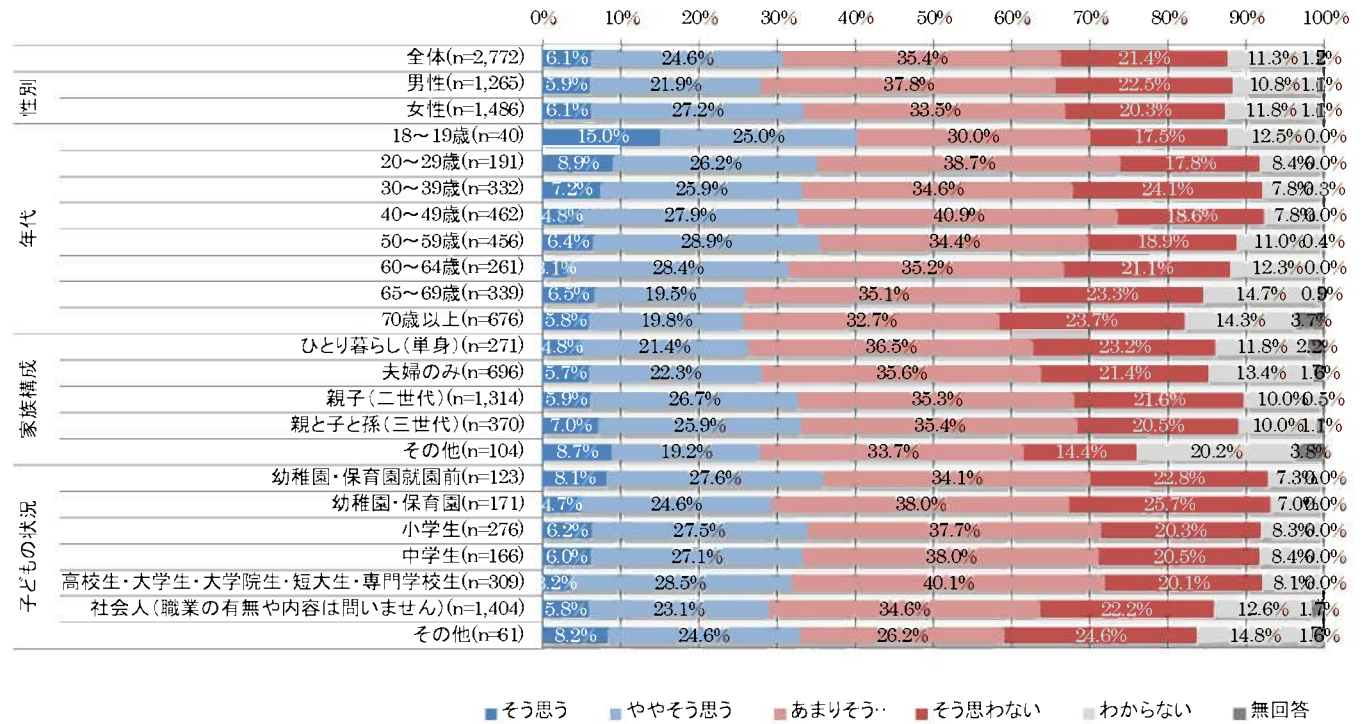
環境や体制に関する質問:30.7% 市内に個性的で魅力的なお店が増えている

回答者自身の実践状況に関する質問:79.6% 地元のお店で買物をするように心がけている

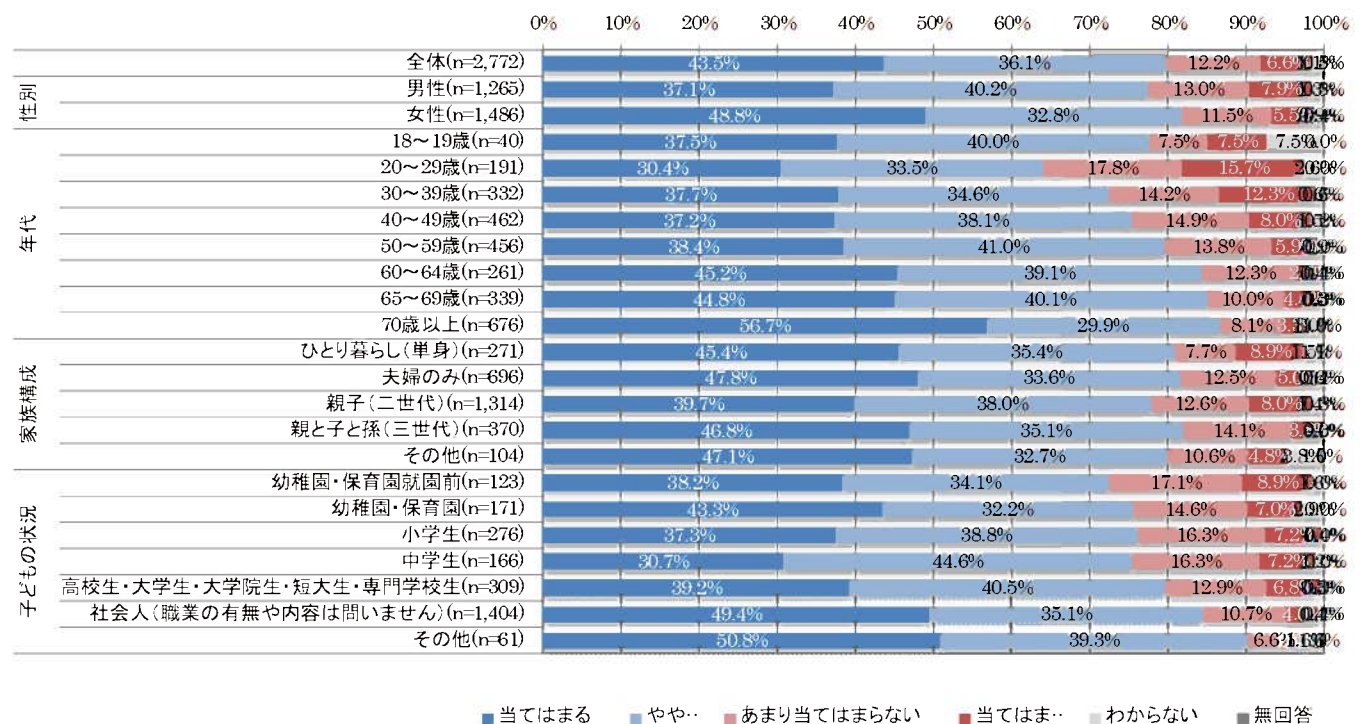
環境や体制に関する質問と回答者自身の実践状況に関する質問の肯定的回答割合の差は、回答者自身の実践状況に関する質問のほうが48.9ポイント高かった。

回答者自身の実践状況に関する質問では、20歳代の肯定的回答割合が最も低くなっているとともに、年代が高くなるほど高くなっている。

環境や体制に関する質問の属性別結果



回答者自身の実践状況に関する質問の属性別結果



施策6-3-3 新たな活力につながる産業の創出

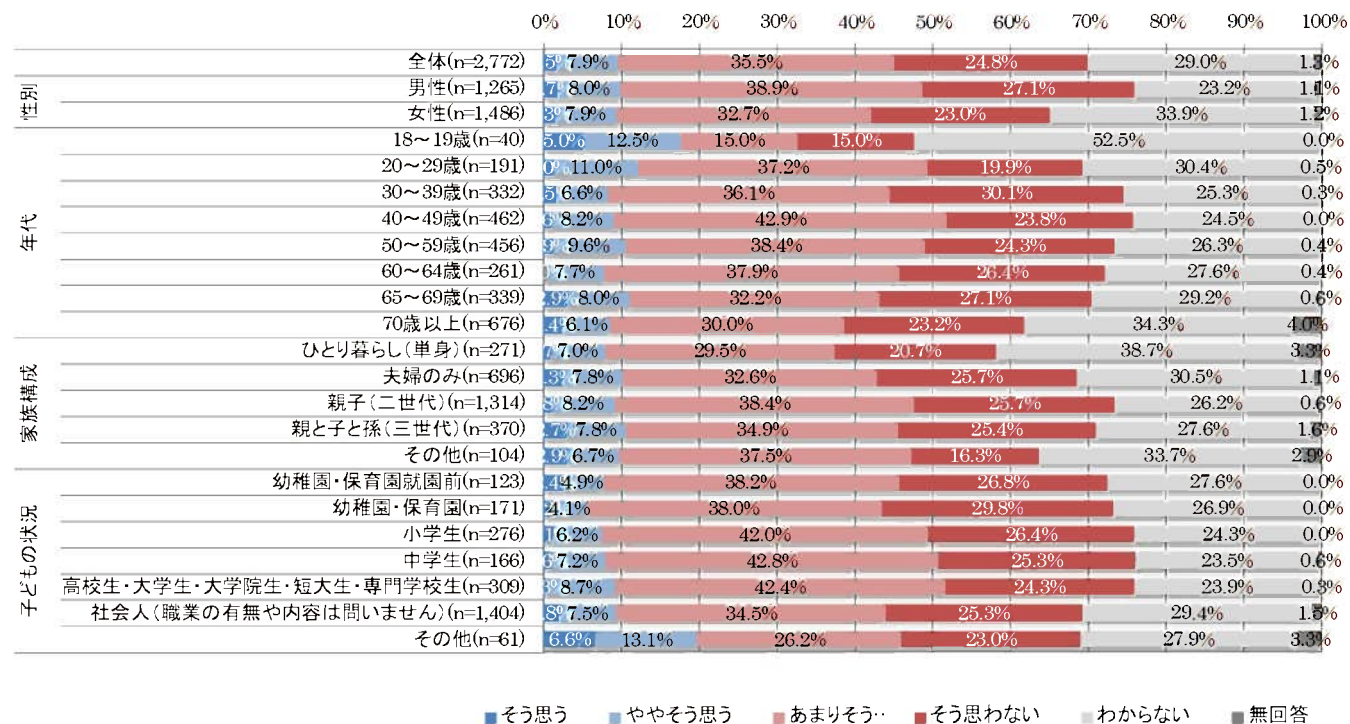
環境や体制に関する質問:9.4% 新たな雇用が生まれている

回答者自身の実践状況に関する質問:設定なし

全体として評価保留割合が約30%となっているが、年代別では10歳代において、半数が評価保留としていた。

評価保留割合が約30%あるが、理由としては「周りに就活する者が、いないから、わからない」や「統計的な数字を普段目にしないため、わからない」といった意見があった。

環境や体制に関する質問の属性別結果



施策6-4-1 就労の促進と多様な働き方の支援

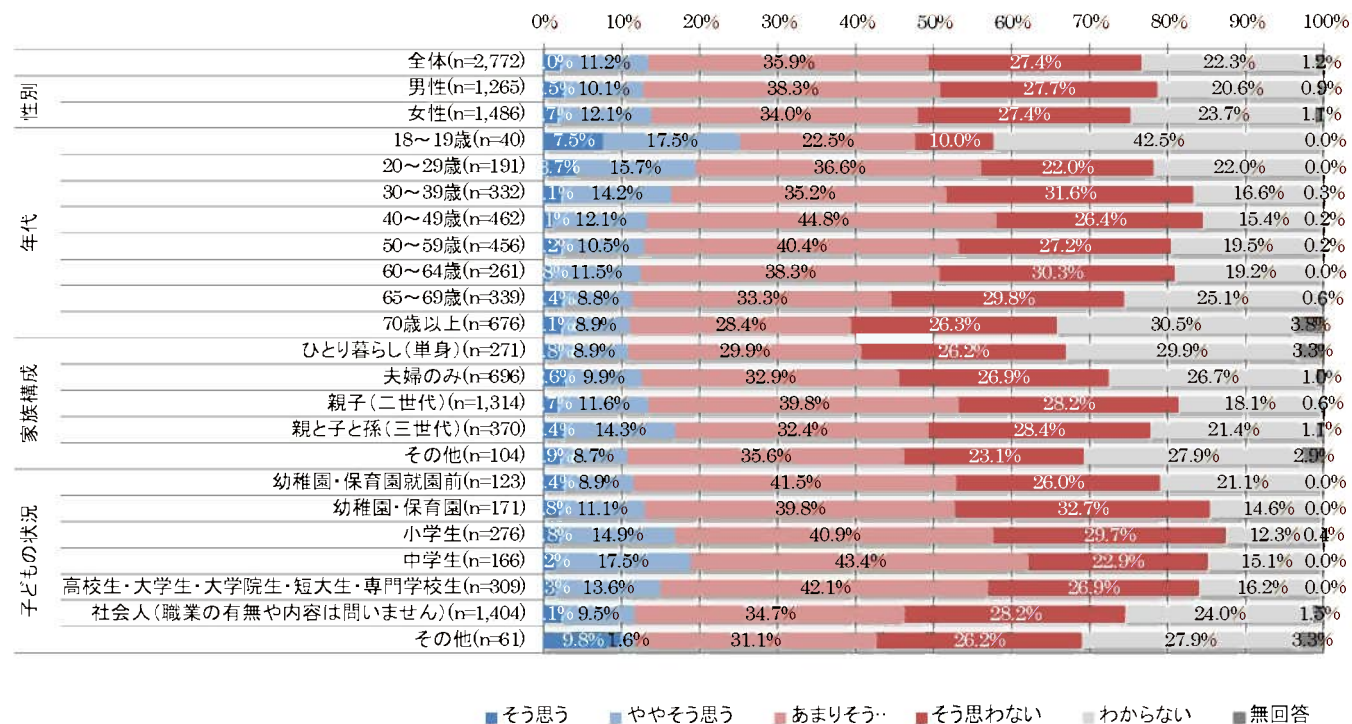
環境や体制に関する質問:13.2% 仕事を見つけやすい環境が整っている

回答者自身の実践状況に関する質問:設定なし

全体として評価保留割合が約20%となっているが、年代別では10歳代において、約40%が評価保留としていた。

また、年代が高くなるほど肯定的回答割合が低くなっている。

環境や体制に関する質問の属性別結果



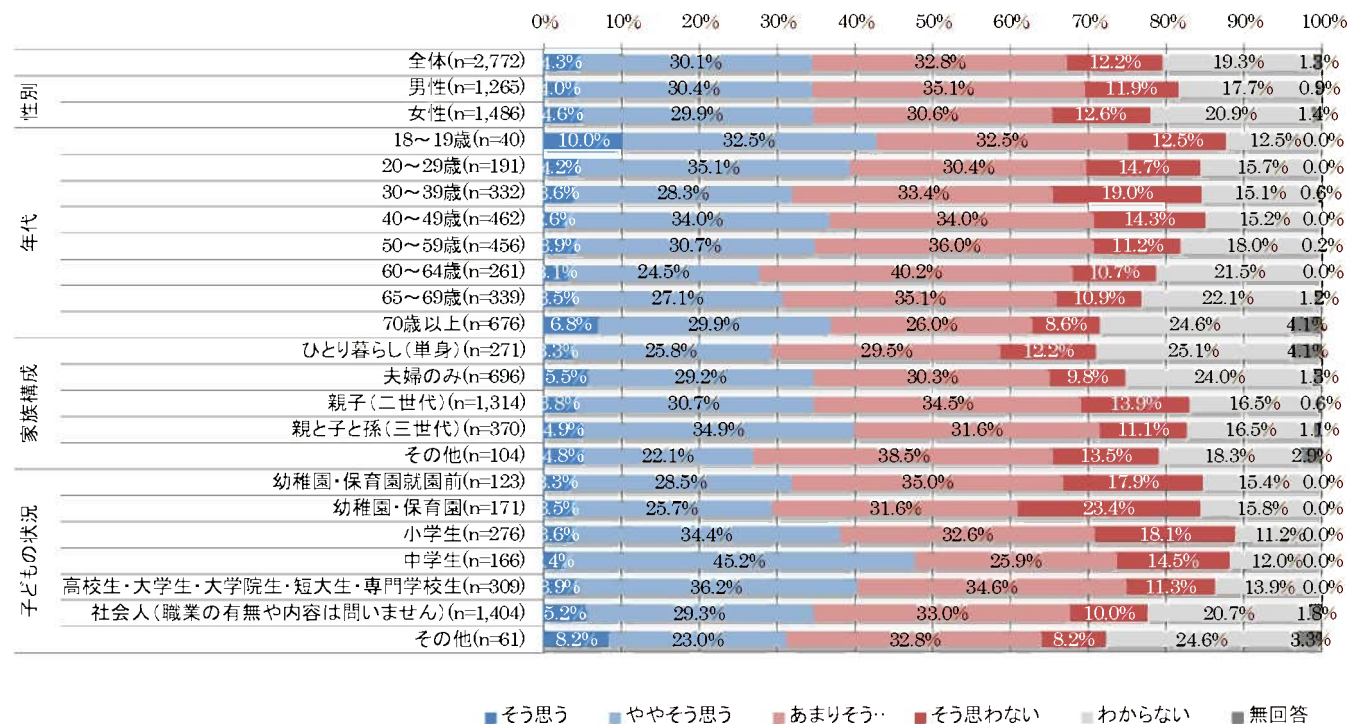
施策6-4-2 勤労者福祉の推進

環境や体制に関する質問:34.4% 市内に勤める知人や友人がいきいきと働いている

回答者自身の実践状況に関する質問:設定なし

環境や体制に関する質問では、10歳代の肯定的回答割合が最も高くなっているとともに、60～64歳の肯定的回答割合が最も低くなっている。

環境や体制に関する質問の属性別結果



施策7-1-1 地域の特性に応じた都市機能の充実

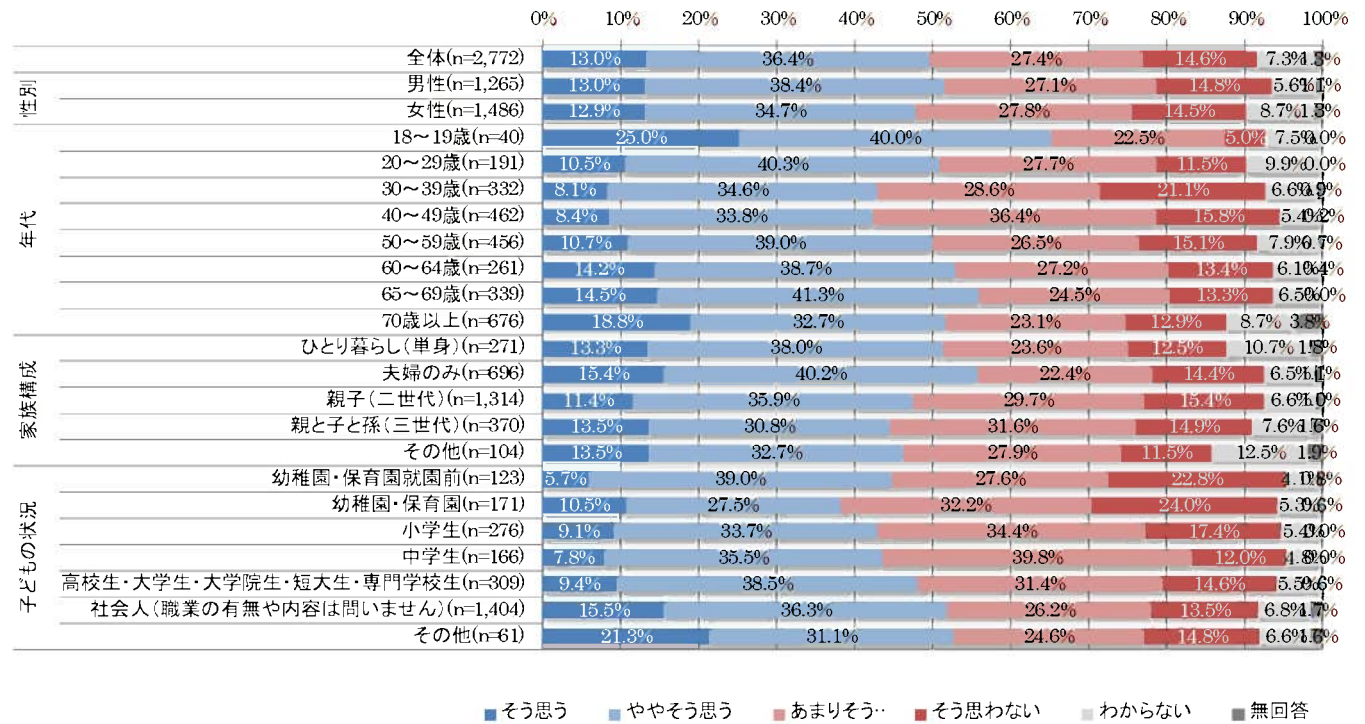
環境や体制に関する質問:49.4% 中心市街地や鉄道駅(旧松代駅を含む)周辺は、総合的に見ると買物、医療機関、金融機関、福祉施設などが集まり、利便性の高い地域である

回答者自身の実践状況に関する質問:設定なし

環境や体制に関する質問では、10歳代の肯定的回答割合が最も高くなっているとともに、30歳代では低くなっている。

また、幼稚園・保育園就園の子どもを持つ回答者の肯定的回答割合が低くなっている。

環境や体制に関する質問の属性別結果

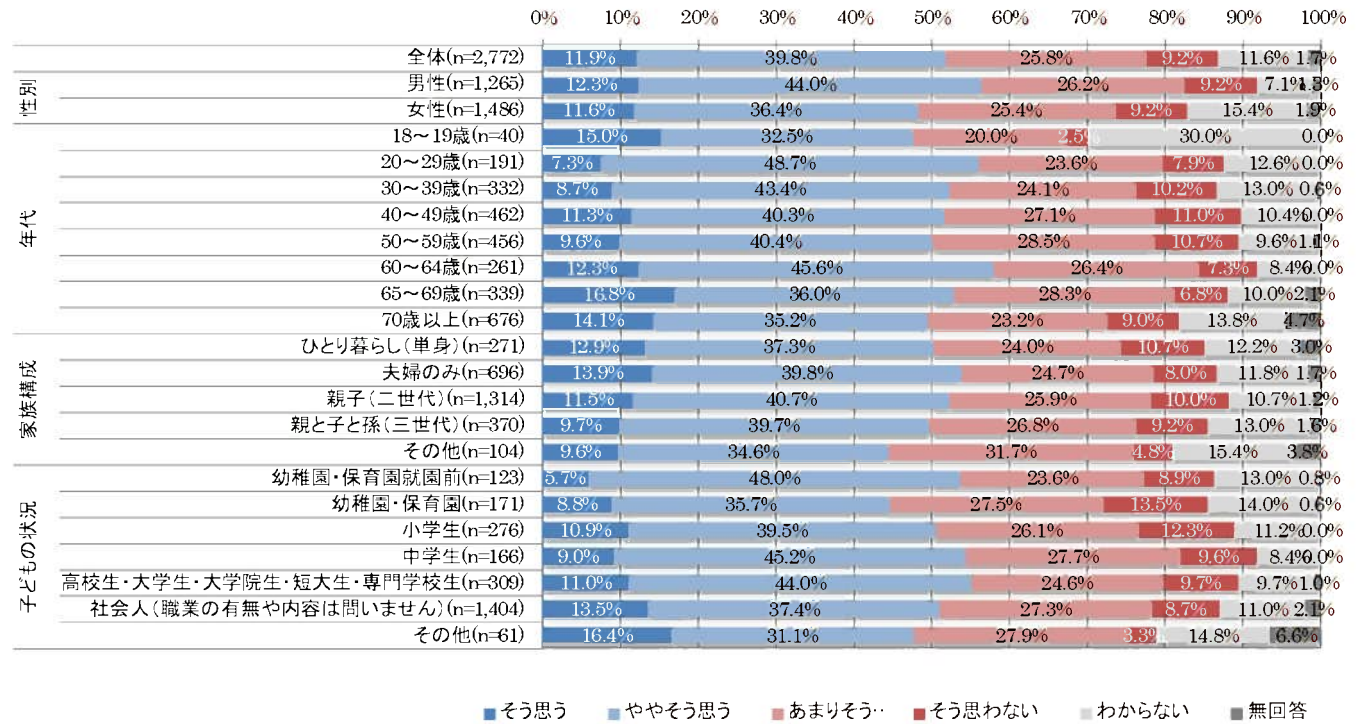


施策7-1-2 暮らしを支える生活機能の維持

環境や体制に関する質問:51.7% 日常生活に必要なインフラが整備されている

回答者自身の実践状況に関する質問:設定なし

環境や体制に関する質問の属性別結果



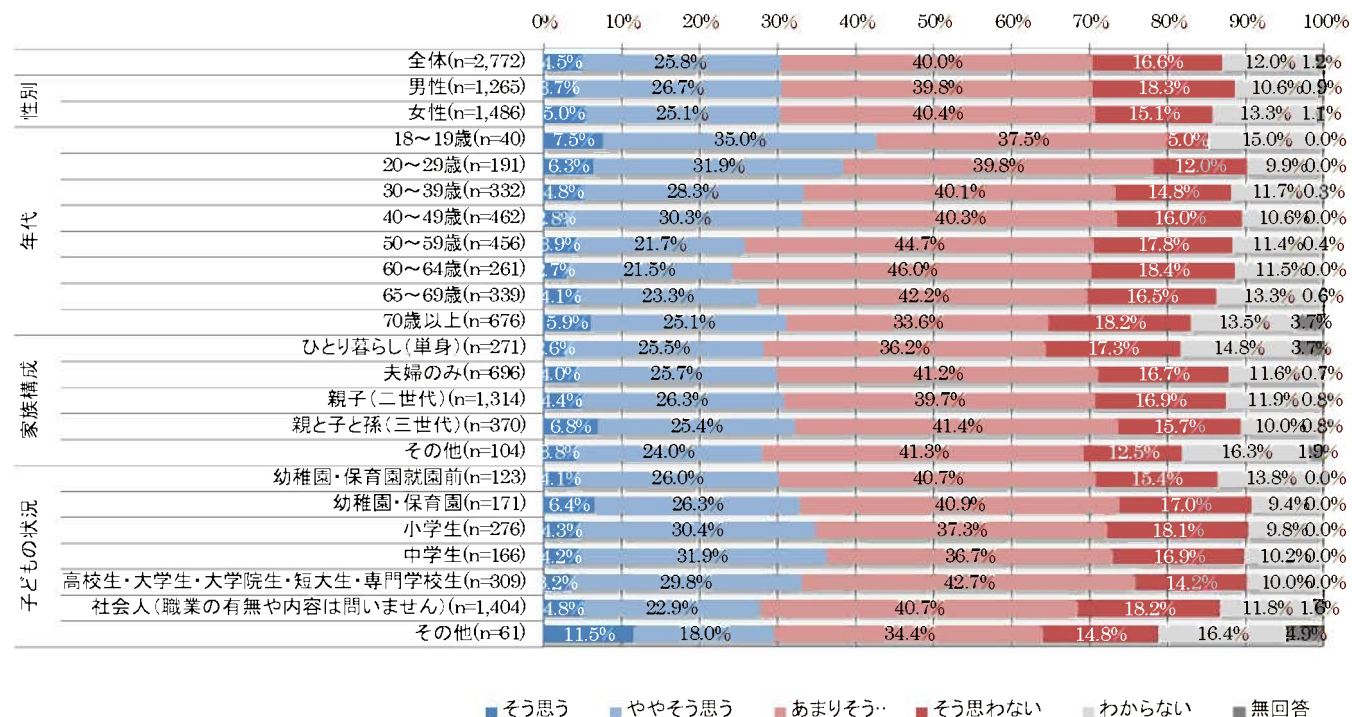
施策7-1-3 多世代のだれもが暮らしやすいまちづくりの推進

環境や体制に関する質問:30.3% 市内の道路、建物のバリアフリー化が進んでいる

回答者自身の実践状況に関する質問:設定なし

環境や体制に関する質問では、10歳～20歳代の肯定的回答割合が高くなっているとともに、50歳～60歳代の肯定的回答割合が低くなっている。

環境や体制に関する質問の属性別結果



施策7-1-4 地域の特色を活かした景観の形成

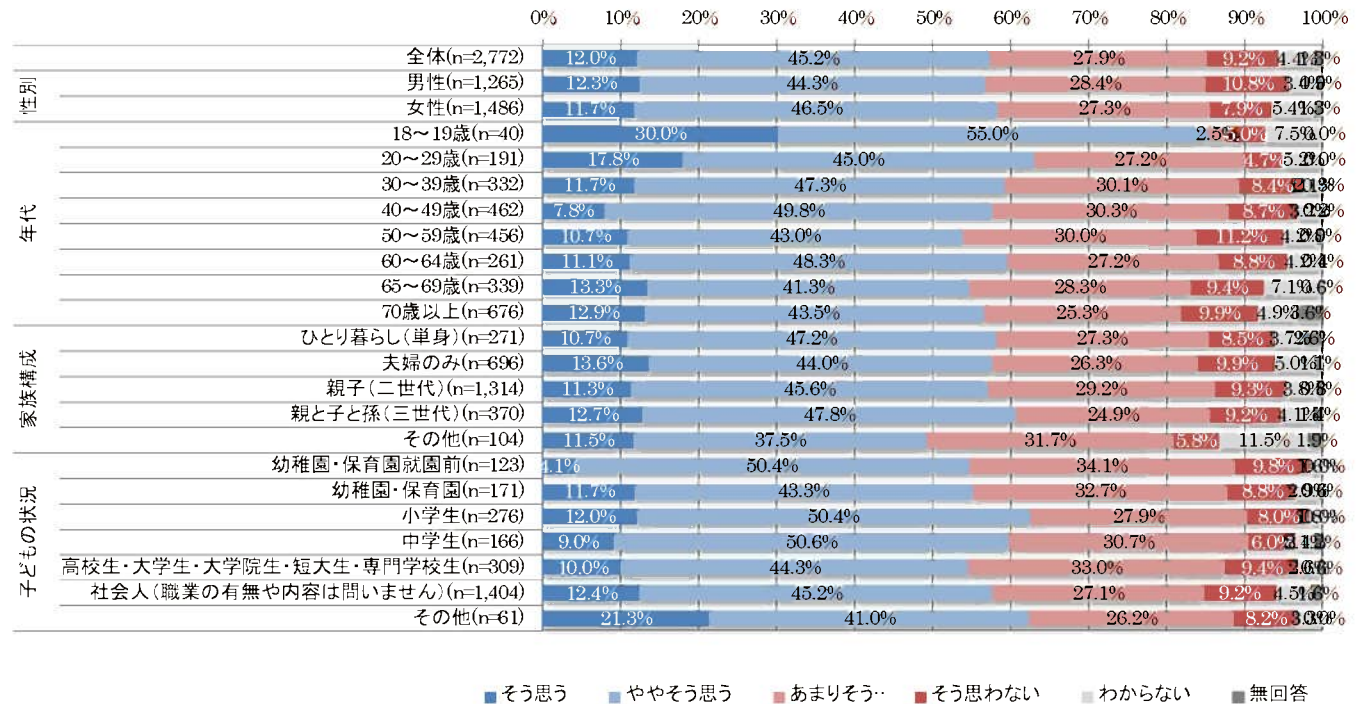
環境や体制に関する質問:57.2% 景観やまちなみが美しい地域である

回答者自身の実践状況に関する質問:73.9% 家のまわりの緑化や美化など、美しい景観づくりを心がけている

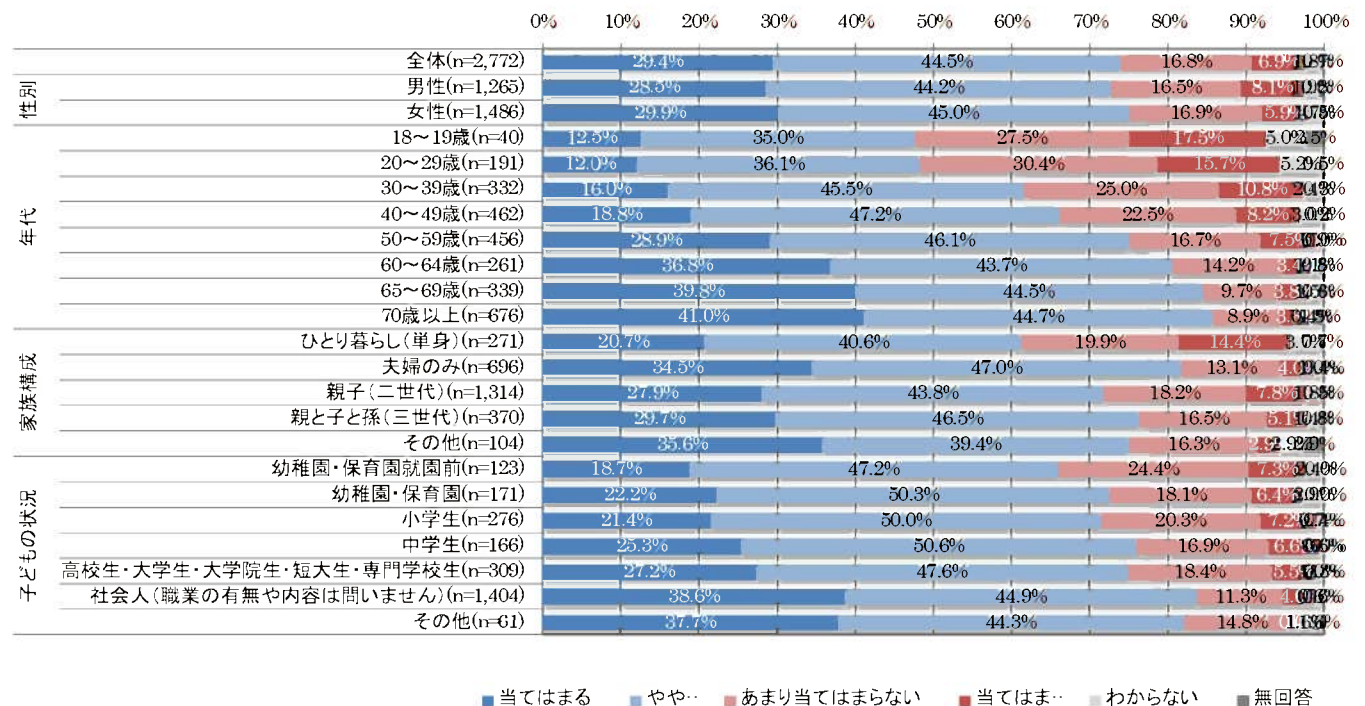
環境や体制に関する質問では、10歳代の肯定的回答割合が85%と高くなっている。

回答者の実践状況に関する質問では、年代が高くなるほど肯定的回答割合が高くなっている。

環境や体制に関する質問の属性別結果



回答者自身の実践状況に関する質問の属性別結果



施策7-2-1 地域のまちづくりと一体となった公共交通の構築

施策7-2-2 拠点をつなぐ交通ネットワークの整備

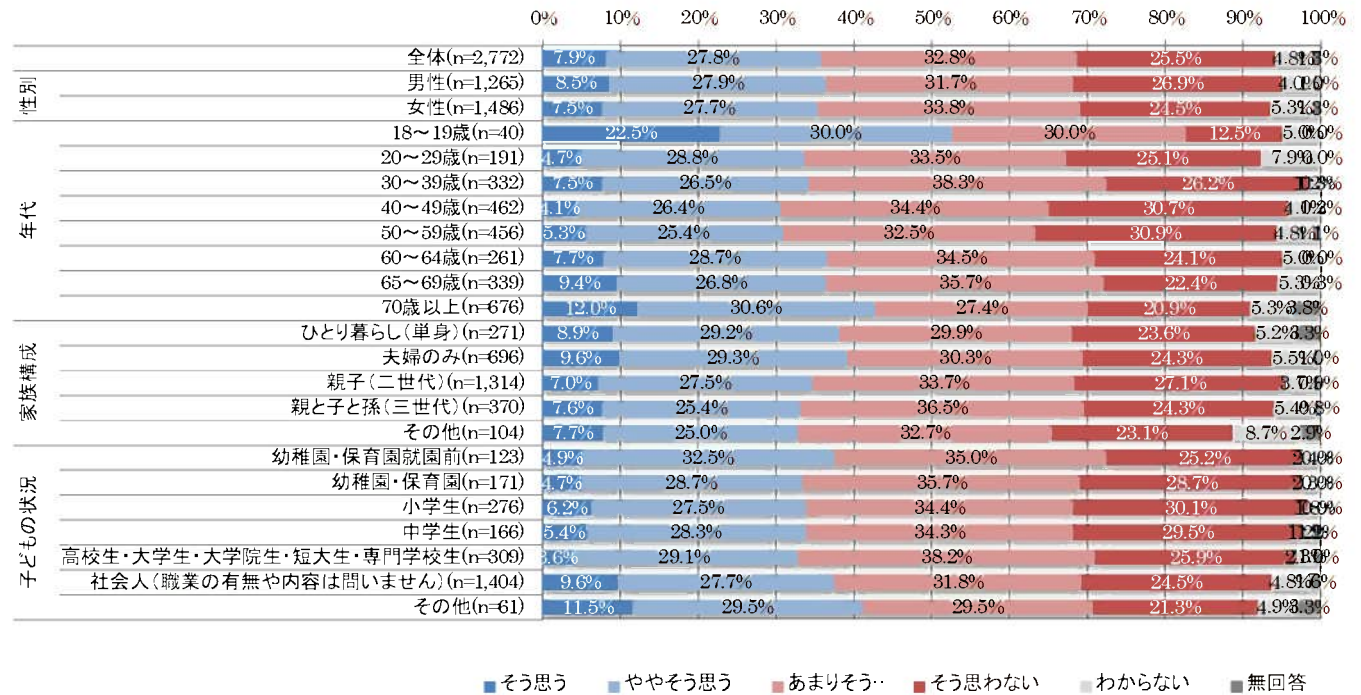
環境や体制に関する質問:35.7% 公共交通の利用により、市内を移動できる環境が整っている

回答者自身の実践状況に関する質問:26.4% 通勤、通学、通院などの移動手段として、公共交通を日常的に利用している

50.4% 公共交通を自らの暮らしや地域を維持するために必要なものであると理解し、支えていこうと心がけている

環境や体制に関する質問では、10歳代の肯定的回答割合が52.5%と高くなっているとともに、70歳以上の肯定的回答割合が高くなっている。

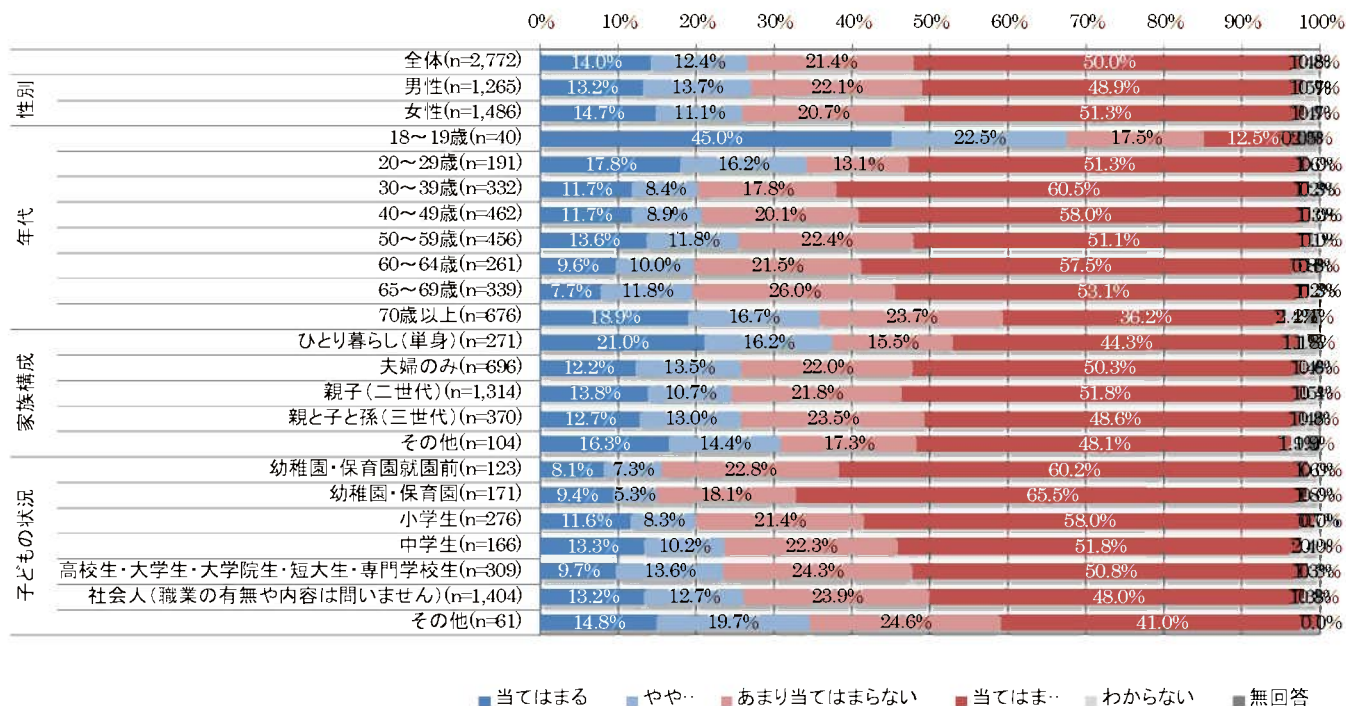
環境や体制に関する質問の属性別結果



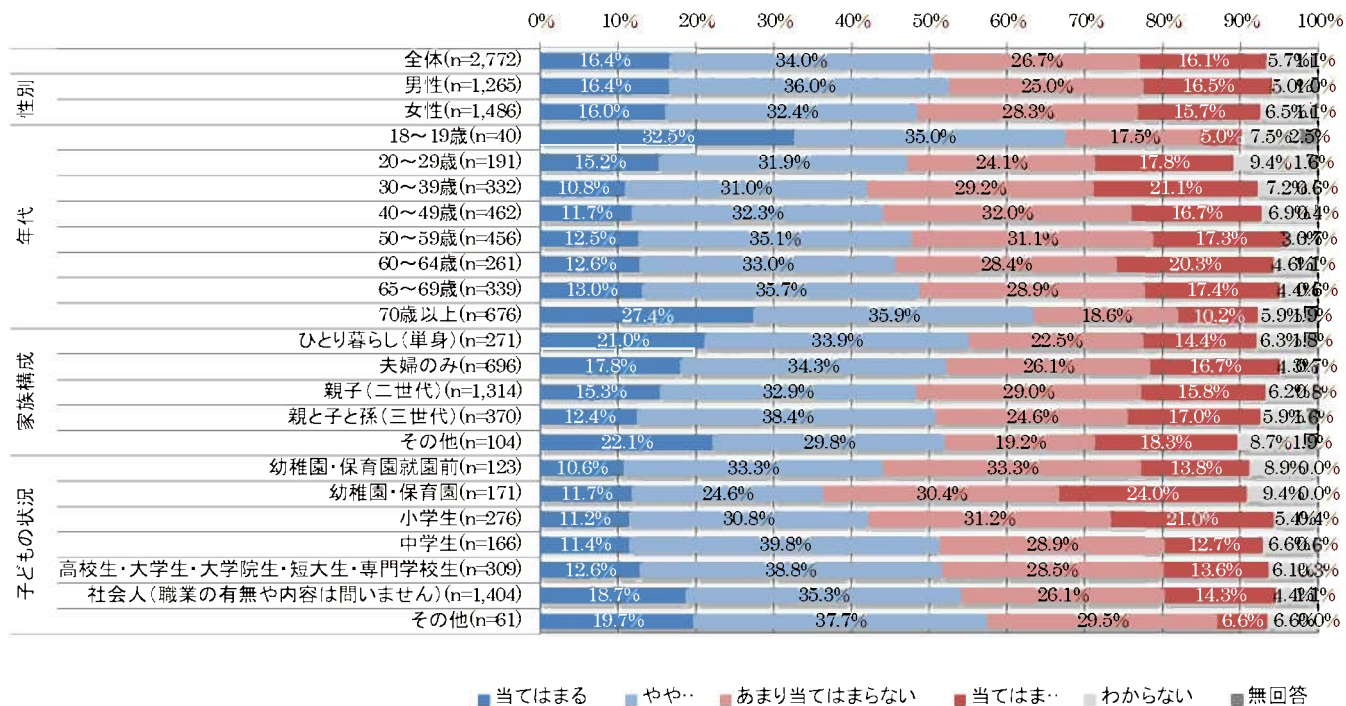
回答者の実践状況に関する質問では、2つの設問で10歳代と70歳以上での肯定的回答割合が高くなっている。

回答者自身の実践状況に関する質問の属性別結果

通勤、通学、通院などの移動手段として、公共交通を日常的に利用している



公共交通を自らの暮らしや地域を維持するために必要なものであると理解し、支えていこうと心がけている



VI まとめ

アンケート指標は施策ごとに設定している「目指す状態」に向けた主な取組の成果を表すものとして、統計指標を補完する位置付けとなるもので、来年度以降は、第五次長野市総合計画前期基本計画の進捗管理の際に用いることとなる。

今年度は現状値を測定するために実施したものだが、指標ごとに増えてきた結果を分析したところ、来年度以降に進捗管理していく上で着目すべき点を以下のように整理することができた。

また、これらの視点は、幸せ実感モニターを活用しながら、原因の分析につなげる必要がある。

なお、今回は、「わからない」の回答割合が高かった指標について、幸せ実感モニターからいただいたいくつかの意見を掲載している。

視点1 環境や体制に関する質問と回答者自身の実践状況に関する質問の肯定的回答割合の差

両者の開きが著しい指標がいくつかあったが、この差を少なくする必要があるとともに、その原因を明らかにしながら手段の改善につなげる必要がある。

例：施策4-1-2 消防力の充実・強化及び火災予防

環境や体制に関する質問と回答者自身の実践状況に関する質問の肯定的回答割合の差は、環境や体制に関する質問のほうが25.1ポイント高かった。

視点2 「わからない」の回答の割合

今回のアンケートでは、回答者の評価ができない質問の受け皿として「わからない」の選択肢を用意した。これは言わば、「評価保留」の位置付けとなる。

特に環境や体制に関する質問については、肯定的回答割合や否定的回答割合と同程度の割合だった指標があることから、「わからない」の回答原因を探りながら、割合を減らす手段を講じる必要がある。

例：施策1-2-1 効果的で効率的な行財政運営の推進

環境や体制に関する質問では、全体として評価保留割合が約40%であり、若い世代での割合が高くなっている。

評価保留の割合が全体で38.0%であるが、理由としては「市報による情報のみでよくわからない」や「効果的で効率的な行政が良いかどうかわからないから」といった意見があった。

視点3 特定の属性の傾向

全ての質問で属性別の結果グラフを付け、場合によっては傾向を記述したが、施策の主な対象属性の肯定的回答割合や評価保留割合を注視し、的を絞った施策の展開につなげる必要がある。

例：施策2-1-1 結婚、妊娠・出産、子育ての切れ目ない支援

環境や体制に関する質問では、18～29歳までの若い世代において、他の世代よりも肯定的回答割合が低くなっているとともに、評価保留の割合が高くなっている。